Canon

PowerShot SX50 HS

カメラユーザーガイド

- で使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」を お読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。
- ・CD-ROM 内の電子マニュアル(PDF 形式)もあわせてご覧ください(◯◯28)。

日本語

カメラと付属品の確認

お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。 万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



- メモリーカードは付属されていません(下記)。

使えるカード(市販品)について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD (エスディー) メモリーカード*
- SDHC (エスディーエイチシー) メモリーカード*
- SDXC (エスディーエックスシー) メモリーカード*
- Eve-Fi (アイファイ) カード
- * SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあり ます。

Eve-Fi カードについて

本製品は、Eve-Fi カードの機能(無線送信を含む)を保証するものではあ りません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問いあわせくだ さい。

また、Eve-Fi カードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認 可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められて いるかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

√ お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法 上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、 個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがあ りますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターとビューファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからで使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

このカメラの使用説明書は、用途別に以下の内容で構成されています。

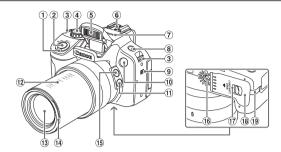
基本編 (213)

準備から、撮影、再生、パソコンへ取り込むまでの説明や、各種の基本 情報を掲載しています。

活用編(二37)

カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章に分けて説明しています。

各部のなまえと記載について



① ズームレバー

撮影時: <[♠] (望遠) > / < → (広角) >

再生時: <Q(拡大)>/

- ② シャッターボタン
- ③ ストラップ取り付け部
- ④ モードダイヤル
- ⑤ ストロボ
- ⑥ アクセサリーシュー
- ⑦ マイク
- ⑧ <∮ (ストロボ) > ボタン
- ⑨ スピーカー

- ⑩ ランプ (前面)
- ① (フレーミングアシスト 固定) > ボタン
- 12 焦点距離の目安
- 13 レンズ
- ゆ レンズフード/フィルターアダプター取り付け部
- ⑤ く口(フレーミングアシスト 探索) > ボタン
- 16 三脚ねじ穴
- ⑪ ロック解除スイッチ
- ⑱ カード/バッテリー収納部ふた
- ⑩ DC カプラー用ケーブル通し部
- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文 字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。
 - <◀> 背面 ⓑ 左ボタン

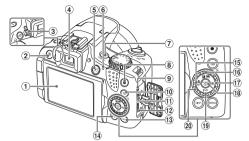
<▼> 背面 ® 下ボタン

<▲> 背面 ⓑ 上ボタン

<○> 背面 @ コントローラーホ イール

<▶> 背面 ⑰ 右ボタン

- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ①:知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ●:上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- XX:参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。



- ① 画面 (液晶干二ター)
- ② <② (ショートカット) > /△ (イージープリント) > ボタン
- ③ 視度調節ダイヤル
- ④ ビューファインダー
- ⑤ <▶ (再生) > ボタン
- ⑥ ランプ (背面)
- ⑦ 雷源ボタン
- ⑧ 動画ボタン
- ⑨ リモコン端子
- ⑩ < (AF フレーム選択) > / < m (1 画像消去) > ボタン
- f) A / V OUT (映像/音声出力)・ DIGITAL (デジタル) 端子

- ⑩ HDMI™端子
- (3) **<MENU** (メニュー) > ボタン
- ④ <DISP. (ディスプレイ) > ボタン
- ⑮ <**駅** (マクロ) > / <**MF**(マニュアルフォーカス) > / 左ボタン
- (6) **図** (露出補正) > / (検索) > /上ボタン
- (g) く() (セルフタイマー) > /右 ボタン
- ® FUNC./SET (ファンクション/ セット) ボタン
- (19) < ISO > /下ボタン
- ∞ コントローラーホイール



- ホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の操作を除き、<▲>、<▼>、<¶>、<と同じ操作ができます。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの上にあるタブは、その機能が静止画や動画で使えるかどうかを示しています。
 - 静止画
- : 静止画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。
- **動画**:動画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

一目次

カメラと付属品の確認	2 AUTOモード (こだわりオート)
やりたいこと目次	機能を使う
準備する14 使ってみる22	3 いろいろな撮影モード85
ソフトウェアと 電子マニュアルを使う28 システムマップ35	短編動画を自動で作る (ムービーダイジェスト)
活用編371 カメラを知る37	いろいろなシーンで撮る
電源の入れかた/切りかた38シャッターボタンの	画像を撮る102 いろいろな動画を撮る108
押しかた39 ビューファインダーの	4 PE-F113
使いかた 40 撮影モードの切り換えかた 40 FUNC. (ファンク) の表示と 操作方法 41 MENU (メニュー) の表示と 操作方法 42 撮影時の画面表示の 切り換えかた 43 ランプの表示 44 時計機能 44	プログラム AE で撮る (〈P〉モード)

撮影スタイルにあわせて機能を 変える147			
5 Tv、Av、M、C1、 C2モード149			
シャッタースピードを決めて撮る (<tv>モード)150 絞り数値を決めて撮る</tv>			
(<av>モード)151</av>			
シャッタースピードと絞り数値を 決めて撮る(<m> モード) 152 撮影スタイルにあわせて</m>			
カメラをカスタマイズする 154			
6 再生モード159			
見る160			
画像を探したり、特定の 画像だけを見る166 個人認証情報を編集する171			
いろいろな方法で画像を 見る172 保護する175			
消す179 回転する182 分類する184			
静止画を編集する188 動画を編集する194			
7 設定メニュー197			
カメラの基本機能を変える 198			
8 アクセサリー213			
付属アクセサリーの上手な 使いかた			

	印刷する Eye-Fi カードを使う	
9	付録	247
	故障かな?と思ったら 画面に表示されるメッセージ	248
	画面に表示されるメッセーシー覧	255 259 260 274

やりたいこと目次

▲ 撮る

● カメラまかせで写真を撮りたい (オートモード)........ 46

人を上手に撮りたい



人をきれいに (289)



雪景色で (1.00)



肌をきれいに (291)

いろいろなシーンにあわせて撮りたい



スポーツ



(100, 89)



花火 (0.90)

効果をつけて撮りたい









鮮烈な色で (292)

(292)

イラスト風に 魚眼レンズのように ミニチュア模型のように (294)(195)







柔らかな雰囲気で (297)



モノクロで (298)

- 人の顔を上手に撮りたい.......46、89、133、139
- 自分も一緒に写りたい(セルフタイマー撮影).......58、104
- 画像に日付を写し込みたい......61

やりたいこと目次

■ 個人認証機能を使って撮りたい6	33、	163
● 写真と一緒に動画を記録したい		86
▶ 見る		
画像を見たい		160
自動再生で見たい(スライドショー)		
テレビで見たい		218
パソコンで見たい		29
■ 画像を素早く探したい		166
■ 画像を消したい		179
'ज़ 動画を撮る/見る		
動画を撮りたい ■ 動画を撮りたい	16、	108
動画を見たい		
● 動きの速い被写体を撮影しスローモーションで見たい		
日本は日本の日本は日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	,	201
写真を印刷したい		23 I
□ 残 す		
● 画像をパソコンに保存したい		32

☑ 安全上のご注意

- で使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

▲ 警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

ストロボを人の目に近づけて発光しない。

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1 m以上離れてください。

• お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップ:誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 水や海水などの液体で濡らさない。
- 内部に液体や異物などを入れない。

感電、火災の原因となります。

万が一、液体や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、その後必ずバッテリーを取り出してください。

バッテリーチャージャーが液体で濡れたときは、コンセントから抜いて、 お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。

- カメラのファインダーで強い光源(晴天時の太陽など)を見ない。 視力障害の原因となることがあります。
- 指定外のバッテリーは使わない。
- バッテリーは火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。

バッテリーが破裂や液漏れし、けがや周囲を汚す原因となったり、火災、 感電の原因となることがあります。万が一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、 口についたときは、ただちに洗い流してください。

カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。

カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

• 付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。 音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大 音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使 用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。

A 注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や 振動を与えない。
- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。けがやカメラの故障の原因となることがあります。
- 液晶モニターに強い衝撃を与えない。

液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。

ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。

やけどや故障の原因となることがあります。

- 次の場所で使用・保管しない。
 - 直射日光のあたるところ
 - 40℃を超える高温になるところ
 - 湿気やホコリの多いところ

バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

カメラやバッテリーチャージャーが熱により変形することがあります。

長時間画面を見ていると、不快感を感じることがありますのでご注意ください。

別売のレンズフィルターは、確実に取り付ける。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源(晴天時の太陽など)に向けない。 撮像素子が損傷することがあります。
- 砂浜や風の強い場所で使うときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。

故障の原因となることがあります。

ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となる ことがあります。

- 使用しないときは、カメラからバッテリーを取り出して保管する。
 カメラにバッテリーを入れたままにしておくと、液漏れにより故障の原因となることがあります。
- バッテリーを廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。 他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。
- バッテリーチャージャーは、使用しないときや充電が終わったときは、 コンセントから外す。
- 布などをかけたまま充電しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、 故障や火災の原因となることがあります。

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないように、液晶モニターを内側に向けて閉じる。
- ストラップにアクセサリーをつけない。

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。

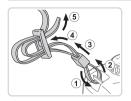
基本編

準備から、撮影、再生、パソコンへ取り込む までの説明や、各種の基本情報を掲載してい ます。

△準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

付属品を取り付ける



1 ストラップを取り付ける

- 付属のストラップを図のようにカメラに 取り付けます。
- 反対側も同じようにして取り付けます。



2 レンズキャップを取り付ける

レンズキャップをいったんカメラからは ずしてから、ひもをストラップに取り付けます。





- カメラの電源を入れる前に、必ずレンズ キャップを外してください。外したレン ズキャップはストラップにかけておくこ とをおすすめします。
- カメラを使わないときは、レンズキャップを取り付けて保管してください。

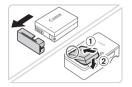
カメラを構える



- ストラップを首にかけます。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー(充電器)を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。







カバーを外して、バッテリーを取り付ける

バッテリーのカバーを外し、バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り付けます。

2 充電する

- プラグを①の方向へおこして、②コンセントに差し込みます。
- ▶ 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に 点灯します。
- ▶ 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯 します。

3 バッテリーを取り外す

バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、①の方向へ押しながら、②の方向へ取り外します。



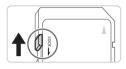
バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

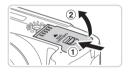


・充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「主な仕様」を参照してください(△274)。

「バッテリーとカードを入れる

付属のバッテリーとカード(市販品)をカメラに入れます。 なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、 このカメラで初期化(フォーマット)(Q203)することをおすすめします。







1 カードのスイッチを確認する

スイッチがあるカードでは、スイッチが下(「LOCK」側)になっていると撮影できません。「カチッ」と音がするまでスイッチを上に動かします。

2 ふたを開ける

①の方向にスイッチを動かしたまま、② の方向へふたを開けます。

3 バッテリーを入れる

- バッテリーを図の向きにして、バッテリーロックを矢印の方向へ動かし、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。
- 間違った向きでバッテリーを入れると ロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。



ラベル面

4 カードを入れる

- カードを図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



ふたを矢印の方向にたおして、「カチッ」 と音がするまで押さえて閉めます。



1枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「主な仕様」を参照してください(○274)。

■ バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の 方向に動かします。
- ▶ バッテリーが出てきます。



カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を離します。
- カードが出てきます。

| 液晶モニター(画面)を使う

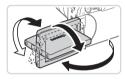


液晶モニターを使う

- 液晶モニターを開き(①)、レンズ側に 180°回転させます(②)。
- 液晶モニターを閉じます(③)。

- (!)
- ①の方向には約 175° まで開けます。故障の原因となるためそれ 以上は開かないでください。

■ 液晶モニターの向きや角度を調整する



- 撮影シーンや目的に応じて、液晶モニター の向きや角度を自由に変えられます。
- カメラを使わないときは画面を保護する ため、必ず内側に向けて収納した状態で 保管してください。



- 電源が入っている状態で液晶モニターを開くと、画面が表示されて、ビューファインダーの表示は消えます。また、画面を内側に向けて液晶モニターを閉じると画面の表示が消えて、ビューファインダーが表示されます。
- 撮影モードで液晶モニターを開き、画面をレンズ側に向けると、画像が鏡像 (左右反転)で表示されます。<MENU>ボタンを押して [▲] タブの [鏡像表示] を選び、<◀>か<▶>を押して [切] を選ぶと、鏡像表示を解除できます。

日付/時刻を設定する

雷源を入れたときに「日付/時刻]画面が表示されたときは、現在の日時 に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録さ れ、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。 なお、撮影した日時を画像に写し込むこともできます(○61)。













1 雷源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶「日付/時刻〕画面が表示されます。

2 日付/時刻を設定する

- <**4**> か <**>**> を押して項目を選びます。
- < <▲> か <▼> を押すか <⑥> を回し て設定します。
- すべての項目を設定したら、<(♥)>を押 します。

3 自宅のエリアを設定する

自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- <(\m)> を押すと設定されて、確認画面が 表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。



●日付/時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに[日付/時刻]画面が表示されます。正しく設定してください。



手順2で[満]を選び、<▲>か<▼>を押すか<◎>を回して[減] にすると、サマータイム(1時間プラスされます)に設定されます。

■日付/時刻を変える

日付/時刻を、現在の設定から変えられます。



1 メニューを表示する

● <MENU> ボタンを押します。



2 「日付/時刻〕を選ぶ

- ▼ズームレバーを動かして、[**] タブを 選びます。
- <▲>か<▼>を押すか<(◎)>を回して [日付/時刻]を選び、<(⑥)>を押します。





3 日付/時刻を変える

- 19の手順2の操作で設定します。
- <MENU> ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付/時刻用電池(バックアップ電池)が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約3週間は、設定した日付/時刻が保持されます。
- ●日付/時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、AC アダプターキット (別売) (◯215) を使うと、カメラの電源を入れなくても約4時間で充電されます。
- 日付/時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付/時刻] 画面が表示されます。 □ 19 の手順で正しく設定してください。

表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。



1 再生モードにする

● <▶> ボタンを押します。





2 設定画面を表示する

<を押したまま、すぐに < MENU> ボタンを押します。



3 言語を設定する

- ▶表示言語が設定され、設定画面が消えます。





- 手順 2 の操作で <(鬱)> を押してから、<**MENU**> ボタンを押すまでの間隔 が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは <(嗇)> を押して 時計表示を消して、もう一度手順 2 の操作を行います。
- 言語設定は、〈MENU〉ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、「竹り タブの [言語 □] を選んで設定することもできます。

△ 使ってみる

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまで の手順について説明しています。

撮る(こだわりオート)

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラ まかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ▶起動画面が表示されます。



2 <**(型で)**> モードにする

- モードダイヤルを <(AUTO)> にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音(カチカチ)がします。
- ▶ 画面の右上にカメラが判別したシーンと 手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- ▶ 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。





3 撮りたいものの大きさを決める

ズームレバーを < 「負」> 側に押すと撮りたいものが大きくなり、 < ● 側に押すと小さくなります。









4 撮影する

静止画を撮る

①ピントを合わせる

- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、 ピントが合った位置に緑色の枠が表示されます。
 - [ストロボを上げてください]のメッセージが表示されたときは、ストロボを指で持ち上げると、撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

②撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます(暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります)。
- シャッター音が鳴っている間はカメラを しっかり持ってください。
- ▶撮影した画像は、次の撮影ができるよう になるまでの間だけ表示されます。

使ってみる



撮影時間





動画を撮る

①撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」 と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画] と撮影時間が表示されます。
- ▶画面上下に黒い帯が表示され、被写体が 少し大きく表示されます。なお、黒い帯 の部分は撮影できません。
- ▶ 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- ■撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。

②撮影を終える

●もう一度動画ボタンを押すと、電子音が 「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。





2 画像を選ぶ

- <</p>
 ◆> を押すか <</p>
 ◇> を反時計方向に回すと前の画像が表示され、<</p>
 > を押すか <</p>
 ◇> を時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- <√> か <▶> を押したままにすると、画像が速く切り換わります。





- <ご>を速く回すと左の画面が表示されます(スクロール再生)。この状態で<ご>を回して画像を選びます。
- <∰> を押すと 1 枚表示に戻ります。

動画では、[SED 型] が表示されます。動画を再生するときは手順3に進みます。

使ってみる



音量

3 動画を再生する

- <<を押して動画操作パネルを表示し、<<を回して[▶]を選び、もう一度を押します。
- 動画が再生され、再生が終わると[SET] □ が表示されます。
- 音量は <▲> か <▼> を押して調節します。



再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

▋消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

<<か> を回して画像を選びます。







2 消す

- <´m> ボタンを押します。
- [消去?] が表示されたら、<<>か◆>を押すか●>を回して[消去]を選び、・会>を押します。
- ▶表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、<トンセル]を選び、を押します。



● 画像をまとめて消すこともできます(Д 179)。

[【]ソフトウェアと電子マニュアルを使う

ここでは、付属の DIGITAL CAMERA Solution Disk (CD-ROM) (2) に入っているソフトウェアや電子マニュアルの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

付属の CD 内のソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

CameraWindow (カメラウィンドウ)

● 画像の取り込みやカメラの各種設定

ImageBrowser EX (イメージブラウザー イーエックス)

- 画像の閲覧をはじめ、検索や整理などの画像管理
- 画像の印刷や各種の編集

Digital Photo Professional (デジタル フォト プロフェッショナル)

● RAW 画像の閲覧をはじめ、現像処理や各種の編集

■オートアップデート機能について

付属のソフトウェアは、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などをインターネットを使って行います(一部のソフトウェアは除く)。そのため、インターネットにつながるパソコンへインストールしてお使いください。

- 1
- この機能をお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

電子マニュアルについて

ソフトウェアの使用説明書

付属のソフトウェアを使うときに参照してください。各ソフトウェアの ヘルプ機能から参照することができます(一部のソフトウェアは除く)。

『パソコンに必要なシステム構成

付属のソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下の通りです。また、電子マニュアルをご覧になるには、別途 Adobe Reader が必要です。

	Windows	Macintosh	
OS	Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 Windows XP SP3	Mac OS X v10.6 - v10.7	
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていることと、インターネットに接続できること*		
CPU	静止画 1.6 GHz 以上、動画 Core 2 Duo 2.6 GHz以上	静止画 Mac OS X v10.7: Core 2 Duo 以上、 Mac OS X v10.6: Core Duo 1.83 GHz 以上、動画 Core 2 Duo 2.6 GHz 以上	
RAM	Windows 7 (64 bit): 2 GB 以上 Windows 7 (32 bit)、 Windows Vista (64 bit、 32 bit)、Windows XP: 静止画 1 GB以上、動画 2 GB 以上	Mac OS X v10.7:2 GB 以上 Mac OS X v10.6:静止画 1 GB以上、動画2 GB以上	
インターフェース	USB		
ハードディスク 空き容量	640 MB以上*	750 MB以上	
ディスプレイ	1,024 x 768 ドット以上		

^{*} Silverlight 4(最大 100MB)以上のインストールと、Windows XPでは Microsoft .NET Framework 3.0 (最大 500MB)以上のインストールが必要です。 そのためお使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。



[●] 最新の OS を含む対応状況については弊社ホームページをご確認ください。

インストールする

ここでは、Windows 7 と Mac OS X v10.6 を使って説明をしています。なお、ソフトウェアはオートアップデート機能により、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などが行われます(一部のソフトウェアは除く)ので、インターネットにつながるパソコンへインストールしてください。

用意するもの

- ・パソコン
- USB ケーブル(カメラ側端子は Mini-B)
- 付属の CD-ROM (DIGITAL CAMERA Solution Disk) (□2)



1 CD をパソコンのドライブに入れる

- 付属の CD (DIGITAL CAMERA Solution Disk) (Д2) をパソコンのドライブ (こ入れます。
- Macintosh では、CD を入れるとデスクトップ上に表示される CD アイコンをダブルクリックして開き、表示される [令]をダブルクリックします。



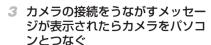
2 インストールをはじめる

[おまかせインストール]をクリックし、 表示される画面にしたがって操作を進め ます。

ソフトウェアと雷子マニュアルを使う







カメラの雷源が切れた状態でふたを開き (①)、USB ケーブルの小さい方のプラグ を図の向きにして、カメラの端子にしっ かりと差し込みます (②)。



● USB ケーブルの大きい方のプラグをパ ソコンの USB 端子に差し込みます。パ ソコンの USB 端子については、パソコ ンの使用説明書を参照してください。





4 インストールする

カメラの電源を入れて、表示される画面 にしたがって必要な操作をおこない、イ ンストールを進めます。

- ▶ 最新バージョンへの更新や新しい機能の 追加などを行うためインターネットへつ ながります。そのため、お使いのパソコ ンやインターネット環境によってはイン ストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面 の[完了]または[再起動]をクリックして、 デスクトップ画面が表示されたら CD を 取り出します。
- カメラの電源を切ってからケーブルを抜 きます。



ソフトウェアと電子マニュアルを使う



- インターネットに接続していないときは、次のような制限事項があります。手順3の画面は表示されません。
 - 一部の機能がインストールされないことがあります。
- はじめてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- 付属の CD に ImageBrowser EX が入っているカメラを複数お持ちのときは、それぞれのカメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加するため、それぞれの CD とカメラを使い、表示される画面にしたがってインストールしてください。

画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windows 7と Mac OS X v10.6を使って説明をしています。



■31の手順3の操作でカメラとパ ソコンをつなぎます。



- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- Macintoshでは、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindowが表示されます。
- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で [] のプログラム を変えるためのリンクをクリックします。
- [画像をキヤノンカメラからダウンロード します] を選び、[OK] をクリックします。







ソフトウェアと電子マニュアルを使う



CameraWindow



● [綱] をダブルクリックします。

3 画像を取り込む

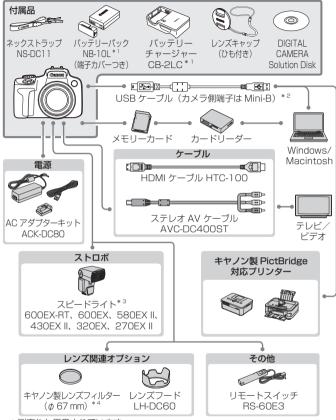
- [カメラ内の画像の取り込み] をクリック したあと、[未転送画像を取り込む] をク リックします。
- ▶画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの <▶> ボタンを押して 電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンで画像を見る操作は、「ソフトウェアの使用説明書」(〇28)を参照してください。

ソフトウェアと電子マニュアルを使う



- Windows 7で手順2の画面が表示されないときは、タスクバーの [■] をクリックします。
- Windows Vista または Windows XP をお使いのときは、手順2でカメラの電源を入れるとパソコンに表示される画面で [画像をキャノンカメラからダウンロードします] をクリックして、CameraWindow を表示します。この操作で画面が表示されないときは、「スタート」メニュー▶ [すべてのプログラム]▶ [Canon Utilities]▶ [CameraWindow]▶ [CameraWindow] を選びます。
- Macintoshで手順2の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー)の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- 付属のソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコン をつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかる でとがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - RAW 画像および同時記録された JPEG 画像は、取り込まれないことがあります。
 - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、 画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。
 - 動画編集や書き戻しなど、付属のソフトウェアの機能が一部使えなくなる ことがあります。

[「]システムマップ



- *1別売りも用意されています。
- *2キヤノン純正品(インターフェースケーブル IFC-400PCU)もあります。
- *3スピードライト 580EX、430EX、270EX、220EX、スピードライトトランスミッター ST-E2、スピードライトブラケット SB-E2 も使えます。
- *4フィルターアダプター FA-DC67A が必要です。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーので使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

□活用編

1

カメラを知る

カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

🗸 電源の入れかた/切りかた





撮影モード

- ■電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- ■電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。

再生モード

- <▶> ボタンを押すと電源が入り、撮影 した画像を見ることができます。
- <下> ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



- 撮影モードの状態で <▶> ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押し(口39) すると、撮影モードになります。
- 再生モードでは、約1分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、<►ンボタンを押すと電源が切れます。

節電機能(オートパワーオフ)

バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたっと、自動的に画面を消したり(ディスプレイオフ)、電源を切ったりする機能です。

■撮影モードでの節電機能

約1分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約2分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し(瓜39)すると画面が表示され、撮影できます。

■再生モードでの節電機能

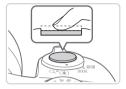
約5分間カメラを操作しないと、電源が切れます。



- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます(△206)。
- パソコンとつないでいるとき(口32)は、節電機能は働きません。

△ シャッターボタンの押しかた

ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、「全押し」して撮影します。 なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。





1 半押し(浅く押してピントを合わせる)

電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。

2 全押し(そのまま深く押して撮影する)

- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中の ため、カメラを動かさないように注意し てください。



- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

̄ ビューファインダーの使いかた

ビューファインダーの表示がはっきり見えるように調節します(視度調節)。



1 ビューファインダー表示にする

ビューファインダーが表示されるまで、<DISP>ボタンを何回か押します(○43)。



2 調節する

ビューファインダーを見ながら、ダイヤルを回します。

△ 撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。

P、Tv、Av、M、C1、C2モード 各種機能を設定して、さまざまな撮影 ができます(C113、149)。

動撮影ができます (□ 22、46)。

ムービーダイジェストモード — 静止画を撮影しているだけで、1 日をまとめた短編動画ができます (□86)。

シーンモード

撮影シーンに最適な撮影ができます(□89)。

動画モード

動画が撮影できます (◯◯ 108)。

なお、動画モード以 外でも動画ボタンを 押すだけで動画撮影 できます。

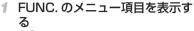
クリエイティブフィルター モード

いろいろな効果をつけた撮影ができます(M92)。

」FUNC.(ファンク)の表示と操作方法

撮影時によく使う機能は、FUNC. で設定できます。 なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード(〇262 ~265)によって変わります。





● <</p>
を押します。



2 メニュー項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押してメニュー項目を 選びます。
- ▶選んだメニュー項目の項目が、画面の下部に表示されます。

メニュー項目



3 項目を選ぶ

- <<かを回して項目を選びます。
- [MM] が表示される項目では、<DISP.> ボタンを押して設定することができます。



4 設定を終える

- </>

 ※ を押します。
- ▶ 手順 1 で <分 を押す前の画面に戻り、 設定した項目が画面に表示されます。



● 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます(Д211)。

△ MENU(メニュー)の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影

[▲] や再生 [▶] などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード(△266~273)によって変わります。



1 メニューを表示する

● <MENU> ボタンを押します。



2 タブを選ぶ

- ズームレバーを動かして、タブを選びます。
- <▲>か <▼> を押してタブが選ばれている状態にしたあと、<∮>か <▶> を押してタブを選ぶこともできます。



☆ **ド**丁 ★ 計画 する しない 音量 音の選択 機能ガイド 入 日付/特刻 12.08.08 10:00 音が鳴るようにします



3 項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <⑥> を回して項目を選びます。
- 内容が表示されていない項目では、(愛)>か>を押して画面を切り換えたあと、さらに< 下ると、さらに< 下るとびます。
- <MENU> ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。

4 内容を選ぶ





5 設定を終える

<MENU>ボタンを押すと、手順1で <MENU>ボタンを押す前の画面に戻り ます。



設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます(□211)。

△ 撮影時の画面表示の切り換えかた

電源が入っている状態で液晶モニターを開くと、画面が表示されて、ビューファインダーの表示は消えます。また、画面を内側に向けて閉じると画面の表示が消えて、ビューファインダーが表示されます(118)。





- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります(ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります(記録される画像に影響はありません)。
- 再生時の画面表示については、□ 162 を参照してください。

ランプの表示

カメラ背面のランプ (205) は、カメラの状態に連動して、点灯/点 滅状態が変わります。

色	状態	操作状態			
緑	点灯	電源「入」			
	点滅	カードへの記録/読み出し中、各種通信中			



ド/バッテリー収納部のふたを開ける |、「振動や衝撃を与える | ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなっ たり、カメラやカードが故障する原因になります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。





- を押したままにします。
- 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示 になり、<**√**>か<**♪**>を押すか<**◎**> を回すと表示色を変えることができます。
- もう一度 <(♥)> を押すと時刻表示が消え ます。



<∰> を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

2

AUTO モード(こだわりオート)

かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

「 AUTO モードで撮る(こだわりオート)

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

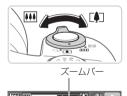
- 電源ボタンを押します。
- ▶起動画面が表示されます。





2 <**(型で)**> モードにする

- モードダイヤルを <(AUTO)> にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音(カチカチ)がします。
- ▶ 画面の右上にカメラが判別したシーンと 手ブレ補正のアイコンが表示されます (Д51、53)。
- ▶ 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



ピントの合う範囲(目安)

3 撮りたいものの大きさを決める

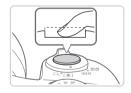
- ズームレバーを < 「↓」> 側に押すと撮りたいものが大きくなり、< 1・側> 側に押すと 小さくなります(ズームの位置を示すズームバーが表示されます)。
- ズームレバーを < 「●」> 側、または < ●●> 側へいっぱいまで押したときは速く、少し押したときはゆっくりと、大きさが変わります。

AUTO モードで撮る(こだわりオート)









4 撮影する

静止画を撮る

①ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、 ピントが合った位置に緑色の枠が表示されます。
- ▶ 複数の緑色の枠が表示されたときは、表示されたすべての枠にピントが合っています。
- □ [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、ストロボを指で持ち上げると、撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

②撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます(暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります)。
- シャッター音が鳴っている間はカメラを しっかり持ってください。
- ▶撮影した画像は、次の撮影ができるようになるまでの間だけ表示されます。

AUTO モードで撮る(こだわりオート)



撮影時間







動画を撮る

①撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」 と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画] と撮影時間が表示されます。
- ▶画面上下に黒い帯が表示され、被写体が 少し大きく表示されます。なお、黒い帯 の部分は撮影できません。
- ▶ 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。

②撮りたいものの大きさを変えたり、 構図を変える

撮りたいものの大きさを変えるときは □ 46 の手順 3 と同じ操作で変えます。

ただし、操作音は録音されます。また、 倍率が青く表示されたときは画像が粗く なります。

■撮影中に構図を変えると、ピント位置、 明るさ、色あいが自動的に調整されます。

③撮影を終える

- ●もう一度動画ボタンを押すと、電子音が 「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的 に撮影が終わります。

■静止画/動画



- 電源を入れてもカメラの画面に何も表示されないときは、ビューファインダーに表示されています。<DISP、> ボタンを何回か押すと画面が表示されます。
- ◆OISP> ボタンを押したまま電源を入れると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、〈MENU〉 ボタンを押して、[f*] タブの [消音] を選び、〈◆〉か〈▶〉を押して [しない] を選びます。

■静止画



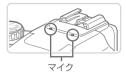
- □ 【●】 が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
 - ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「主な仕様」 (□274)を参照してください。
 - シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と 1回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲(撮影範囲)は、「主な仕様」(Д 274)を参照してください。
 - 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせの ためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ(前面)が点 灯することがあります。
 - 撮影しようとしたときに [4] が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを離してもう一度押してください。
 - 「寝顔」「赤ちゃん(寝顔)」のアイコン(◯51)が表示されているときは、撮影時にシャッター音は鳴りません。



静止画を撮影するときにストロボが光ったときは、主被写体と背景の色あい が最適になるように自動補正されます(マルチエリアホワイトバランス)。

動画





動画撮影する前にストロボを指で下げて収納し、撮影中はマイクをふさがないでください。ストロボを上げた状態やマイクをふさいだ状態では、音声が録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。

- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 回転方向の手ブレも補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲(画角)が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください(◯ 148)。
- ●動画の画質が[M]のとき(□77)は、撮影中に構図を変えると色あいが最適にならないことがあります。そのときは動画ボタンを押して撮影を一度止めてから、もう一度動画ボタンを押して撮影してください。



音声はステレオで録音されます。

動画

静止画

シーンのアイコン

<**(型加)**> モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、 ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。また、シーンによっては連続撮影します(□52)。

背景被写体		通常	逆光	暗い*	夕景	スポット ライト
Д				P	_	A
動いているとき		Q=		-	_	_
顔の一部が暗いとき		2	-	-	-	_
笑顔			E	-	_	_
寝顔				-	_	_
赤ち	赤ちゃん		6 20	-	_	_
	笑顔	9	6 29	-	_	_
	寝顔		@	-	_	_
こども (動いているとき)		2 =	2	-	-	_
人以外		AITO	1)	51 2	
動いているとき				-	_	_
近いとき				-	_	Δ

*三脚使用時

- アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、背景が暗いときは紺色、 その他のときは灰色になります。
- アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、その他のときは灰色になります。
- [♠] [♠] [♠] の背景は紺色、[♣] の背景はオレンジ色です。
- 動画撮影中、「人」「人以外」「近いとき」以外のアイコンは表示されません。
- セルフタイマー撮影時、「人 動いているとき」「笑顔」「寝顔」「赤ちゃん 笑顔」「赤ちゃん 突顔」「赤ちゃん 寝顔」「こども」「人以外 動いているとき」のアイコンは、表示されません。
- ドライブモードを [□] に設定しているとき (□127) や、[水銀灯自動補正] が [入] で自動補正されるシーン (□76) では、「笑顔」「寝顔」「赤ちゃん 笑顔」「赤ちゃん 寝顔」「こども」のアイコンは、表示されません。

AUTO モードで撮る(こだわりオート)

- ストロボを「**4**^A」に設定しているとき、逆光での「笑顔」「こども」は表示されません。 「赤ちゃん」「赤ちゃん、(笑顔)」「赤ちゃん、(寡顔)」「こども」のアイコンは、「個人認証」 を「入」にしていて、登録されている赤ちゃん(2歳未満)、こども(2歳以上12 歳以下)の顔が検出されたときに表示されます(□63)。なお、あらかじめ日付 /時刻が正しく設定されていることを確認してください(◯ 19)。
- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコン が表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影でき ないことがあります。そのときは、**<P>** モード (◯113) で 撮影することをおすすめします。

連続撮影されるシーン

次のシーンのアイコンが表示されているときに静止画を撮影すると、連続 撮影されます。次のシーンのアイコンが表示されているときにシャッター ボタンを半押しすると、連続撮影することを知らせる「☆」「■」「□」の いずれかが表示されます。

笑顔 (赤ちゃんを含む)	☆:連続撮影した画像の中から、顔の表情などを検出して、カメラが最適と判断した1枚だけを保存します。
寝顔(赤ちゃんを含む)	■:連続撮影した画像を合成することで、手ブレやノイズを軽減して寝顔をきれいに撮影できます。 AF補助光、ストロボは光りません。また、シャッター音は鳴りません。
こども	■:動き回るこどもでもシャッターチャンスを逃さずに 撮影できるように、1回の撮影で3枚の画像を連 続撮影して保存します。

- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思 いどおりの効果が得られないことがあります。
 - ピント、明るさ、色合いは、1枚目の撮影で固定されます。
- <(雪)> を押して、メニュー項目の [♣i] を選んだあと [□] を選ぶと、連 続撮影されなくなります。

静止画

動画

^ド手ブレ補正アイコン

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定(マルチシーン IS)されます。また、 <【UTO)> モードでは以下のアイコンが表示されます。

((\\du))	静止画を撮影するときの手ブレ を補正	((4 B)	動画を撮影するときの手ブレを 補正し、歩きながら撮影すると きなどの大きな手ブレも補正(ダ イナミック IS)		
(→)	静止画を流し撮りで撮るときの ブレを補正*		(4)	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正(パワードIS)		
(%)	マクロ撮影するときの手ブレを 補正 (ハイブリッドIS)	((只)	三脚などでカメラを固定したと きは、手ブレ補正を停止。ただし、 撮影条件によってはブレを補正		

^{*}動く被写体をカメラで追いながら撮影(流し撮り)するときに表示されます。左右 方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正 は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補 正されます。



 [手ブレ補正]を[切]に設定(□147)すると、手ブレが補正されなくなり、 アイコンも表示されなくなります。

静止画

動画

画面に表示される枠

カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。

ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。

- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます(サーボ AF)。
- ・撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、<**P**>モード(□113)で撮影することをおすすめします。

静止画

動画

| 被写体をもっと拡大する(デジタルズーム)

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 200 倍まで拡大できます。



1 ズームレバーを <[♠]> 側に押す

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- ▶画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。



2 もう一度 <「♠¬> 側に押す

▶ さらにズームして、被写体が拡大されます。

- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域:画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域:画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域(プログレッシブファインズーム)
 - 青色の領域: 画像が粗くなるデジタルズーム領域また、設定した記録画素数(□74)によっては青色の領域が

また、設定した記録画素数(1174)によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。



- 光学ズームとデジタルズームをあわせた焦点距離は以下のとおりです (35mm フィルム換算)。
 - 24 4800 mm (光学ズーム時は 24 1200 mm)
- デジタルズームを使わないようにするには、<MENU>ボタンを押して、[▲] タブの [デジタルズーム] を選び、[切] を選びます。

静止画 動画

望遠の撮影を快適にする

静止画

動画

■ 見失った被写体をとらえる(フレーミングアシストー探索)

ズーム中に被写体を見失ったときにいったんズーム倍率を下げて被写体を見つけやすくすることができます。





1 見失った被写体を探す

- < ご > ボタンを押したままにします。
- ▶ ズーム倍率が下がり、〈□〉 ボタンを押す前の表示範囲の目安が白い枠で表示されます。



2 被写体をとらえなおす

- 白い枠の中に被写体が入るようにして、< ユンボタンから指を離します。
- ▶ 手順 1 の白い枠内が画面いっぱいになる 倍率になります。

- 1
- ズーム倍率を下げている間は、一部の撮影情報は非表示になります。
- 動画撮影中に < □ > ボタンを押しても白い枠は表示されません。 また、ズーム倍率の変化や動作音も記録されます。



- 手順1の画面でシャッターボタンを押すと、そのときのズーム倍率で撮影 されます。
- < □ > ボタンを押したままズームレバーを動かすと、白い枠の大きさが変 わり、く「ローンボタンを離したあとのズーム倍率を変えることができます。
- < 'ロ' > ボタンを押しているときの表示節囲を変えるときは、 <**MENU**> ボ タンを押して、「▲] タブの「【□表示範囲】で3段階から選べます。
- セルフタイマー (□58) でシャッターボタンを全押ししたあとは、< 'ロ'> ボタンを押してもズーハ倍率は変わりません。

1 < 回 > ボタンを押す

静止画

■ 手ブレをおさえて構図を決める(フレーミングアシストー固 定)

高い倍率でも手ブレの影響をおさえて構図を決めることができます。





2 撮影する

ます。

< ロ > ボタンを押したまま、シャッター ボタンを半押ししてピントを合わせ、そ のまま全押しします。

▶ 画面に [12] が表示され、構図を決める のに適した手ブレ補正で画面が表示され



- <日>ボタンを押している間は、<□>ボタン(□56)を 押してもズーム倍率は変わりません。
 - ★きく構図を変えるなどすると、「□」が灰色で表示され、手ブ レ補正の効果が弱まることがあります。このときは、いったん <ロ>ボタンを離して構図を決めてから、もう一度<ロ>ボタ ンを押してください。
 - ●<□>ボタンを押したまま動画撮影をはじめると、手ブレ補正の 効果が変わることにより構図が変わることがあるため、正しく撮 影できません。



- <に><に><にボタンを押している間は、手ブレ補正のアイコンは表示されませんが、 シャッターボタンを半押ししたときに最適な手ブレ補正に設定されます。
- <「□! > ボタンを押しているときにズームレバーを動かすと、 ゆっくり大きさ が変わって撮りたいものの大きさを微調整できます。

静止画

動画

セルフタイマーを使う

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押し てから約10秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



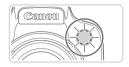


1 設定する

- ●
 >を押したあと、<</p>
 >を 押すか<(の)>を回して[い]を選び、 <(!!!)> を押します。
- ▶ 設定されると [ŵ] が表示されます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボ タンを半押しして被写体にピントを合わ せ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押 します。



- ▶ タイマーがはじまるとランプ(前面)が 点滅して、電子音が鳴ります。
- ▶撮影の2秒前になると、ランプ(前面) の点滅(ストロボ発光時は点灯)と電子 音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止 するときは、<MENU>ボタンを押しま す。
- 戻すときは、手順1の操作で [cm] を選びます。

静止画

動画

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影するため、シャッターボタ ンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。



設定する

- ■58の手順1の操作で [②] を選びます。
- ▶ 設定されると [い] が表示されます。
- □ 58 の手順 2 の操作で撮影します。

静止画

動画

■ セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

撮影されるまでのタイマー時間 (O - 30 秒) と、撮影枚数 (1 - 10 枚) を設定できます。

1 [公] を選ぶ

□ □ 58 の手順 1 の操作で [☆] を選び、 すぐに <MENU> ボタンを押します。





2 設定する

- <かを押すかを回して数値を選び、を押します。
- ▶ 設定されると [vc] が表示されます。
- □58 の手順2 の操作で撮影します。



動画ボタンを押して撮影したときは、設定した[時間]で撮影がはじまりますが、[枚数]は反映されません。



- 撮影枚数を2枚以上にしたときは、明るさや色あいは1枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を2秒以上にしたときは、撮影の2秒前にランプの点滅(ストロボ発光時は点灯)と電子音が速くなります。

静止画

『日付を写し込む

画像の右下に撮影したときの日付を写し込むことができます。 なお、写し込まれた日付を消したり、修正することはできませんので、 あらかじめ日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください (219)。





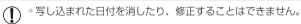
1 設定する

- <MENU>ボタンを押して、[▲] タブの [日付写し込み] を選び、目的の項目を選びます(□42)。
- ▶ 設定されると「日付」が表示されます。



2 撮影する

- ▶撮影した画像の右下に、撮影日または撮 影日時が写し込まれます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。





- 撮影日を入れずに撮った画像でも、次の方法で撮影日を入れて印刷できます。 ただし、撮影日を入れて撮った画像に、撮影日を入れる指定をすると、重複 して印刷されることがあります。
 - 付属のソフトウェアを使って印刷する
 - 「ソフトウェアの使用説明書」(28)を参照してください。
 - プリンターの機能を使って印刷する(M231)
- 印刷指定 (DPOF) 機能を使って印刷する (□238)

静止画

「ピントを合わせたい被写体を選んで撮る(キャッチ AF)

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。



1 キャッチ AF モードにする

- <▲> を押します。
- ▶ 画面中央に [中] が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に[中]が重なるようにカメラを 動かしてシャッターボタンを半押ししま す。
- ▶ 青色の枠が表示され、ピントと明るさを 合わせ続けます(サーボ AF)。

3 撮影する

- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- キャッチ AF モードを解除するときは、<▲> を押します。



被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。

🧐 個人認証機能を使って撮る

カメラに登録した人の顔を検出して、他の人よりも優先的なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。〈**AUTO**〉モードでは、登録した誕生日から赤ちゃんやこどもを判別し、最適な設定で撮影することができます。 また、撮影した多くの画像の中から登録した人の画像を検索するとき(〇166)にも便利です。

■個人情報について

- 個人認証機能で登録した顔の画像(顔情報)や、設定した個人情報(名前、 誕生日)は、カメラに記録されます。また、撮影した静止画には、検出 された人の名前が記録されます。そのため個人認証機能を設定したあと は、カメラや撮影した静止画を他人に渡したり、撮影した静止画をイン ターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注 意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や 廃棄するときは、すべての登録情報を削除(Д71)してください。

人物情報を登録する

カメラに登録する人の人物情報(顔情報、名前、誕生日)を、最大 12 人まで登録することができます。



1 設定画面を表示する

MENU ボタンを押して、[▲] タブの [個人認証設定] を選び、〈母〉を押します (△42)。

個人認証機能を使って撮る









● [登録] を選んだあと、[新しい人物情報を登録] を選びます。

2 顔情報を登録する

- 登録したい人の顔を、画面中央に表示される灰色の枠の中に収めます。
- 顔として認識されると枠が白くなりますので、この状態になったことを確認して 撮影します。
- 顔として認識されないときは、登録できません。

3 登録する

[登録しますか?]が表示されたら<かト>を押すかを選び、(質)>を押します。



▶ [プロフィール編集] 画面が表示されます。



4 名前を入力する

- </sp>
 を押します。
- <▲><▼><√>><∮>> を押すか<(○)>を回して文字を選び、<(●)>を押して入力します。
- [♠] か [♠] を選んで <分 を押すと、 文字を入力する位置を移動できます。
- 〈´´m〉ボタンを押すか、[´´d´] を選んで 〈´´⑤〉を押すと、前の] 文字が消去され ます。
- <MENU> ボタンを押してプロフィール 編集画面に戻ります。



5 誕生日を入力する

- <▲> か <▼> を押すか <⑥> を回して [誕生日] を選び、<⑥> を押します。
- < <>> か <▶> を押して項目を選びます。
- <▲> か <▼> を押すか <○> を回して設定します。
- すべての項目を設定したら、<● > を押します。

個人認証機能を使って撮る



6 登録する

- <▲> か <▼> を押すか <⑥>> を回し て [保存] を選び、〈(い)〉を押します。
- メッセージが表示されたら、<◀>か <**▶**>を押すか<**(**)>を回して「はい] を選び、<(獣)>を押します。

7 続けて顔情報を登録する

- 手順2~3の操作を繰り返して、残り4 つの顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を 向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影 条件を変えて登録することで検出されや すくなります。



- 手順2の操作で撮影したときは、ストロボは光りません。
 - ●手順5で誕生日を登録しないと、<<● 手順5で誕生日を登録しないと、<【型10】> モードのときに赤ちゃ んやこどものアイコンは表示されません(251)。



登録されている顔情報を入れ換えたり、5つの顔情報を登録していないとき は、あとで追加することができます(四69)。

撮る

カメラに登録した人の顔を優先的に主被写体と判断して、最適なピント合 わせ、明るさ、色あいで撮影できます。



- ▶ カメラを人に向けると、検出された人の 名前が最大3人まで画面に表示されます。
- 撮影します。
- ▶ 表示された人の名前が、静止画に記録さ れます。さらに画面に表示されていない 人でも、検出されると名前が記録されま す (合計 5 人まで)。



登録した顔と特徴が似ている顔を、誤って検出することがあります。

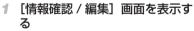


- 登録したときの顔情報と撮影したときの顔や撮影シーンが大きく違うときは、正しく検出されないことがあります。
- 登録した顔が検出されないときや、検出されにくいときは、登録されている 顔情報を入れ換えてください。撮影する直前に顔情報を登録すると検出され やすくなります。
- 誤って検出されたまま撮影したときは、再生時に名前を入れ換えたり消したりすることができます(□171)。
- 赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします(□69)。
- [▲] タブの [情報表示設定] (△154) で [撮影情報] の [✔] を外すと、 名前は表示されませんが、撮影される画像には名前が記録されます。
- 記録される静止画に名前を記録したくないときは、[▲] タブの [個人認証 設定] の [個人認証] を [切] にします。
- 記録された名前は、再生画面(簡易情報表示)で確認することができます (□ 160)。

登録した情報を確認/編集する

■登録した人物情報を確認する





■ 63の手順1の操作で[情報確認/編集]を選び、<(響)>を押します。



2 確認する人を選ぶ

<▲><▼><√>><√>>< を押すかを回して確認したい人を選び、を押します。

個人認証機能を使って撮る



3 確認する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選び、<◎> を押します。
- 登録した内容を確認します。

■名前や誕生日を変える



1 [プロフィール編集] 画面を表示 する

■ 67 ~ 68 の 手 順 1 ~ 3 の 操 作で [プロフィール編集] を選び、<を押します。



2 変更する

<▲>か<▼>を押すか<⑥>を回して項目を選び、□65の手順4~5の操作で入力します。



• [プロフィール編集] で名前を変えても、変更前に撮影された静止 画に記録されている名前には反映されません。



登録した名前は、付属のソフトウェアを使って編集することもできます。なお、付属のソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがありますが、画像には正しく記録されます。

■ 顔情報を入れ換え/追加する

新しい顔情報に入れ換えることができます。顔が検出されにくいときや、 特に赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の 入れ換えをおすすめします。

また、顔情報を5つ登録していないときは、追加で顔情報を登録します。



1 [顔情報の追加登録] 画面を表示 する

■ □ 63 の手順1の画面で [顔情報の 追加登録] を選び、< ⑤ > を押します。



2 入れ換える人の名前を選ぶ

- <▲><▼><√><∮>< ∮>> を押すかを回して入れ換える人の名前を選び、<∰>を押します。
- ●登録されている顔情報が4つ以下のときは、□70の手順5の操作で追加します。



3 顔情報の画面を表示する

- ▶ 顔情報の画面が表示されます。



4 入れ換えたい顔情報を選ぶ

個人認証機能を使って撮る



5 顔情報を登録する

- 64の手順2~3の操作で撮影し、 新しい顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を 向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影 条件を変えて登録することで検出されや すくなります。



- 顔情報が5つ登録されているときは、追加はできません。上記の操作で顔情報を入れ換えてください。
- 登録している顔情報が4つ以下のときは、上記の操作であらたに顔情報を 登録はできますが、入れ換えはできません。いったん顔情報を消して(下記) から、新しい顔情報を登録(△63)してください。

■顔情報を消す



1 [情報確認 / 編集] 画面を表示する

■ □ 63 の手順 1 の操作で [情報確認 / 編集] を選び、<(**)> を押します。



2 顔情報を消す人の名前を選ぶ

<▲><▼><∮><∮>> を押すか<(◎)>を回して顔情報を消す人の名前を選び、<(⑩)> を押します。





3 「顔情報の一覧」画面を表示する

<▲>か<▼>を押すか<()>を回して [顔情報の一覧]を選び、<()を押します。

4 消す顔情報を選ぶ

- を押してから、<</p>

 を押すか

 >を回して消す顔情報を選び、
 び、

 が、

 </
- [消去しますか?] が表示されたら、<<√>か>を押すか○>を回して「OK]を選び、(例)を押します。
- 顔情報が消えます。

学登録した情報を消す

カメラに登録した人物情報(顔情報、名前、誕生日)を消すことができます。 なお、撮影した画像に記録されている名前は消えません。





| [登録情報の消去] 画面を表示す る

■ □63の手順1の操作で[登録情報 の消去]を選びます。

2 人物情報を消す人の名前を選ぶ

- <▲><▼>< √>>< ∮>> を押すか<(○)>を回して人物情報を消す人の名前を選び、<(⑥)>を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、<<√>か>を押すか<○>を回して「OK]を選び、(例)を押します。

個人認証機能を使って撮る



●登録情報を消すと、名前の表示(□66) や、入れ換え (□171)、検索(□166) はできなくなります。



● 画像に記録された名前だけを消すこともできます(□ 172)。

┘ 自分好みの画像を撮るための機能を使う

静止画

縦横比(アスペクト比)を変える

画像の縦横の比率を変えられます。





設定する

- <●を選んだあと、目的の項目を選びます(□41)。
- ▶ 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で [4:3] を選びます。

- 16:9 HD (ハイビジョン) 対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
- 3:2 35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
- 1:1 正方形です。
- 4.5 肖像画などによく見られる縦横比です。

🚩 記録画素数(画像の大きさ)を変える

画像の記録画素数を4種類から選べます。それぞれの記録画素数で1枚のカードに撮影できる枚数については「主な仕様」(Q274)を参照してください。





設定する

- <● <を押して、メニュー項目の [4] を 選び、目的の項目を選びます(□41)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [L] を選びます。

■ 用紙の大きさで選ぶときの目安(縦横比 4:3 のとき)

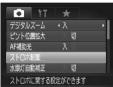


■[§]は、電子メールで画像を送るとき などに適しています。

赤目自動補正

ストロボ撮影時に目が赤く写る現象を、自動補正して撮影できます。







1 [内蔵ストロボ設定] 画面を表示 する

■ <MENU> ボタンを押して、
「●] タブの [ストロボ制御] を選び、<
(●) を押します(□42)。
</p>

2 設定する

- [赤目自動補正] を選んだあと、[入] を 選びます(□42)。
- ▶ 設定されると [●] が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で[切]を選びます。

1

化粧などで目の周りが赤いときは、目以外を補正することがあります。



- 撮影した画像を補正することもできます (□ 193)。
- <\$>ボタンを 1 秒以上押すと手順 2 の画面を表示できます。
- ストロボを上げているときは、<\$>ボタンを押してからすぐに <MENU>ボタンを押すことで、手順2の画面を表示できます。



🥇 水銀灯で緑がかった部分を補正する

水銀灯の灯りの影響を受ける夜景シーンなどを撮影すると、撮影した画像の被写体や背景全体が緑がかってしまうことがあります。この緑がかることを撮影時に自動補正することができます(マルチエリアホワイトバランス)。





設定する

- <MENU> ボタンを押して、[▲] タブの [水銀灯自動補正] を選んだあと、[入] を選びます(□42)。
- ▶ 設定されると「♣〕が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で[切]を選びます。



水銀灯の灯りの影響を受けるシーンでの撮影が終わったあとは、 [水銀灯自動補正]を[切]に戻すことをおすすめします。[入] のままにしておくと、水銀灯の影響ではない緑がかった色が誤っ て補正されることがあります。



シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをすることをおすすめします。

動画

動画の画質を変える

3 種類の画質から選べます。それぞれの画質で 1 枚のカードに撮影できる時間については「主な仕様」(△274)を参照してください。





設定する

- <● を選んだあと、目的の項目を選びます(□41)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で[M]を選びます。

画質	記録画素数	フレーム数	内容
1920	1920 x 1080 画素*	24 フレーム / 秒	Full HD(フルハイビジョン) 画質で撮影できます。
1280	1280 x 720 画素	30 フレーム / 秒	HD (ハイビジョン) 画質で撮 影できます。
640	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮 影できます。

*高解像動画処理(多くの情報を高速に処理することで、より高精細な動画を記録することができます)



• [[M]] [[M]] では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。

音声を設定する

動画

動画

■ 録音レベル(録音音量)を変える

[オート] では音割れを軽減するため録音レベル(録音音量)が自動調整されますが、撮影シーンにあわせて録音レベルを手動で設定することができます。





1 [動画音声] 画面を表示する

■ <MENU> ボタンを押して、[▲] タブの [動画音声] を選び、
・を押します(△42)。

2 設定する

- [マイク] を選んだあと、[マニュアル] を選びます(□42)。
- <▼> を押したあと、<◆> か> を押して [録音レベル] を設定します。
- 戻すときは、上記の操作で [オート] を 選びます。

動画

■ ウィンドカットを使う

風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。



設定する

- ●「録音レベル(録音音量)を変える」の手順1の操作で[動画音声]画面を表示します。
- [ウィンドカット] を選び、[入] を選び ます(□42)。
- 戻すときは、上記の操作で[切]を選びます。

撮影の手助けとなる機能を使う

動画 静止画

水進器を使う

画面に水準器を表示できます。撮影するときにカメラが水平になっている かを確認するための目安としてで使用ください。





gill (i

水準器を表示する

● <DISP> ボタンを何回か押して水準器を 表示します。



2 カメラを水平にする

● 水準器の中心が緑色になるように、カメ ラの左右の傾きを調整します。



â

- 手順 1 で水準器が表示されないときは、<MENU> ボタンを押して「▲1 タブの「情報表示設定」で、水準器に「✓」をつけてください。
- カメラを前後方向に傾けすぎると、水準器が灰色になり使えなくなります。
- 動画撮影中は水準器が表示されません。
- カメラを縦位置で構えると、水準器の向きが変わります。
- 水準器を使っても水平に撮影できないときは、水準器を調整します $(207)_{\circ}$

ピント位置を拡大表示する

シャッターボタンを半押ししたときに、AF フレーム(ピント合わせの枠)の位置を拡大表示してピントを確認することができます。





1 設定する

■ <MENU>ボタンを押して、
「●] タブの
[ピント位置拡大]を選び、
[入] を選びます (□42)。



2 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しすると、主被 写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。
- 顔が検出できないとき、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているとき、顔が動いていると判別されたときは、シャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。



● デジタルズーム(□55)やキャッチ AF(□136)をしているときは拡大表示されません。

「目をつむった人を確認する

撮影時に目をつむった可能性のある人を検出したときは、[図] を表示してお知らせします。





1 設定する

■ <MENU> ボタンを押して、[
□] タブの [目つむり検出] を選び、[入] を選びます (□42)。

2 撮影する

- 目をつむった人を検出したときは、[四] が表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で[切]を選びます。



- [ⓒ] で撮影枚数を2枚以上に設定したときは、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- [4]] で連続撮影されたとき(□52)は、動作しません。
- [撮影の確認]を2~10秒または [ホールド] にしているとき (□83) は、目をつむった人の顔に枠が表示されます。

🗸 自分好みに機能を変える

<MENU>の [▲] タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU(メニュー)の表示と操作方法」 (42) を参照してください。

AF補助光(ランプ)を切る

暗いところで撮影するときは、ピントを合わせるためにランプ(前面)が 点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



設定する

<MENU> ボタンを押して、[▲] タブの [AF 補助光] を選び、[切] を選びます(□42)。

静止画

戻すときは、上記の操作で〔入〕を選びます。

静止画

動画

赤目緩和機能(ランプ)を切る

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ(前面)が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



1 [内蔵ストロボ設定] 画面を表示 する

● <MENU> ボタンを押して、「●」タブの [ストロボ制御] を選び、<一> を押します(□42)。

2 設定する

- [赤目緩和ランプ]を選んでから、[切] を選びます(□ 42)。
- 戻すときは、上記の操作で[入]を選びます。

撮影直後の画像表示時間を変える

撮影直後に画像が表示される時間を変えられます。



設定する

- <MENU> ボタンを押して、[▲] タブの [撮影の確認] を選び、目的の項目を 選びます(□42)。
- 戻すときは、上記の操作で [クイック] を選びます。

クイック	次の撮影ができるようになるまで の間だけ画像を表示します。
2~10秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするま で画像を表示します。
切	画像は表示されません。



「 撮影直後の画面表示を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。



1 [撮影の確認] を 2 ~ 10 秒または [ホールド] にする (83)。

2 設定する

- **<MENU>**ボタンを押して、
 「●」タブ
 の [レビュー情報] を選び、目的の項目
 を選びます (○42)。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を 選びます。

	非表示	撮影した画像だけを表示します。
	詳細表示	詳細情報表示(🎑 257)になり ます。
	ピント確認	AF フレームの位置を拡大表示して、ピントを確認することができます。操作方法は、「ピント位置を確認する(フォーカスチェッカー)」(Д 165)と同じです。



■[撮影の確認](□83)で [クイック] または [切] を選んでいるときは、 [非表示] に固定されます。

3

いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな 効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



✓ 短編動画を自動で作る(ムービーダイジェスト)

静止画を撮影しているだけで、1日をまとめた短編動画ができます。 静止画を撮影するたびに、その直前のシーンが動画として自動で記録され ます。同じ日に記録された動画は、1つのファイルとして保存されます。



1 < ♪ > モードにする

モードダイヤルを < ► > にあわせます。

2 撮影する

- シャッターボタンを押して、静止画を撮 影します。
- ▶ 撮影直前の約2~4秒間の動画も自動的 に記録されます。



- 電源を入れたり < ■> モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、動画が記録されないことがあります。
- 静止画と一緒に動画が撮影されるため、〈AUTO〉 モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 動画には、カメラを操作したときの操作音が録音されます。



- < ■>モードで作成された動画を、日付で選んで見ることができます (□ 169)。
- < る>モードで作成された動画は、iFrame 動画になります(□110)。
- 同じ日に記録された動画は1つのファイルになりますが、1回の撮影で作成された動画は1つのチャプターになり、このチャプターを使って編集することもできます(□196)。
- 次のときは、同じ日に < 3 > モードで作成された動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - 動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 29 分 59 秒になったとき
 - 動画を保護したとき(□ 175)
 - サマータイムの設定(🖺 20)やエリア設定(🖺 200)を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき(□205)
- シャッターボタンを半押ししたときの音、[操作音]、[セルフタイマー音] (□ 199) などの電子音は鳴りません。

[〔] 動きのある被写体を撮る(スポーツ)

動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます。



1 <<</p> < > モードにする

● モードダイヤルを < < > にします。



2 ピントを合わせる

シャッターボタンを半押ししている間、 青色で枠が表示され、ピントと明るさを 合わせ続けます。

3 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、 連続撮影されます。
- シャッターボタンを離すか、撮影できる 最大枚数になると撮影が終わり、[処理 中…] と表示され、撮影された順に画像 が表示されます。



- <>モードでは、撮影シーンによってはISO 感度(□117)が高くなるため、画像が知くなることがあります。
- <<<<<</l></l></l></l></l></l
- 連続撮影をしたあとは、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。また、カードによっては、次の撮影までにさらに時間がかかることがあります。
- 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、撮影の速度が遅くなる ことがあります。

■ 再生したときの表示について

1回に連続撮影された複数の画像が 1 つのグループにまとめられ(グループ化)、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す [81] [9] が画面左上に表示されます。



グループ化された画像を消す(□179)と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。



- グループ化された画像を 1 枚ずつ見たり (□ 170)、グループ化を解除できます (□ 170)。
- グループ化された画像を保護 (△175) すると、グループ内のすべての画像が保護されます。
- 画像の検索(□166)や連想再生(□174)で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて1枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、個人認証情報の編集(□171)、お気に入り設定(□184)、編集(□182~193)、カテゴリー分け(□185)、起動画面への登録(□202)、印刷(□231)、1枚ずつの印刷指定(□240)、フォトブック指定(□243)はできません。グループ化された画像を1枚表示(□170)にするか、グループ化を解除(□170)してから行ってください。

△ いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが 自動的に設定を行います。





1 <SCN> モードにする

モードダイヤルを <**SCN**> にあわせます。



- <● > を押してメニュー項目の [*) を 選び、撮影モードを選びます (□41)。
- 3 撮影する



人をやわらかい感じで撮影できます。



- 三脚などでカメラを固定しなくても、夜 景や夜景を背景にした人をきれいに撮影 できます。
- 連続撮影した画像を 1 枚に合成すること で、手ブレやノイズが軽減されます。



動画

* 雪景色で撮る (スノー)

● 雪景色を背景に、人を明るく自然な色あ いで撮影できます。



静止画

動画

※ 花火を撮る(打上げ花火)

打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。

- [報] モードでは、撮影シーンによっては ISO 感度(□ 117) が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
 - 「智] モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示され ます。
 - [智] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり 構え続けてください。
 - [智] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、 思い通りの効果が得られない画像が保存されることがあります。
 - 「器] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かない ように固定してください。また、三脚などでカメラを固定すると きは、「手ブレ補正」を「切」にして撮影することをおすすめしま
 d

 (□ 147)



■ 三脚を使って夜景を撮影するときは、[♥]] モードではなく、[ΦUTO] モー ドで撮影することをおすすめします (1146)。

人の肌がなめらかに見えるように撮る(美肌)

肌がなめらかに見える画像を撮影できます。効果の強さと肌色の色あい([色白肌] [褐色肌]) を設定することもできます。

1 [♥] を選ぶ

■ ○ □ 89 の手順 1 ~ 2 の操作で [※] を選びます。



2 設定画面を表示する

● <DISP.> ボタンを押します。

3 設定する

- <▲>か<▼>を押して項目を選び、<<∮>か>を押すか<>を回して効果を選んだあとDISPボタンを押します。
- 設定した効果で画面が表示されます。

4 撮影する

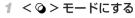
- (1)
- 人の肌以外も補正することがあります。
- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、 事前に試し撮りをすることをおすすめします。



主被写体と判断された人の顔が最適になるように効果がかかります。

いろいろな効果をつけて撮影することができます。





● モードダイヤルを < ◊ > にあわせます。



2 撮影モードを選ぶ

<買>を押してメニュー項目の [HDR] を 選び、撮影モードを選びます (□41)。



3 撮影する

静止画動画

❷ 鮮烈な色で撮る(極彩色)

色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。



静止画

動画

- イラスト風の効果をつけて撮る (オールドポスター)
- 古いポスターのようなイラスト風の効果 をつけて撮影できます。

- 1
- [②] [》] モードでは、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

「明暗差の大きいシーンで撮る(ハイダイナミックレンジ)

明るさの異なる3枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して1枚の画像にします。明暗差の大きい風景などでの白トビや黒ツブレをおさえることができます。

1 [HDR] を選ぶ

■ 1 ~ 2の操作で [HM]を選びます。



2 カメラを固定する

手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが 動かないように固定します。

3 撮影する

シャッターボタンを全押しすると、3枚 連続して撮影されたあと、画像が合成さ れます。



[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (○147)。



- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

■色効果をつける



- □92の手順1~2の操作で[HM] を選びます。
- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀>か<∮>を押すか<(◎)>を回して色効果を 選び、もう一度 <DISP.> ボタンを押し ます。

₫FF 色効果切	_
♣e セピア	セピア調で撮影できます。
₽w 白黒	白黒で撮影できます。
🏖 極彩色	色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。
♣ オールド	ポスター 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。

静止画

「魚眼レンズのような効果をつけて撮る(魚眼風)

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [3] を選ぶ

■ 2の手順1~2の操作で[3] を選びます。



2 効果を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<√>か< を押すか<(○)>を回して効果のレベルを選び、もう一度< DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

● 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

動画

「 ミニチュア模型のように撮る(ジオラマ風)

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の 人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、 音声は録音されません。

1 [基] を選ぶ

- □92の手順1~2の操作で[▲] を選びます。
- ▶ 画面に白い枠(ぼかさない範囲)が表示 されます。



- <DISP.> ボタンを押します。
- ブームレバーを動かして枠の大きさを変えたり、<▲>か<▼>を押して枠の位置を変えます。

3 動画を撮るときは再生時の速さを 選ぶ

《MENU》ボタンを押したあと、<**◆》**か
<**>♪** を押すか <**○**> を回して倍速(速

さ)を選びます。



<MENU> ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。





■ 倍速と再生時間の目安(動画を 1 分間撮影したとき)

倍速	再生時間
5x	約12秒
10x	約6秒
20x	約3秒

- (!)
- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
 - 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順2の画面で<(雷)>を押すと枠の縦横が変わり、枠を縦にしたときは◆>か<▶>を押すと枠の位置を変えられます。
- 動画の画質は、縦横比で [4:3] を選んだときは [60] に、[16:9] を選んだときは [60] に固定されます (① 73)。
- 手順2、3の画面の表示中や動画の撮影中は、< 一、> ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

静止画

、トイカメラのような効果をつけて撮る(トイカメラ風)

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮 影したような効果をつけて撮影できます。

1 [◎] を選ぶ

■ 92の手順1~2の操作で[四] を選びます。



2 色調を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<√>か< を押すか<(○)>を回して色調を選び、もう一度<DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画

『優しい雰囲気で撮る(ソフトフォーカス)

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 [೨] を選ぶ

■ 92の手順1~2の操作で[2]を選びます。



- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀>か< を押すか<⑥> を回して効果のレベルを選び、もう一度<DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 設定した効果で画面が表示されます。
- 3 撮影する



(!)

撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画

動画

単色で撮る(モノクロ)

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 [□] を選ぶ

■92の手順1~2の操作で[□] を選びます。



2 色調を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀>か<♪> を押すか <⑥>> を回して色調を選び、もう一度 <DISP.> ボタンを押します。
- ▶設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

静止画

動画

「ワンポイントカラーで撮る

画面内の指定した 1 色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。

1 [**/**A] を選ぶ

■ □92の手順1~2の操作で[/A]を選びます。





取り込まれた色

2 設定画面を表示する

- <DISP> ボタンを押します。
- ▶ 色を変える前の画像とワンポイントカラーの画像が交互に表示されます。
- ▶ 初期状態では、残る色が緑色に設定されています。

3 残す色を指定する

- 残したい色が中央の枠いっぱいに入るようにして、<◀>を押します。
- ▶指定した色が取り込まれます。

4 残す色の範囲を指定する

- <▲>か<▼>を押すか<○>を回して、残したい色の範囲を変えます。
- 指定した色だけを残すときは一の値を大きくします。指定した色に近い色も残すときは+の値を大きくします。
- **OISP.**> ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

5 撮影する

- 1
- ストロボを使うと、思いどおりの画像にならないことがあります。 ■ 撮影シーンによっては、画像が短くなったり、思いどおりの色に
- 撮影シーンによっては、画像が粗くなったり、思いどおりの色にならないことがあります。

スイッチカラーで撮る

画面内の指定した 1 色を別の色に変えて撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみです。

1 [/s] を選ぶ

■ 92の手順1~2の操作で[/s]を選びます。

静止画

動画

2 設定画面を表示する

- <DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 色を変える前の画像とスイッチカラーの画像が交互に表示されます。
- ▶ 初期状態では、緑色を灰色に変えるよう 設定されています。

3 変える前の色を指定する

- 中央の枠いっぱいに入るようにして<√>を押します。
- ▶指定した色が取り込まれます。





4 変えたあとの色を指定する

- 中央の枠いっぱいに入るようにして< ▶> を押します。
- ▶指定した色が取り込まれます。

5 変えたあとの色の範囲を指定する

- <▲>か<▼>を押すか<○>を回して、変えたい色の範囲を変えます。
- 指定した色だけを変えるときは一の値を 大きくします。指定した色に近い色も変 えるときは+の値を大きくします。
- **OISP.**> ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

6 撮影する

ストロボを使うと、思いどおりの画像にならないことがあります。 撮影シーンによっては、画像が粗くなったり、思いどおりの色にならないことがあります。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る

静止画

顔を見つけて撮る(オートシャッター)

■ 笑顔を見つけて撮る(スマイル)

シャッターボタンを押さなくても、カメラが笑顔を検出するたびに、自動で撮影します。



1 [空] を選ぶ

- 2の操作で[動] を選んだあと、< DISP.> ボタンを押します。
- <√> か <√>> を押すか <⑩>> を回して[℃] を選び、<DISP.> ボタンを押します。
- ▶撮影準備に入り、[笑顔を検出中です]が表示されます。



2 カメラを人に向ける

- カメラが笑顔を検出するたびに、ランプ (前面)が光ったあと撮影されます。
- < ト> を押すと笑顔の検出を中断できます。もう一度ト> を押すと笑顔の検出を再開します。



笑顔を検出するたびに撮影し続けるので、撮影が終わったら、他の撮影モードに変えることをおすすめします。



- シャッターボタンを押して撮影することもできます。
- カメラの方を向いて、歯が見えるように口を開けて笑うと、笑顔が検出され やすくなります。
- 手順1で[ご]を選んだあと、<▲>か<▼>を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出](□81)は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- < ロ > ボタンを押しているときは自動撮影されません。

ウインクしたら撮る(ウインクセルフタイマー)

カメラを人に向けてシャッターボタンを押したあと、カメラがウインクを検出すると、約2秒後に撮影されます。



1 [ご] を選ぶ

- 89の手順1~2の操作で[動] を選んだあと、< DISP.> ボタンを押します。
- <√> か <▶> を押すか <⑥> を回して[ぐ] を選び、<DISP.> ボタンを押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを 半押しする

ウインクする人の顔に緑色の枠が表示されていることを確認します。



3 シャッターボタンを全押しする

- ▶撮影準備に入り、[ウインクすると撮影します]が表示されます。
- ▶ ランプ(前面)が点滅し、電子音が鳴ります。



4 カメラに向かってウインクする

- ▶ 枠が表示された人のウインクが検出されると、約2秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止 するときは、<MENU>ボタンを押しま す。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る



- ウインクが検出されないときは、少し長めに、しっかりとウインクしてください。
- 帽子や髪で目が隠れていたり、眼鏡をかけていたりすると、ウインクが検出されないことがあります。
- 両目をつむってもウインクとして検出されます。
- ウインクが検出されないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順 1 で [(な)] を選んだあと、<▲> か <▼> を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出] (□81) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- 人がいない構図でシャッターボタンを全押ししたときは、あとから構図に入った人のウインクで撮影がはじまります。
- シャッターボタンを全押ししたあとは、〈ロ〉ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

静止画

■人が増えたら撮る(顔セルフタイマー)

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出(〇133)されると、約2秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすめです。



1 [(:)] を選ぶ

- 1 ~ 2 の操作で [6] を選んだあと、<DISP.> ボタンを押します。
- <√> か <√>> を押すか <⑥>> を回して [ぐ] を選び、<DISP> ボタンを押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを 半押しする

ピントが合った顔には緑色、それ以外の 顔には白の枠が表示されていることを確 認します。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る





3 シャッターボタンを全押しする

- ▶撮影準備に入り [顔が増えたら撮影します] が表示されます。
- ▶ ランプ(前面)が点滅し、電子音が鳴り ます。

4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

- ▶ 新しい顔が検出されると、ランプの点滅 (ストロボ発光時は点灯)と電子音が速く なり、約2秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止 するときは、<MENU>ボタンを押しま す。



- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約15秒後に撮影されます。
- 手順1で [(*)] を選んだあと、<▲>か<▼>を押すと撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出](□81)は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- シャッターボタンを全押ししたあとは、〈ロー〉ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

「高速で連続して撮る(ハイスピード連写 HQ)

シャッターボタンを全押ししている間、高速で連続撮影ができます。連続撮影の速度は「主な仕様」((274) を参照してください。 HQは High Quality (ハイクオリティ)の略です。



1 [5] を選ぶ

■ 2の操作で [] を選びます。

2 撮影する

- ▶シャッターボタンを全押ししている間、 連続撮影されます。
- シャッターボタンを離すか、撮影できる 最大枚数になると撮影が終わり、「処理 中…」と表示され、撮影された順に画像 が表示されます。
- 1回に連続撮影された複数の画像が 1 つのグループにまとめられ(グループ化)、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます(○88)。



- ピント、明るさ、色あいは、1 枚目の撮影で固定されます。
- 撮影中は、画面に何も表示されません。
 - 連続撮影をしたあとは、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。また、カードによっては、次の撮影までにさらに時間がかかることがあります。
 - 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、撮影の速度が遅くなる ことがあります。

「スティッチアシストで撮る

大きな被写体を分割して撮影し、パソコンで「付属のソフトウェア」 (28) を使って合成処理をすると、パノラマ画像が作れます。

1 [□] か [□] を選ぶ

■ □ 89の手順1~2の操作で[□] または「□]を選びます。

± 1 → 2 ③

2 1枚目の画像を撮影する

▶ 1 枚目の撮影で、露出や色あいが固定されます。



3 2枚目以降を撮影する

- 1 枚目の画像に重ねるようにして、2 枚目の画像を撮影します。
- 重ねかたが多少ズレても、合成時に自動 補正されます。
- 2 枚目の撮影と同様の操作で最大 26 枚まで撮影できます。

4 撮影を終える

</>

●

を押します。

5 パソコンで合成する

●画像の合成方法については、「ソフトウェアの使用説明書」(□28)を参照してください。



AFロックするときは、< S>ボタンに [AFL] を登録してください (□ 155)。

」いろいろな動画を撮る

┛ < ♥ マラン モードで動画を撮る

動画



1 〈宗> モードにする

- ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この 部分は撮影できません。
- 2 目的に応じて各機能を設定する (□ 260 ~ 271)
- 3 撮影する
 - 動画ボタンを押します。
 - 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。

静止画 動画

■動画撮影中に静止画を撮る

動画の撮影中でも静止画を撮ることができます(フォト・イン・ムービー)。



1 動画撮影中に、ピントを合わせる

- [▲] が表示されていることを確認し、 シャッターボタンを半押しします。
- ▶ピントと露出が再調整されます(電子音は鳴りません)。
- ▶動画撮影は継続されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- ▶ 静止画が撮影されます。



- カードの記録速度が遅いときや、内部メモリーの空きがないときは、静止画を掃れないことがあります。
 - [▲](点滅):書き込み処理中です。点滅が終わると撮影できます。
 - [▲]:静止画を撮れません。
 - [表] [▲] モードでは、動画撮影中に [▲] が表示されて、静止画を撮れません。
- 静止画を撮影したとき、動画には黒い画面とシャッター音が記録されます。
- ストロボは発光しません。
- ●画像に撮影日時(□61)は記録できません。
- i- コントラスト(□120)は反映されません。
- 静止画を撮ると内部メモリーの空きがなくなり、動画撮影が止まることがあります。



- [M] [M] (縦横比 16:9)のときは、縦横比は [16:9]の静止画が撮影されます。
 - [M] (縦横比 4:3) のときは、縦横比は [4:3] の静止画が撮影されます。
 - 静止画の縦横比の設定が、動画の縦横比と異なるときは、[▲]で撮影されます。
- [ダイナミック IS] で [1] を選んでいるとき (□ 148) は、動画撮影中の画面より広い範囲が撮影されます。
- ISO 感度は「器」になります。

動画

■明るさを固定したり変えて撮る

撮影前に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、 ± 3 段の範囲で変えられます。



1 露出を固定する

- <▲> を押すと露出が固定されて露出シフトバーが表示されます。
- もう一度 <▲> を押すと解除されます。

2 露出を変える

- 画面を見ながら、<()> を回して露出を 変えます。
- 3 撮影する (◯◯ 108)

動画

iFrame 動画で撮る

iFrame(アイフレーム)に対応したソフトウェアや機器での編集に適した動画が撮影できます。なお、「付属のソフトウェア」(〔28)を使うと、iFrame動画の編集や保存などを高速に行うことができます。



1 [計] を選ぶ

- モードダイヤルを < !── > にします。
- <参>を押してメニュー項目の [門] を 選び、[計] を選びます (□41)。
- ▶画面上下に黒い帯が表示されます。この 部分は撮影できません。

2 撮影する (二108)



- 記録画素数は [mm] (□ 77) に固定されます。
- iFrame とは、Apple 社が提唱する動画タイプです。

動画

▶ ハイスピード動画を撮る

動きの速い被写体を撮影し、スローモーション再生することができます。 なお、音声は録音されません。

1 [燙] を選ぶ

- モードダイヤルを < ♥にします。
- <
 ⑤ > を押してメニュー項目の [♣] を 選び、「₹] を選びます (□41)。



- ◆◇▽>を押して、メニュー項目の[m]を選び、フレームレートを選びます(□ 41)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。



3 撮影する (□108)

▶撮影時間に連動したバーが表示されます。 なお、撮影できる時間は、最長約30秒 です。



フレーム数	画質	再生時間 (30 秒間撮影したとき)
🌇 240 フレーム / 秒	30 (320 x 240 画素)	約4分
120フレーム/秒	640 x 480 画素)	約2分

- ●撮影中はズームレバーを操作しても、ズームできません。
 - ピント、露出、色あいは動画ボタンを押したときに固定されます。

いろいろな動画を撮る



- □ 160 の手順 1~3 の操作で再生すると、スローモーション再生されます。
- [表] モードで撮影した動画は、付属のソフトウェアを使うと、再生速度を変えて見ることができます。「ソフトウェアの使用説明書」(△28)を参照してください。

4

Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが <**P**> モードになっていることを前提に説明しています。
- <P>は、Program AE (プログラムエーイー)の略、AE は、Auto Exposure (オートエクスポージャー)の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を <**P**> モード以外で使うときは、それぞれの機能が どのモードで使えるか確認してください(<u>Q</u>260 ~ 271)。

△ プログラム AE で撮る(<P> モード)

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 <**P**> モードにする

- モードダイヤルを <**P**> にします。
- 2 目的に応じて各機能を設定 (□ 115~147) し、撮影する



- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッター スピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。次の設定で、適正露出が 得られることがあります。
 - ストロボを発光させる(Д142)
 - ISO 感度を変える(<u></u>117)
- ◆P>モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、 ◆FUNC.>や ◆MENU>の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。
- ◆
 ▼> モードでの撮影範囲は、「主な仕様」(□274)を参照してください。

「明るさ(露出)に関する機能を使う

静止画

一明るさを変える(露出補正)

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、±3 段の範囲で補正できます。



- ▶ 設定した補正量が表示されます。

静止面

明るさ(露出)を固定する(AEロック)

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。





1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、<▲>を押します。
- ▶[★] が表示され、露出が固定されます。
- シャッターボタンから指を離してもうー度<皮<を押すと、[★] が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する

■ 1 枚撮影すると、[★] が消え解除されます。



- AE は、Auto Exposure (オートエクスポージャー)の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに〈◎〉を回すと、シャッタースピードと絞り数値の 組みあわせを変えることができます(プログラムシフト)。

| 測光方式を変える

撮影シーンにあわせて、測光方式(明るさを測る特性)を変えられます。



- <を押して、メニュー項目の [6] を 選び、目的の項目を選びます() 41)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

◎ 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
[] 中央部重点 平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
[•] スポット測光	[[]](スポット測光枠)の範囲のみを測光します。スポット測光枠は AF フレームに連動させることもできます(下記)。

静止画

■ スポット測光枠を AF フレームに連動させる



- 1 [①] にする
 - 上記の操作で「[•]] を選びます。
- 2 設定する
 - <MENU> ボタンを押して、[
 □] タブの [スポット測光枠] を選び、[AF 枠連動] を選びます (□42)。
 - ▶ AF フレームを動かす(□ 135) と、スポット測光枠も連動して移動します。
- [AF フレーム] が [顔優先] (□ 133) または [キャッチ AF] (□ 136) のときは設定できません。

ISO 感度を変える



- <▼>を押したあと、<<>> か<すか<(○)>を回して項目を選び、<(□)>を押します。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

ISO AUTO	撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定	
(50 (50 (50 (50 80 100 125 160 200	低い	晴天の屋外
ISO ISO ISO ISO ISO 250 320 400 500 640 800	‡	曇り空、夕方
150 150 150 150 150 150 150 150 150 150	高い	夜景、暗い室内



- [編] では、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。
- 設定画面を表示しているときに <DISP.> ボタンを押すと、[隔] にすることができます。

■闘の設定を変える

[紀] にしたときに自動設定される ISO 感度の上限を [紀] ~ [紀] の範囲から選んだり、ISO 感度の上がりかたを 3 種類から選ぶことができます。

1 設定画面を表示する

<MENU>ボタンを押して、[▲] タブの [ISOオート設定] を選び、<を選び、を押します(□42)。



2 設定する

設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます(○42)。



[ISO オート設定] 画面は、ISO 感度の設定画面(Д117) を表示しているときに <MENU> ボタンを押すことでも表示できます。

ノイズ低減の強さを変える(高感度時 NR)

ノイズ低減(Noise Reduction)の強さを[弱][標準] [強] の3種類から選べます。特に高い ISO 感度で撮影するときに有効です。



ノイズ低減の強さを選ぶ



• [**||||**] [**|||**] (口 146) では設定できません。

🏲 露出を自動的に変えて撮る(AEB 撮影)

カメラが自動的に露出を変えながら、標準露出、マイナス補正、プラス補正の順に3枚連続で撮影されます。補正量は標準露出を中心に1/3段ずつ、±2段の範囲で設定できます。



1 [4] を選ぶ

<参> を押して、メニュー項目の [響] を選んだあと、項目の [备] を選びます (□41)。



2 設定する

OISP.> ボタンを押したあと、<**√**> か◆> を押すか <**○**> を回して設定します。



- [⑤] (□47) 以外では、AEB 撮影はできません。
- ●連続撮影(□127) はできません。



- 露出補正(◯ 115)をしているときは、設定している値が中心になります。
- 露出補正(口115)の画面で、<DISP.> ボタンを押すと、手順2の設定 画面を表示できます。
- [℃](□59)で撮影枚数を設定しても、撮影される枚数は3枚です。
- 「目つむり検出」(□81)は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

┩ 明るさを補正して撮る(i- コントラスト)

人の顔や背景など、一部が明るすぎたり暗すぎたりするときは、その部分を検出し、適切な明るさに自動補正して撮影することができます。

白トビをおさえたいときは「ダイナミックレンジ補正」、黒ツブレをおさえ たいときは「暗部補正」を設定します。



• 撮影シーンによっては画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。



● 撮影した画像を補正することもできます(Д 192)。

静止画

■ ダイナミックレンジ補正(D レンジ補正)

明るすぎて白トビしてしまう部分をおさえて撮影することができます。



- <を押して、メニュー項目の [係] を 選び、目的の項目を選びます (□41)。
- ight
 angle 設定されると $[m{\mathbb{C}_i}]$ が表示されます。

項目	内容	設定できる ISO 感度 (Д 117)
10FF	_	
IAUTO	白トビがおさえられるよう自動補正します。	$[150]$ 、 $[150]$ \sim $[150]$
1200%	[WFF] のときに対して、約 2 倍の明るさまで 白トビがおさえられるよう自動補正します。	$[100]$, $[100]$ \sim $[100]$
1400 %	[MF] のときに対して、約4倍の明るさまで白トビがおさえられるよう自動補正します。	$[100]$, $[100]$ \sim $[100]$



● ISO 感度(◯ 117)を「設定できる ISO 感度」以外に設定しているときは、範囲内の ISO 感度に変わります。

静止画

■暗部補正

暗すぎて黒ツブレしてしまう部分がおさえられるよう自動補正して撮影することができます。



- <ご> を押して、メニュー項目の [♠] を選び、<DISP.> ボタンを押したあと、 項目の [¼M] を選びます(□41)。
- ▶ 設定されると [C_i] が表示されます。

✓ 色や連続撮影に関する機能を使う

静止画

動画

― 色あいを調整する(ホワイトバランス)

ホワイトバランス(WB)は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- <買>を押して、メニュー項目の [₩8] を選び、目的の項目を選びます (□41)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

AWB	オート	撮影シーンに応じて自動設定
*	太陽光	晴天の屋外
2	くもり	曇り空や日陰、薄暮
*	電球	電球、電球色タイプ(3波長型)の蛍光灯
7/1	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ (3 波長型) の蛍光 灯
** H	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3波長型)の蛍光灯
‡	ストロボ	ストロボ使用時
	マニュアル	マニュアルホワイトバランス(手動設定)(Д 123)

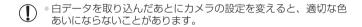
動画

■ マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適 した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



- 122の操作で[点] または[点] を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入る ようにして、<MENU>ボタンを押しま す。
- ▶白データが取り込まれて設定されると、 画面の色あいが変わります。



動画

ホワイトバランスを補正する

ホワイトバランスを補正することができます。この機能を使うと、市販の 色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ること ができます。



設定する

- 122 の操作で [AMB] を選びます。
- <DISP.> ボタンを押したあと、<▲><▼>< √>>< ∫>> を押して補正量を 調整します。
- 補正量を戻すときは、<MENU>ボタン を押します。
- <**DISP.**> ボタンを押すと設定されます。
- 補正量を設定したあとに、□ 122 でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されますが、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むと初期設定に戻ります。
- B はブルー、A はアンバー、M はマゼンタ、G はグリーンの意味です。
- ブルー/アンバー方向の1段は、色温度変換フィルターの約7ミレッドに相当します(ミレッド:色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位)。

動画

「画像の色調を変える(マイカラー)

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。



- <参を選び、目的の項目を選びます(□41)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

役所 マイカラー切	_
≜ γ くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の 色調になります。
₽ _N すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象 の色調になります。
♣e セピア	セピア調になります。
% w 白黒	白黒になります。
₽ ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
AL 色白肌	人の肌が色白になります。
₿D 褐色肌	人の肌が褐色になります。
∂ _B あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
Ag あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
∂ _R あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
₽c カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます(Д 126)。



• $[A_1]$ $[A_n]$ では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、 肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

静止面

動画

■ カスタムカラー

画像のコントラスト(明暗差)、シャープネス(先鋭度)、色の濃さ、赤、緑、 青、肌色を、それぞれ5段階から選んで設定できます。



1 設定画面を表示する

■ □ 125の操作で[Ac] を選び、 <DISP>ボタンを押します。

2 設定する

- <**4**> か <**▶**> を押すか <**○**> を回して 値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く/濃く/褐 色(肌色)になり、左に行くほど弱く/ 薄く/色白(肌色)になります。
- <DISP> ボタンを押すと設定されます。

連続して撮る

シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。 連続撮影の速度は「主な仕様」(□274)を参照してください。



設定する

- <(☆)> を押して、メニュー項目の[□] を選んだあと、目的の項目を選びます $(\Box 41)_{a}$
- ▶ 設定した項目が表示されます。

2 撮影する

▶ シャッターボタンを全押ししている間、 連続撮影されます。

モード	説明
□ 連続撮影	シャッターボタンを半押ししたときのピント位置と露出で連続 撮影されます。
∰ AF 連続撮影	連続撮影中もピント合わせが行われます。 [AF フレーム] は [中央] に固定されます。
╝ LV連続撮影*	連続撮影中は、マニュアルフォーカスで設定したピント位置に 固定されます。[纂] モードでは、1 枚目のピント位置で固定されます。

- *[\| | モード時(\(\Q\)90)、AFロック撮影時(\(\Q\)140)、マニュアルフォーカ ス撮影時(2130)は、「些」が「些」になります。
- * 各干一ドの連続撮影の速度については、「主な仕様」(C)274) を参照してください。
- セルフタイマー(□58)、[目つむり検出](□81)とは 一緒に使えません。
 - 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔 で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがありま す。
 - 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがありま す。
 - ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがある。 ります。

色や連続撮影に関する機能を使う



● [9] では、個人認証機能(〔163)を使って撮影すると、名前は1枚目に記録された位置に関立された。 に記録された位置に固定されます。被写体が動いても、2枚目以降も1枚 目と同じ位置に記録されます。

「撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う

静止画

▲ 近くの被写体を撮る(マクロ撮影)

【【★】に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「主な仕様」(○274)を参照してください。



- <<を押したあと、<かを選び、を選び、を押します。
- ▶ 設定されると 【♥】 が表示されます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。
- レンズを傷つけないように注意してください。
 - ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、「♥」が灰色表示になりピントが合いません。



● 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、[☆] で撮影することをおすすめします(□59)。

静止画動画

「マニュアルフォーカスで撮る

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「主な仕様」(〇274)を参照してください。





MFインジケーター

1 [M] を選ぶ

- <<を押したあと、<>を押すか>を回して [M] を選び、(需)>を押します。
- ▶ [MF] と MF インジケーターが表示されます。

2 ピントを合わせる

MFインジケーターの距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、<▲>か<▼>を押すか
 た回しておおよそのピントを合わせます。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっ ともピントが合う位置に微調整されます (セーフティ MF)。
- < > ボタンを押しても、ピントを微調整できます。

撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う



- マニュアルフォーカス中は、AF フレームモードや AF フレームの 大きさは変えられません (M 133)。AF フレームモードや AF フレームの大きさを変えるときは、一度マニュアルフォーカスを 解除してください。
 - ●デジタルズーム (□55)、デジタルテレコンバーター (□132) を使用しているとき、テレビに表示しているとき (□222) は拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。



- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすす めします。
- <MENU> ボタンを押して、「▲」タブの「MF 拡大表示」で「切」を選ぶと、 拡大表示されなくなります (□42)。
- <MENU> ボタンを押して、[▲] タブの [セーフティ MF] で [切] を選 ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります $(M42)_{a}$

静止画 動画

「デジタルテレコンバーターを使う

レンズの焦点距離を 1.5 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作(デジタルズーム含む) で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- **<MENU>** ボタンを押して、「▲」タブの [デジタルズーム] を選んだあと、目的の項目を選びます(□42)。
- ▶ 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。



●デジタルズーム (□55)、ピント位置の拡大表示 (□80) とは、一緒に使えません。



- 1.5 倍 / 2.0 倍時の焦点距離はそれぞれ36 1800 mm / 48 2400 mm です(35mmフィルム換算)。
- ズームレバーを<(動)>側に押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、□55の手順2の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

動画

『AF フレームモードを変える

撮影シーンにあわせて、AF(自動ピント合わせ)フレームモードを変えられます。



■ <MENU> ボタンを押して、
「■] タブの [AF フレーム] を選び、目的の項目を選びます(□42)。

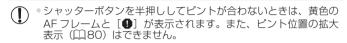
静止画動画

■顔優先

- 人の顔を検出して、ピント、露出(評価測光時のみ)、色あい([WB] 時のみ)を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大2つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム(最大9個)が表示されます。
- 1
- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、中央にフレームが表示されます。
- サーボ AF (□ 137) が [入] で顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
- 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AFフレームは表示されません。

■アクティブ/中央

AF フレームが 1 点になります。確実なピント合わせに有効です。 また、[アクティブ] では、AF フレームの位置や大きさを変えることができます(①135)。

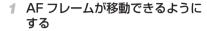




被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームを 合わせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッター ボタンを全押しして撮影します(フォーカスロック撮影)。

AF フレームの位置や大きさを変える(アクティブ)

AF フレームモードが $[\mathcal{P}$ クティブ] (\bigcap 134) のときは、AF フレームの位置や大きさを変えることができます。



< : > ボタンを押すと、AF フレームが オレンジ色になります。

2 AF フレームを移動させたり、大きさを変える

- <○> を回し、微調整するには、<▲><▼><√>><∫> を押します。
- <DISP.> ボタンを押すと、AF フレーム が小さくなり、もう一度押すと元の大き さに戻ります。

3 設定を終える

● < | > ボタンを押します。

デジタルズーム(□55) やデジタルテレコンバーター (□132) 使用時、マニュアルフォーカス(□130) 時は、AF フレームの大きさは標準の大きさになります。



AFフレームを移動できます

スポット測光枠の位置を AF フレームに連動させることができます (□116)。

■ ピントを合わせたい被写体を選んで撮る(キャッチ AF)

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。

1 「キャッチ AFI を選ぶ

- 133の操作で [キャッチ AF] を選びます。
- ▶ 画面中央に [中] が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

被写体に〔□〕が重なるようにカメラを 動かして < □> ボタンを押します。



VI / L 1915 100 25'58

- ▶ 被写体が検出されると電子音が鳴り、「゜」 が表示されます(動いていても一定の範囲 で追い続けます)。
- ▶ 被写体が検出できなくなったときは、[---] が表示されます。
- 解除するときは、もう一度 < --- > ボタンを押します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、〔、〕 が青色の〔□〕に変わり、被写体を追い 続けながら、ピントと露出を合わせ続け ます(サーボ AF)(□137)。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- ▶撮影後も [] が表示され、被写体を追い続けます。

- **(!**)
- 「サーボ AF」(下記)は「入」に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
 - メニューの「面」タブの「ピント位置拡大」は設定できません。
 - [い] は設定できません。



< → > ボタンを押さずにシャッターボタンを半押ししても被写体を検出できます。撮影後は、画面中央に「□」が表示されます。

静止面

■ サーボ AF で撮る

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。



1 設定する

MENU> ボタンを押して、「▲」タブの [サーボ AF] を選び、[入] を選びます(△42)。

2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、 青色で AF フレームが表示され、ピント と露出を合わせ続けます。
- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが
 - 間い場所では、ジャッターボタンを手押ししても AF フレームか 青色にならないときがあります。そのときは、設定している AF フレームモードでピントと露出を合わせます。
 - 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値が オレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を 離して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
 - AF ロック撮影はできません。
 - メニューの [๗] タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
 - セルフタイマー(□58)使用時は設定できません。

フォーカス設定を切り換える

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



<MENU> ボタンを押して、[▲] タブの [コンティニュアス AF] を選び、[切] を選びます(□42)。

静止画

- シャッターボタンを半押しするまで常に ピントを合わせ続けるので、とっさの シャッターチャンスを逃さずに撮影でき ます。
- 切 通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。

゙゚゚゚ピントを合わせたい人を選んで撮る(顔セレクト)

特定の人の顔を選んでピントを合わせ、撮影できます。



AF フレームを [顔優先] にする (□ 133)

2 顔セレクトモードにする

- カメラを人に向け、< < > ボタンを押します。
- ▶ [顔セレクト:入] が表示されたあと、主 被写体として検出された顔に [か] が表 示されます。
- [1] は、人が動いても一定の範囲で追 尾します。
- 顔が検出されないと 〔 〕 は表示されません。



3 ピントを合わせたい顔を選ぶ

- < > ボタンを押すと、検出された別の顔に [*] が移動します。
- 検出された顔を一巡すると [顔セレクト:切] が表示され、設定している AF フレー ハモードの画面に戻ります。



4 撮影する

- シャッターボタンを半押ししてピントが 合うと、「^{*} [↑] が「一」に変わります。
- 合うと、「宀」が「□」に変わります。 シャッターボタンを全押しして撮影します。

動画

AF ロックで撮る

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を離しても、ピント位置は固定されたままになります。





1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、<∮>を押します。
- ▶ピントが固定され、[MF] と MF インジ ケーターが表示されます。
- もう一度、シャッターボタンを半押ししたまま、<◀>を押すと解除されます。
- 2 構図を決めて撮影する

´ピント位置を自動的に変えて撮る (フォーカスブラケット撮影)

マニュアルフォーカスで設定したピント位置、後ろ寄りのピント位置、前寄りのピント位置の順に、3枚連続で撮影されます。また、ピント位置は3段階で設定できます。



1 [智] を選ぶ

<を押して、メニュー項目の [選び、項目の [を選びます (□ 41)。



2 設定する

<DISP.> ボタンを押したあと、<◀>か< を押すか<(○)>を回して設定します。



- [③](□47)以外では、フォーカスブラケット撮影はできません。
- 連続撮影(□127) はできません。



- □ 130 の手順 1 の画面で [W] を選んで < DISP.> ボタンを押すと、手順 2 の設定画面を表示できます。
 - [℃](□59)で撮影枚数を設定しても、撮影される枚数は3枚です。
 - [目つむり検出](□81)は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

✓ ストロボに関する機能を使う

静止画

ストロボを発光させる

ストロボを常に発光させて撮影できます。ストロボ撮影できる範囲については、「主な仕様」(◯ 274)を参照してください。



- 1 ストロボを持ち上げる(□47)
- 2 設定する
 - <4> ボタンを押したあと、<4> か<> を押すか<を回して [4] を 選び、<を押します。
 - ▶ 設定されると [4] が表示されます。
- ストロボがカメラに収納されていると、<**\$**> ボタンを押しても 設定画面は表示されません。ストロボを指で持ち上げてから操作 してください。
 - ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

、スローシンクロで撮る

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。

なお、ストロボ撮影できる範囲は「主な仕様」(□274)を参照してください。



1 ストロボを持ち上げる(□47)

2 設定する

- <4>ボタンを押したあと、<4>かを押すか<(○)>を回して [タセ] を 選び、<(◎)>を押します。
- ▶ 設定されると [☆] が表示されます。

3 撮影する

- ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。
- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正]を「切]にして撮影することをおすすめします(□147)。
 - ストロボがカメラに収納されていると、<ケンボタンを押しても 設定画面は表示されません。ストロボを指で持ち上げてから操作 してください。

メストロボの調光量を補正する

ストロボ撮影時の露出を露出補正(Д 115)と同様に、1/3段ずつ、±2段の範囲で補正できます。



- <響>を押して、メニュー項目の [図] を選んだあと、<◆> か <▶> を押すか <⑥> を回して設定します(□41)。
- ▶ 設定されると [W] が表示されます。



- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、〈MENU〉(□42)の[面]タブの[ストロボ制御]で[セーフティFE]を[切]に設定すると、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、<MENU> (□42) の [□] タブの [ストロボ制御] にある [調光補正] でも設定することができます。
- ◆ <MENU>の [内蔵ストロボ設定] 画面は、次の方法でも表示できます(外付けストロボ(別売)を取り付けているときを除く)。
 - <\$> ボタンを 1 秒以上押す。
 - ストロボを上げているときに <\$> ボタンを押してからすぐに <**MENU**> ボタンを押す。

静止画

『FE ロックで撮る

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影(Д 115)と同様に固定できます。

1 ストロボを持ち上げ、[4] にする (□ 142)





2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、<▲>を押します。
- ▶ストロボが発光し、[★] が表示され、 ストロボ発光量が記憶されます。
- シャッターボタンから指を離してもうー度 <▲> を押すと、[★] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

□ 1 枚撮影すると、[★] が消え解除されます。



● FE は、Flash Exposure(フラッシュエクスポージャー)の略でストロボ 露出のことです。

静止画

「ストロボ発光のタイミングを変える

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。



1 設定画面を表示する

■ <MENU> ボタンを押して、「■] タブの [ストロボ制御] を選び、<</p>
一) を押します(□42)。

2 設定する

[シンクロ設定]を選んでから、目的の項目を選びます(□42)。

先幕 撮影開始直後にストロボが発光します。後幕 撮影終了直前にストロボが発光します。

RAW(ロウ)画像を撮る

ソコンで見たり印刷することができます。

RAW 画像はカメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」 です。「Digital Photo Professional」(M28) で劣化を最小限におさ えて思いどおりの画像調整を行うことができます。



<(\(\mathbb{M}\))> を押して、メニュー項目の [\(\mathbb{PEG}\)] を 選び、目的の項目を選びます (□41)。

JPEG

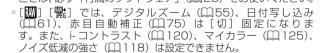
JPFG 画像が記録されます。 JPFG 画像は、最適な画質になるようカメラ内で 画像処理を行い、ファイルサイズを圧縮して記録されています。非可逆圧縮方 式のため、「生データ」の状態には戻せません。また、画像処理を行うと画質が 劣化することがあります。

RAW 画像が記録されます。RAW 画像は、カメラ内での画像処理による劣化が ほとんどない「生データ」です。そのままの状態ではパソコンで見たり印刷し たりできないため、付属のソフトウェア「Digital Photo Professional」を使っ ▼ T一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換(現像)する必要があります。また、 現像時に画質劣化を最小限におさえた画像調整を行うことができます。 記録画素数や撮影できる枚数については、「主な仕様 | (□274) を参照してく

ださい。 1回の撮影で、RAW画像とJPFG画像の2つの画像が記録されます。 ₩ JPEG 画像も同時に記録されるため、付属のソフトウェアを使わなくても、パ



● RAW 画像や同時に記録された JPEG 画像をパソコンに取り込む ときは、必ず「付属のソフトウェア」(□28) をお使いください。





● JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR2」です。

🦯 撮影スタイルにあわせて機能を変える

静止画

動画

圧縮率(画質)を変える

圧縮率を2種類から選べます。高画質から順に [▲](スーパーファイン)、 [▲](ファイン)となります。それぞれの圧縮率で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「主な仕様」(△)274)を参照してください。



設定する

<響> を押して、メニュー項目の [▲] を選び <DISP.> ボタンを押したあと、 目的の項目を選びます (〔41〕。

事止画 手ブレ補正の設定を変える



設定画面を表示する

<MENU> ボタンを押して、[▲] タブの [手ブレ補正設定] を選び、<(※)>を押します(↓42)。

2 設定する

[手ブレ補正] を選んでから、目的の項目 を選びます(□ 42)。

	入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定(マルチシーン IS)されます(口53)。
	撮影時*	撮影される瞬間のみ手ブレを補正し ます。
	切	手ブレ補正を切ります。

- *動画を撮影するときは、[入]の設定に変わります。
- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切] にすることをおすすめします。

動画

■ 撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影する

動画撮影では回転方向の手ブレも補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲(画角)が変わり被写体が大きくなります。回転方向の手ブレ補正を行わないことで、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。



- □ 147 の操作で [手ブレ補正設定] 画面を表示します。
- [ダイナミック IS] を選んでから、[2] を選びます(□42)。



• [手ブレ補正] が [切] のときも、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。

5

Tv、Av、M、C1、C2 モード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮ったり、撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



• それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る(<Tv> モー

シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッ タースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。 設定できるシャッタースピードは「主な仕様」(△274)を参照してくだ さい。



1 **<Tv>** モードにする

- 干ードダイヤルを <**Tv**> にします。
- 2 シャッタースピードを設定する
 - <の>を回してシャッタースピードを設 定します。



- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、撮影後に、ノスプはきぬいできた。 にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がか かります。
 - シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定す るときは、「手ブレ補正」を「切」にして撮影することをおすすめ します (皿 147)。
 - ストロボ発光時のシャッタースピードは、設定した値より遅い速 度に自動設定されて撮影されることがあります。
 - シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感 度が「い」に固定されます。
 - シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表 示されるときは、適正露出から外れています。絞り数値が白字で 表示されるまで、シャッタースピードを変えます(ヤーフティシ フトも使えます(□151))。



<**Tv**> は、Time value (タイムバリュー) の略で時間量のことです。

ቯ 絞り数値を決めて撮る(<Av> モード)

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。 設定できる絞り数値は「主な仕様」(□274)を参照してください。

@ 1∟ 1915 ₪ 25'56' Av ô 😮

- 1 <Av>モードにする
 - モードダイヤルを <Av> にします。
- 2 絞り数値を設定する
 - <○> を回して絞り数値を設定します。
- ・シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードがオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます(セーフティシフトも使えます(下記))。
- 〈Av〉は、Aperture value (アパーチャーバリュー) の略でレンズの中に 入っている「絞り」の開口量のことです。
- <Tv>、<Av>モードのとき、<MENU>ボタンを押して、[▲]タブの[セーフティシフト]を[入]にする(△42)と、適正露出が得られないときでも、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されて、適正露出で撮影できます。

ただし、ストロボ発光時は機能しません。

⁽シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る (<M> モード)

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

設定できるシャッタースピードや絞り数値は「主な仕様」(🖺 274)を参照してください。

1 <**M**> モードにする

モードダイヤルを <**M**> にします。

- <▲> を押して、シャッタースピードまたは絞り数値を選び、<⑥> を回して設定します。
- ▶設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、適正露出からの差が確認できます。
- ▶適正露出から±2段を越えると、露出 レベルマークはオレンジ色で表示され、 シャッターボタンを半押しすると右下に [+2] または、[-2] とオレンジ色で表 示されます。





- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [4] にすると画面の明るさは変わりません。
- ●シャッターボタンを半押ししながら <▲> を押すと、シャッタースピードまたは絞り数値のうち手順2で選んでいない方が自動設定されて適正露出になります(設定によっては適正露出にならないことがあります)。
- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が [駅] に固定されます。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る(<M>モード)



- <**M**>は、Manual (マニュアル) の略です。
- 適正露出は設定している測光方式(□116)で算出されます。

静止画

ストロボ発光量を設定する

<M>モードでは、ストロボの発光量を3段階から選べます。

1 <**M**> モードにする

■ モードダイヤルを <M> にします。



- <参>を押して、メニュー項目の [M]を選んだあと、<<<(□41)。
- ▶ 設定されると、[M2] が表示されます。



- ストロボ発光量は、<MENU> (□42) の [▲] タブの [ストロボ制御] にある [発光量] でも設定することができます。
- <Tv>モードや <Av>モードでは、<MENU>(□42)の [面] タ ブの [ストロボ制御] で [発光モード] を [マニュアル] に設定するとストロボ発光量が設定できます。
- ◆ <MENU>の [内蔵ストロボ設定] 画面は、次の方法でも表示できます(外付けストロボ(別売)を取り付けているときを除く)。
 - <\$> ボタンを 1 秒以上押す。
 - ストロボを上げているときに **<\$**> ボタンを押してからすぐに **<MENU**> ボタンを押す。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズ する

静止画 動画

情報の表示内容を設定する

<**DISP.**> ボタンを押したときに画面に表示される情報や、切り換わる [表示先] を設定できます。



1 設定画面を表示する

■ <MENU> ボタンを押して、[●] タブの[情報表示設定] を選び、<|・|> を押します(□42)。

- <▲><▼><∮><∮>> を押すか<(◎)>を回して項目を選び、<(靈)>を押して、表示したい項目に[✔]をつけます。
- <▲><▼><↓><↓>> を押すか <(○)>
 を回して表示先([๗] [๗] [๗] [๗] [๗]
 を選び、<(雷)> を押すと、<DISP.> ボタンを押して切り換える [表示先] を設定できます。
 - [○] をつけた [表示先] は、<DISP.> ボタンを押したときに表示されません。 また、設定中に表示している [表示先] には [○] をつけられません。
- ▶ [✔] のある項目が表示されるようになります。

撮影情報	撮影情報 (瓜255) が表示されます。
グリッドライン	格子線が画面に表示されます。
水準器	水準器(Д 79)が表示されます。
ヒストグラム	< P >、< Tv >、< Av >、< M >で、ヒストグラム(□162)が 表示されます。

- シャッターボタンを半押しして情報表示設定画面から撮影画面に 戻ると、設定内容は保存されません。
- 項目が灰色になっていても設定できますが、撮影モードによっては表示されないことがあります。



•「グリッドライン」は画像に記録されません。

静止面

動画

┗ < ဩ > ボタンによく使う機能を登録する



- 1 設定画面を表示する
- <MENU>ボタンを押して、[▲] タ ブの [ショートカット登録] を選び、 〈鬱〉を押します(△42)。

- <▲><▼><√>><∫>> を押すかを回して、登録する項目を選び、を押します。
- 3 登録した機能を使う
 - < 反 > ボタンを押すと、登録した機能が呼び出されます。



- 初期状態に戻すときは、[月] を選びます。
- アイコン右下の [◆○] は、設定している撮影モードや設定している機能の 状態では使えないことを示しています。
- [よ] では、< 気 > ボタンを押すたびに白データの取り込みが行われ(□123)、ホワイトバランスも[よ] ように設定されます。
- [AFL] では、< 🔼 > ボタンを押すたびにピント位置が調整されたあと固定され、画面に [AFL] が表示されます。
- [音] では、< 気>ボタンを押すと画面とビューファインダーの表示が消えます。次のいずれかの操作で復帰します。
 - 電源ボタン以外のボタンを押す
 - カメラの縦・横の向きを変える
 - 液晶干二ターを開閉する
 - ストロボを開閉する

撮影の設定を登録する

よく使う撮影モードと、自分好みに設定した各機能の設定を登録することができます。登録された設定へは、モードダイヤルを < C1 >、 < C2 > にあわせるだけで、切り換えることができます。また、撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると解除されてしまう設定(セルフタイマーなど)も記憶します。

■登録できる設定

- 撮影モード(<P>、<Tv>、<Av>、<M>)
- ⟨P>、⟨Tv>、⟨Av>、⟨M>で設定できる項目(□115~152)
- 撮影メニューの設定内容
- ズーム位置
- マニュアルフォーカス位置(Q130)
- マイメニューの設定内容(□ 157)



カスタム登録 現在の設定を登録しますか? 登録先 C1 C2 ISBN OK MINIO キャンセル

1 登録したい撮影モードにして、各 種機能を設定する

静止画

2 設定する

3 登録する

<かを押すかを回して登録先を選び、を押します。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする

● 一度登録した、設定の一部(撮影モード以外)を変えるときは、 < C1>、< C2 > を選んで設定を変え、もう一度手順2~3を 行います。この設定内容は、他の撮影モードには反映されません。



● < C1 > 、 < C2 > に登録した設定を初期状態に戻すときは、モードダイヤ ルを<**C1**>. <**C2**>にして「カメラ設定初期化](\bigcirc 211)を行います。

静止画 よく使う撮影メニューを登録する(マイメニュー)

よく使う撮影メニューを、[★] タブのメニューとして5項目まで登録で きます。「★] タブのメニューに登録すると、メニューを] つの画面で表 示できるため、素早く設定を変えられます。





設定画面を表示する

■ <MENU> ボタンを押して、「★] タブ の「マイメニューの設定」を選んだあと、 <∰>を押します(□42)。

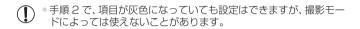
- <a> <<>> か <▼> を押すか <(○)> を回し て [表示設定] を選び、<(歌)> を押します。
- <▲> か <▼> を押すか <⑥>> を回し て登録したいメニュー(5つまで)を選び、 <(!!!)> を押します。
- ▶ 「✓ 〕が表示されます。
- 登録を解除するときは、<(∰)> を押して 「】を消します。
- **MENU**> ボタンを押します。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



3 メニューの表示順を変える

- <▲> か <▼> を 押 す か <⑥> を 回 して表示順を変えたいメニューを選び、 〈嚼〉> を押します。
- <▲> か <▼> を押すか <○> を回して表示順を変え、<で表示順を変え、
- <MENU> ボタンを押します。





[優先表示] を選び、<◀>か<▶>を押して[する]を選ぶと、撮影モードで<MENU>ボタンを押したときに、すぐにマイメニューを表示することができます。

再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って 画像の検索や編集をする

- < >> ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。
- ・パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ 以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

┛見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。
- ▶最後に撮影した画像が表示されます。

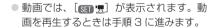


2 画像を選ぶ

- <</p>
 ◆> を押すか
 ◇> を反時計方向に回すと前の画像が表示され、<</p>
 か
 ◇> を時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- <<かを押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- <ご>を速く回すと左の画面が表示されます(スクロール再生)。この状態でを回して画像を選びます。
- <(∰)> を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に <▲> か <▼> を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。









音品

3 動画を再生する

<響>を押して動画操作パネルを表示し、<<>> か <▶> を押すか <◎> を回して[▶] を選び、もう一度 <◎> を押すと再生がはじまります。

4 音量を調整する

5 一時停止する

- <響>を押すたびに、一時停止/再開できます。
- ▶ 再生が終わると [511 🖫] が表示されます。



- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、〈MENU〉 ボタンを押して [▶] タブの「スクロール再生」を選び、「切」を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、〈MENU〉ボタンを押して [▶] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、<MENU>ボタンを押して [▶] タブの「再生効果」を選び、<◆>か<▶>を押して効果を選びます。

静止画

動画

表示を切り換える

画面表示は、<**DISP.**> ボタンを押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、№ 255 を参照してください。

電源が入っている状態で液晶モニターを開くと、画面が表示されて、ビューファインダーの表示は消えます。また、画面を内側に向けて閉じると画面の表示が消えて、ビューファインダーが表示されます(118)。









情報表示なし

簡易情報表示

詳細情報表示

ピント位置確認 表示 (瓜165)※

※ 動画では表示されません。



 撮影直後の画面表示も、<DISP.> ボタンを押して切り換えられます。ただし、 簡易情報表示にはなりません。最初に表示される画面は、<MENU> ボタン を押して [๗] タブの [レビュー情報] で変えられます (瓜84)。

静止画

動画

■高輝度(ハイライト)警告

「詳細情報表示」(上記) にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

■ヒストグラム



暗い ◆── 明るい

静止画

動画

- ●「詳細情報表示」(上記)のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。
- ヒストグラムは撮影時に表示することもできます(◯ 154、255)。

動画

RGB ヒストグラム



RGB ヒストグラム

- 「詳細情報表示」の状態で<▲>を押すと、 画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各 色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量 を示していて、色の傾向を確認できます。
- もう一度 <▲> を押すと「詳細情報表示」 に戻ります。

静止画

個人認証機能で検出された人を確認する

簡易情報表示(□162)にすると、個人認証機能(□63)に登録している人として検出された最大5人までの名前が表示されます。



簡易情報表示にして確認する

- <DISP.> ボタンを何回か押して簡易情報表示にしたあと、<◀> か <▶> を押して画像を選びます。
- 検出された人に名前が表示されます。



● 個人認証機能で撮影した画像に名前を表示させたくないときは、<**MENU**> ボタンを押して [**▶**] タブの [認証情報] から [名前表示] を選び、[切] を選びます。

動画

₹ 静止画を撮影したときに作成された短編動画を見る

[♣] モード(□86) で静止画を撮影した日に作成された短編動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- [♣] モードで撮影した静止画には [♣] が表示されます。
- [★] が表示された静止画を選び 〈∰〉を押します。

2 短編動画を再生する

- 【酬動画を再生しますか?】が表示されたら、<√>か<▶>を押すか<⑥>を 回して [OK] を選び、<⑥>を押します。
- ▶ 静止画を撮影した日に作成された短編動 画が先頭から再生されます。



- [4] モードで作成された動画を、日付ごとに選んで見ることもできます (△169)。
- 情報表示なし (□ 162) にしているときは、一定時間で [51] 🚮 が消えます。

静止画

『ピント位置を確認する(フォーカスチェッカー)

撮影時にピント合わせをした AF フレームの位置を、拡大表示することができます。



1 ピント位置確認表示にする

- <DISP.> ボタンを押します(□ 162)。
- ▶ ピント合わせを行った AF フレームの位置に、白の枠が表示されます。
- ▶ 再生時に検出された顔の位置には、灰色の枠が表示されます。
- ▶ オレンジ色の枠の箇所が拡大表示されます。



2 拡大表示する箇所を変える

- ▼スートレバーを <Q>側に一度押します。
- ▶ 左の画面が表示されます。
- 複数の枠が表示されているときは、 〈∰〉を押すと別の枠に移動します。

3 拡大率や表示位置を変える

- ズームレバーを操作して表示倍率を変えたり、<▲><▼><∮>を押して表示位置を変えながら確認します。
- <MENU> ボタンを押すと手順 1 に戻ります。

┘ 画像を探したり、特定の画像だけを見る

静止画

動画

一覧表示(インデックス表示)で画像を探す

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。





1 一覧表示にする

- ズームレバーを <Q> 側に押すごとに、 表示される画像の数が減ります。

2 画像を選ぶ

- <○> を回して表示画像を切り換えます。
- <▲><▼><√>>>>> を押して画像を選びます。
- ▶選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- <∰> を押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。

静止画

動画

指定した条件で画像を探す

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索したり画像をとばして、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり(瓜175)、消したり(瓜179)することもできます。

★ お気に入り	お気に入り設定した画像(Д 184)を表示
❷ 日付	指定した撮影日の画像を表示
🛍 マイカテゴリー	指定したカテゴリー(🎑 185)の画像を表示
♣ 静止画/動画	静止画、動画、[44] モード(〇86)で作成された動画のいずれかを表示
∵ 名前	登録した人の画像(二63)を表示

静止画

動画

■[★][⊙][鰤][鴇]で探す



1 つ目の条件を選ぶ

- 1 枚表示の状態(詳細情報表示を除く)で<でを押したあと、を押して条件を選びます。
- [★] を選んだときは < √> か < ▶> を押して検索された画像だけを見ることができます。検索した画像だけをまとめて操作したいときは、<(靈)> を押して、手順3に進みます。

2 2 つ目の条件を選んで、検索した 画像を見る

- <√> か <√>> を押 し て 条 件 を 選 び、を回すと検索された画像だけを見ることができます。
- 解除するときは <MENU> を押します。
- 検索された画像だけの表示に切り替える ときは、<を押して手順3に進みます。



3 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠付きで表示され、く◆> か <♪> を押すか <⑥> を回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。

Joshua

Katie



- 手順 2 で <**DISP**> ボタンを押すと、情報の非表示/表示を切り換えられま d.
- 検索した画像を表示しているとき(手順3)は、「一覧表示(インデックス表示) で画像を探す | (2166)、「スライドショーで見る | (2173)、「拡大 して見る | (□ 172) などの操作で画像を見ることもできます。また、「保 護する | (□175)、「まとめて消す | (□179)、「印刷指定 (DPOF) | (□238)、「フォトブック指定」(□243)で「検索したすべての画像 を指定]を指定すると、検索した画像だけをまとめて操作することができま す。
- カテゴリーを変えたり(□185)、画像を編集して新規保存(□188 ~ 193) などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解 除されます。

静止画

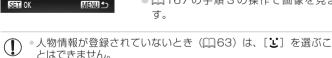
■[℃] で探す

[上] を選ぶ

● □ 167 の手順 1 ~ 2 の操作で「ご] を選び、<(雪)>を押します。

2 人物を選ぶ

- <▲><▼><◀><♪> を押すか<(○)> を回して人物を選び、<(歌)>を押します。
- 3 検索した画像を見る
 - □ 167の手順3の操作で画像を見ま



動画

〜ムービーダイジェストモードで作成された動画を見る

[**№**] モード(□ 86)で作成された動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

<MENU> ボタンを押して、[**ト**] タブ の [ムービーダイジェスト再生] を選び、 目的の日付を選びます。

2 再生する

● <∰> を押すと、動画が再生されます。

静止画

『グループ化された画像を 1 枚ずつ見る

[🔍] [앀] モード (🔲 87、106) で撮影された画像はグループ化されて表示されますが、グループ内の画像を 1 枚ずつ見ることもできます。



1 グループ化された画像を選ぶ

<<か> を回して [61] 回] が表示された画像を選び、を押します。



2 グループ内の画像を 1 枚ずつ見る

- <√> か <▶> を押すか <○> を回すと グループ内の画像のみが表示されます。



- グルーブ再生の状態(手順2)で「一覧表示(インデックス表示)で画像を探す」 (□166) ことや、「拡大して見る」(□172) ことができます。また、「保護する」(□175)、「まとめて消す」(□179)、「印刷指定 (DPOF)」(□238)、「フォトブック指定」(□243)で「グループ内の全画像」を指定すると、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。
- グループ化を解除して、一枚ずつの画像として表示したいときは、 **MENU>** ボタンを押して [**D**] タブの [グループ表示] を選び、[切] を 選びます (□ 42)。ただし、グループ化された画像を 1 枚ずつ見てい るときは、グループ化を解除できません。

🍶 個人認証情報を編集する

再生時に画面に表示された名前が誤っているときは、正しい名前に入れ換 えたり、消したりすることもできます。

ただし、検出されず名前が表示されなかった人や名前を消した人に、あとから名前を付けることはできません。

■名前を入れ換える







1 設定画面を表示する

- <MENU>ボタンを押して、[▶] タブの [認証情報] を選びます(□ 42)。
- <▲>か<▼>を押すか<()>を回して[認証情報の編集]を選び、<()を押します。

2 画像を選ぶ

- □ 160 の操作で画像を選び、< > を押します。
- 選択された顔にオレンジ色の枠が表示されるので、複数の名前が表示されているときは、<◀>か <▶>を押すか <○>を回して入れ換えたい顔を選び、<(m)>を押します。

3 編集内容を選ぶ

<▲><▼><√>></>>を押すかを回して [入れ換え] を選び、<(**)>を押します。

4 入れ換える人の名前を選ぶ

■69の手順2の操作で入れ換える 人の名前を選びます。

■ 名前を消す

- 上記の手順3で表示された画面で[消去]を選び、〈蜀〉を押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、<<√>か>を押すか○>を回して[OK] を選び、(例)>を押します。

∫ いろいろな方法で画像を見る

静止画

拡大して見る





表示位置の目安

1 拡大する

- ズームレバーを <Q> 側に押すと拡大 表示になり、押したままにすると最大約 10 倍まで拡大できます。
- ズームレバーを < 側に押すと縮小表示になり、押したままにすると 1 枚表示に戻ります。
- 2 表示位置を移動したり、画像を切り換える
 - <▲><▼><√>>< >>> を押すと、表示位 置が移動します。
 - <ご>を回すと拡大したまま画像を切り 換えられます。



• 拡大表示のときに <MENU> ボタンを押すと、1 枚表示に戻すことができます。

静止画 動画

スライドショーで見る

カードに記録されている画像を自動的に再生します。





1 設定画面を表示する

● <MENU>ボタンを押して、[▶] タ ブの [スライドショー] を選びます (♠42)。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます(142)。
- 3 自動再生をはじめる

 - ▶ [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
 - <MENU> ボタンを押すと終わります。



●スライドショー中に節電機能(◯◯38)は働きません。



- 再生中に <(い)> を押すと一時停止/再開ができます。
 - 再生中に < (>) か < (>) > を押すか < (○) > を回すと画像を切り換えられ、< (<) か < (>) > を押したままにすると早送りできます。
 - [効果] で [バブル] を選んだときは、[再生間隔] は変えられません。
 - 1 枚表示の状態で、<(鬱)> を押したまま、すぐに < 反) > ボタンを押して スライドショーを開始することもできます。

静止画

がいろいろな画像を表示する(連想再生)

表示している画像をもとに、4つの画像をカメラが選んで表示します。その中から1つ選ぶとさらに4つの画像が表示されるので、思いがけない順番の再生が楽しめます。いろいろなシーンの画像をたくさん撮ったあとなどにおすすめです。





1 連想再生にする

- **<MENU>** ボタンを押して、**[▶**] タブの [連想再生] を選び、**<・・** を押します(□42)。
- ▶4枚の画像が候補として表示されます。

2 画像を選ぶ

- ▶選んだ画像が画面中央に表示され、次の 4枚の候補が表示されます。
- <∰> を押すと画面中央の画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度 <∰> を押すともとの表示に戻ります。
- ◆ **MENU**> ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。

- このカメラで撮影した静止画だけが連想再生の対象になります。
- 次のときは連想再生を使えません。
 - このカメラで撮影した静止画が50枚に満たないとき
 - 対象の画像以外を表示しているとき
 - -検索した画像を表示しているとき (□ 166)
 - グループ再生しているとき (□170)

√ 保護する

大切な画像をカメラの消去機能(🖺 179)で誤って消さないよう、保護することができます。

指定方法を選ぶ





1 設定画面を表示する

<MENU>ボタンを押して、[▶] タブの [保護] を選びます (□42)。

2 指定方法を選ぶ

- ■目的のメニュー項目を選び、目的の項目 を選びます(□ 42)。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面 に戻ります。
- カードを初期化(□203、204) すると、保護された画像も消えます。

保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、 保護を解除してください。

1 枚ずつ指定する

1 [画像指定] を選ぶ

● 上記の手順2の操作で[画像指定]を選び、<び、参>を押します。

保護する





2 画像を選び指定する

- <◇ か◇ を押すか◇ を回して 画像を選び、◇ を押すと [••] が表示されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 保護する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <<かを回して[OK] を選び、<を押します。
- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

■ 175 の手順2の操作で[範囲で指定]を選び、<(愛)>を押します。

2 始点の画像を指定する

<(い)> を押します。





<<か> を押すか○を回して画像を選び、○> を押します。



3 終点の画像を指定する

●
◇ を押して [終点選択] にし、

を押します。



- <<か>を押すか○を回して画像を選び、(愛)>を押します。
- 始点より前の画像は選べません。



4 保護する

<▼>を押して[保護]を選び、<を押します。



● 手順2、3の上側の画面では、<◎>を回して、始点、終点の画像を選ぶ こともできます。

すべての画像を指定する

1 [すべての画像を指定] を選ぶ



2 保護する

<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して [保護] を選び、<◎> を押します。



「範囲で指定する」の手順4、「すべての画像を指定する」の手順2で「解除」 を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

△ 消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像は元に戻せないので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(△ 175)は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

<√> か <√> を押すか <○> を回して 画像を選びます。

静止画

2 消す

- <´´n> ボタンを押します。
- [消去?] が表示されたら、<✓>> を押すか◇> を回して [消去] を選び、※> を押します。
- ▶表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、<◆> か>を回して [キャンセル] を選び、を押します。





「<mark>慄</mark>。」の画像を表示して <´m> を押すと、[<mark>||||</mark>のみ消去] [JPEG のみ消去] ||||||||||+ JPEG 消去] が表示されるので、項目を選んで消すことができます。

まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(Д 175)は消えません。

■指定方法を選ぶ





■ 1 枚ずつ指定する





1 設定画面を表示する

◆ **MENU**> ボタンを押して、[▶] タブの [消去] を選びます (△42)。

2 指定方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して指定方法を選び、<∰> を押します。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面 に戻ります。

1 [画像指定] を選ぶ

● 上記の手順2の操作で[画像指定]を選び、<で、を押します。

2 画像を選ぶ

- 176 の手順2の操作で画像を選ぶと、「✓」が表示されます。
- もう一度 <(場) を押すと (✔) が消え、 解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作 を繰り返します。

3 消す

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <<かを回して[OK] を選び、を押します。

■範囲で指定する

1 「節囲で指定」を選ぶ

■ 185 の手順2の操作で[範囲で指定]を選び、<(雪)>を押します。

2 画像を指定する

■ 176 の手順2~3の操作で指定します。



<▼>を押して[消去]を選び、<を押します。



■ すべての画像を指定する

1 [すべての画像を指定] を選ぶ

□ 185 手順2の操作で [すべての画像を指定] を選び、<(歐)> を押します。

2 消す

<か> を押すか○を囲して(回)(回)(回)を押します。



🗕 回転する

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [回転] を選ぶ

■ <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの [回転] を選びます (□42)。



2 回転する

- <か> を回して画像を選びます。
- <を押すたびに90度単位で回転します。
- <**MENU**> ボタンを押すとメニュー画面 に戻ります。



- ●画質が [MM] [MM] の動画は回転できません。
- [縦横自動回転]が[切]のときは回転できません(□ 183)。

自動回転機能を切る

縦位置で撮影した画像をカメラで見るときは、自動回転して縦位置で表示されます。この機能を使わないようにできます。



■ <MENU> ボタンを押して、**[▶]** タブの [縦横自動回転] を選び、項目の [切] を選びます (♠42)。



- [切] にすると、画像の回転(□182)はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。
- 連想再生(□174)では、[切]に設定しても、縦位置で撮影された画像は縦位置で、撮影後に回転させた画像は回転した状態で表示されます。

/ 分類する

お気に入りやマイカテゴリー (□ 185) を設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

見る(血160)、スライドショーで見る(血173)、保護する(血175)、消す(血179)、印刷指定(DPOF)(血238)、フォトブック指定(血243)

静止画 動画 お気に入り設定をする



1 [お気に入り] を選ぶ

<MENU>ボタンを押して、[▶] タブの [お気に入り] を選びます (△42)。



2 画像を選ぶ

- <√> か <√> を押すか <◎> を回して 画像を選び、<圖> を押すと [★] が表示されます。
- もう一度 <を押すと [★] が消え、 解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。



3 設定する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <<か<を回して[OK] を選び、<を押します。
- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。



Windows 7 または Windows Vista をお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が3(★★★☆☆)に設定されます(RAW 画像と動画を除く)。

静止画動画

『画像を分類する(マイカテゴリー)

画像を種類別に分類できます。なお、撮影時には、シーンに応じて自動で分類されます。

🖚:顔が検出された画像、または 📢] 🎑 モードで撮影した画像

 $\underline{\kappa}$:<AUTO>モード時に[igsim][igsim][igsim]]と判別された画像、または

[27] モードで撮影した画像

♥: [﴿] [巻] [爨] モードで撮影した画像

■指定方法を選ぶ





1 設定画面を表示する

■ <MENU> ボタンを押して、[▶] タ ブの [マイカテゴリー] を選びます (□42)。

2 指定方法を選ぶ

- ■目的のメニュー項目を選び、目的の項目 を選びます(□42)。
- ◆ **MENU**> ボタンを押すとメニュー画面 に戻ります。

■ 1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

■ 185の手順2の操作で [画像指定]を選び、<(雪)>を押します。

2 画像を選ぶ

<√> か <√> を押すか <○> を回して 画像を選びます。

3 カテゴリーを選ぶ

- <▲> か <▼> を押してカテゴリーを選び、<(嚼)> を押すと[✔]が表示されます。
- もう一度 <() > を押すと [√] が消え、 解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。

4 設定する

<MENU> ボタンを押すと確認画面が表示され、<**√>** か <**▶**> を押すか <**○**> を回して [OK] を選び、<**⑥**> を押します。





● 手順4の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、マイカテゴリーが設定されません。

■ 範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

■ 185 の手順2の操作で[範囲で指定]を選び、<(雪)>を押します。

2 画像を指定する

■ 176の手順2~3の操作で指定します。

3 カテゴリーを選ぶ

<▼> を押して種類の項目を選び、<∮> か<∮> を押すか<(○)> を回してカテゴリーを選びます。

4 設定する

MENU 5

<▼>を押して[設定]を選び、<を押します。



範囲で指定

手順4で[解除]を選ぶと、[範囲で指定]した画像のカテゴリーを、まとめて解除することができます。

√ 静止画を編集する



静止画の編集機能(□ 188~193) は、カードに空き容量がないと使えません。

静止画

画像を小さくする(リサイズ)

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



1 [リサイズ] を選ぶ

<MENU>ボタンを押して、[▶] タブの [リサイズ] を選びます (□ 42)。

2 画像を選ぶ

<√> か <√> を押すか <○> を回して 画像を選び、<○> を押します。

3 大きさを選ぶ

- <か> を押すかたきさを選び、(雪)> を押します。
- ▶ 「新規保存しますか?」が表示されます。



4 新規保存する

- <かを回して[OK] を選び、(雪)>を押します。
- ▶ 別画像として保存されます。





5 画像を確認する

- <MENU> ボタンを押すと [保存した画像を表示します] が表示されます。
- <<かを回して[はい]を選び、を押します。
- ▶ 保存した画像が表示されます。
- 手順3で [X\$] にした画像は、編集できません。RAW 画像は編集できません。



• 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

画像を切り抜く(トリミング)

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



切り抜き範囲



切り抜き範囲の表示切り抜き後の記録画素数



1 [トリミング] を選ぶ

<MENU>ボタンを押して、[▶] タブの「トリミング」を選びます(△42)。

2 画像を選ぶ

<か> を押すか○> を回して画像を選び、(※)> を押します。

3 切り抜く節囲を調整する

像が表示されます。

- ▶ 画像を切り抜く範囲が枠で表示されます。
- ▶左上にもと画像、右下に切り抜き後の画
- ズームレバーを動かすと枠の大きさが変えられます。
- <▲><▼><◀><♪> を押すと枠の位置が移動できます。
- <DISP.> ボタンを押すと枠の縦横が変えられます。
- 顔が検出された画像では、左上の画面の顔の位置に灰色の枠が表示されます。>を回すと別の枠に切り換わり枠を中心にトリミングできます。
- <∰> を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 188の手順4~5の操作を行います。
- ●記録画素数が [\$] の画像 (□74) や、リサイズした [XS] の画像 (□188) は、編集できません。
 - RAW 画像は編集できません。



- トリミングできる画像の縦横比率は編集前と同じです。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。

静止画

画像の色調を変える(レタッチマイカラー)

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は □ 125 を参照してください。



1 「レタッチマイカラー」を選ぶ

■ <MENU> ボタンを押して、**[▶**] タブの [レタッチマイカラー] を選びます (□42)。

2 画像を選ぶ

<か>を押すかを回して画像を選び、(場)>を押します。



3 項目を選ぶ

- <<かを押すかを回して項目を選び、を押します。
- 4 新規保存して画像を確認する
 - 188 の手順4~5の操作を行います。



- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- RAW 画像の色調は変えられません。



● 撮影時のマイカラー(◯ 125)と色調が若干異なることがあります。

明るさを補正する(i- コントラスト)

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最 適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっ きりした印象となるように自動補正します。補正方法は4種類から選べ、 別画像として保存できます。



[i- コントラスト] を選ぶ

■ <MENU> ボタンを押して、 **「▶**] タ ブの [i- コントラスト] を選びます $(M42)_{a}$

2 画像を選ぶ

<<かを回して 画像を選び、<(**)>を押します。

3 項目を選ぶ

<<⇒ か> を押すか○> を回して 項目を選び、<(歌)>を押します。

新規保存して画像を確認する

■ 188の手順4~5の操作を行いま す。



- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないこと があります。
 - 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなることがあり ます。
 - BAW 画像の補正はできません。



「自動」で思いどおりに補正されないときは、「弱」「中」「強」のいずれかを 選んで補正します。



静止画

『赤目を補正する

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

<MENU> ボタンを押して、[▶] タブの [赤目補正] を選びます(□42)。

2 画像を選ぶ

<<か> を回して画像を選びます。

3 補下する

- を押します。
- ▶ 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 172 の操作で画像を拡大/縮小できます。



4 新規保存して画像を確認する

- <▲><▼><√>></>>>> を押すかを回して[新規保存]を選び、を押します。
- ▶ 別画像として保存されます。
- □ 189 の手順5 の操作を行います。



- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。
- RAW 画像の補正はできません。
- [曜] で撮影した JPEG 画像は赤目補正ができますが、上書き保存はできません。

動画を編集する

撮影した動画の前後を削除できます。



動画編集パネル



動画編集バー

1 [%] を選ぶ

- □ 160~161の手順1~3の操作で[※]を選び、<(⑤)>を押します。
- ▶ 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

2 編集範囲を指定する

- <√> か <▶> を押すか <⑥> を回して
 (順)を動かすと、編集できるところで[※]が表示されます。[條]を選ぶと(※]位置より前部、[隙]を選ぶと後部が削除されます。
- [¶]を[※]以外の位置に指定しても、[※□]では1つ左側の[※]位置よりも前部、[型※]では1つ右側の[※]位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

- <▲> か <▼> を押して [▶] を選び、を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順2の操作を 行います。
- 編集を中止するときは、<▲>か<▼> を押して[**5**] を選び<(**)を押した あと、<√>か<▶>を押すか<(**)>を回して [OK] を選び、もう一度<(**)>を押します。



4 編集した動画を保存する

- <▲><▼><√>><∫>> を押すか<(◎)>を回して [新規保存] を選び、<(響)>を押します。
- ▶別動画として保存されます。

- - 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
 - カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
 - 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
 - 編集するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット(別売)(□215)を使うことをおすすめします。

動画

ムービーダイジェストモードで作成された動画を編集する

[♣] モードで作成されたチャプター (□86) を 1 つずつ選んで消す ことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分 に確認してから消してください。



1 チャプターを選ぶ

- ■160の手順1~2の操作で[4] モードで作成された動画を選びます。
- <<> か < ト> を押すか < > を回して [【◀】か [▶】] を選び、消したいチャプターを選びます。



2 [徐] を選ぶ

- 160~161の手順1~3の操作で[繪]を選び、<>> を押します。
- ▶選んだチャプターが繰り返し再生されます。



3 確認して消す

- <か> を押すか○> を回して(回)<l
- ▶ チャプターが消去され、上書き保存されます。



● プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [儘] は表示されません。

7

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

🦯 カメラの基本機能を変える

メニューの [**f†**] タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます(<u></u>__42)。

一音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



● [消音] を選び、[する] を選びます。



- <DISP.> ボタンを押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- ・ 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき(□ 160)の音声も鳴らなくなります。動画再生中に <▲> を押すと音声が鳴り、<▲> か</▼> を押すと音量を調整できます。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- [音量] を選び、<∰> を押します。
- 項目を選び、<**√**> か <**▶**> を押して音 量を変えます。

音を変える

カメラの各種動作音を変えられます。



- [音の選択] を選び、<())> を押します。
- 項目を選び、<◇か>を押して内容を選びます。
 - オリジナルの音が登録されています。 音は変えられません。オリジナルの音が登録されています。付属のソフトウェアを使って変えられます。



● [シャッター音] を変えても、[**凹**] モード (□106) のシャッター音には反映されません。

機能の説明を表示しない

FUNC. メニュー(◯ 41)やメニュー(◯ 42)で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



● [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

日付/時刻を変える

日付/時刻を、現在の設定から変えられます。



1 [日付/時刻] 画面を表示する

● [日付/時刻] を選び<() > を押します。

2 設定する

<<> か < ▶> を押して項目を選び、<▲> か < ▼> を押すか < ○ > を回して設定します。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先(旅行先)のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付/時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付/時刻を設定する」(Q19)で日付/時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、<(∰)> を押します。
- <▲> か <▼> を押すか <⑥> を回してズ訪問先]を選び、<∰> を押します。
- <<かを回して訪問先エリアを選びます。
- を押します。



2 訪問先のエリアに切り換える

- <▲>か<▼>を押すか<⑥>を回して [★訪問先]を選び、<MENU>ボタンを押します。
- ▶撮影画面(「画面の表示内容一覧」 (□255))に[★]が表示されます。



[★] の状態で日付/時刻を変える(□19)と、[♣自宅]の日時も自動的に変わります。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。

画面とビューファインダーの明るさは、別々に設定できます(**OISP.**> ボタンを押して設定したい方を表示してから設定します)。



[液晶の明るさ]を選び、<◀>か<▶> を押して明るさを変えます。



●撮影画面や再生モードで 1 枚表示のときに <DISP.> ボタンを 1 秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります ([*f*] タブの [液晶の明るさ] 設定は無効になります)。もう一度 <DISP.> ボタンを 1 秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

起動画面を変える

電源を入れたときに表示される起動画面を変えられます。



- [起動画面]を選び、<(∰)>を押します。
- <√> か <> を回して 内容を選びます。

OFF	起動画面は表示されません。
1	オリジナルの画像が登録されています。 画像は変えられません。
2	オリジナルの画像が登録されています。 撮影した画像を登録したり、付属のソフトウェアを使って変えることができます。

■撮影した画像を起動画面にする



- 1 再生モードで [起動画面] 画面を 表示する
 - <下> ボタンを押します。
 - 上記の手順で [2] を選び、<() > を押します。



- 2 画像を選んで登録する
 - 画像を選んで<一声を選んで一声を選び、●>を押すか○>を回して [OK]を選び、で要び、で押します。

1

● 起動画面を登録すると、以前の登録内容は消えます。



・付属のソフトウェアに用意されている専用の各種動作音や起動画面を、カメラに登録することができます。詳しくは「ソフトウェアの使用説明書」(○28)を参照してください。

^ドカードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化(フォーマット)することをおすすめします。

初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

また、Eye-Fi カード (皿 245) では、初期化する前にカード内のソフトウェアをパソコンにインストールしてください。





[カードの初期化] 画面を表示する

● [カードの初期化] を選び <∰> を押します。

2 [OK] を選ぶ

3 初期化する

- <▲>か<▼>を押すか<(◎)>を回して [OK] を選び、<(⑥)>を押すと初期 化がはじまります。
- 初期化が終わると [カードの初期化が完了しました] が表示されるので、<を押します。

カメラの基本機能を変える



カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が 変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄すると きは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどし て、個人情報の流出を防いでください。



初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量 よりも小なたとなることがものもつ。 よりも少なくなることがあります。

■ カードを物理フォーマット(初期化)する

「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作 しない、カードへの画像記録/再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなっ た、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットを すると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。 カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットを してください。



物理フォーマットする

- M203の手順2の画面で、<A>か <▼>を押すか<⑥>を回して「物理 フォーマット]を選び、<**√>**か<**▶**> を押して「✔)を表示します。
- □203の手順2~3の操作で、初期 化(物理フォーマット)します。



- 期化する」(□203) よりも時間がかかります。
 - 物理フォーマット中に〔中止〕を選ぶと、初期化を中止できます。中止して もデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



● [画像番号] を選び、内容を選びます。

	通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影 /保存されるまでは、カード を変えて撮影しても連番にな ります。
	オートリセット	カードを変えたり、フォルダ が新しく作られたときは、画 像番号が 0001 に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とも、変えるカードに画像が入っているときは、 その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化(□203) したカードをお使いください。
- フォルダ構造や保存される画像については、「ソフトウェアの使用説明書」 (△28)を参照してください。

フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごと に作成することもできます。



- [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選び ます。
- ▶撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、 撮影した画像が保存されます。

レンズ収納時間を変える

撮影状態から <▶> ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます (↓ 38)。 <▶> ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0 秒] に設定します。



[レンズ収納時間]を選び、[○秒]を選びます。

節電機能(オートパワーオフ)の設定を変える

節電機能(オートパワーオフ)を切ったり、画面が消えるまでの時間(ディスプレイオフ)を変えたりできます(Д38)。



- 1 [節電]画面を表示する
- [節電] を選び <∰> を押します。
- 2 設定する
 - 項目を選んだあと、<√> か <>> を押して設定を変えます。
- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、「オートパワーオフ]を[入]にし、「ディスプレイオフ]を[1分]以下にすることをおすすめします。

• [ディスプレイオフ] は、[オートパワーオフ] が [切] のときも働きます。

距離表示の単位を変える

MF インジケーター (口 130)、ズームバー (口 46) などの表示単位を、m/cm から ft/in (フィート/インチ) に変えることができます。



● [単位] を選び、[ft/in] を選びます。

水準器を調整する

水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します。 グリッドライン(◯ 154)を使って、事前にカメラを水平にしておくと、 より確実に調整できます。

1 カメラを水平にする

傾きがない台などの上にカメラを置きます。

2 [水準器] 画面を表示する

● [水準器] を選び、<(∰)> を押します。

3 調整する

- [調整] を選び〈釁〉を押すと、確認画面が表示されます。
- [OK] を選び、<(場)> を押します。



カメラの基本機能を変える

■水準器を初期化する

水準器の設定を初期状態に戻せます。水準器を調整していないときは、初期化できません。



- [水準器] を選び、<(∰)> を押します。
- [初期化] を選び、<∰>を押します。
- [OK] を選び、<(場)> を押します。
- ▶ 初期化が終わるとメニュー画面に戻ります。

画像に記録する著作権の情報を登録する

作成者名や著作権者名を登録しておくと、撮影した画像に登録した情報を記録できます。





1 設定画面を表示する

- [著作権情報] を選び、<(∰)> を押します。
- <▲> か <▼> を押すか <⑥> を回して [作成者名入力] か [著作権者名入力] を選び、<∰> を押します。

2 名前を入力する

- <▲><▼><√></>を押すか<(○)>を回して文字を選び、<(⑥)>を押して入りします。
- 最大63文字まで入力できます。
- [♠] か [♠] を選んで < > を押すと、 文字を入力する位置を移動できます。



3 登録する

- ◆ **MENU**> ボタンを押すと、[変更内容を 保存しますか?] が表示されます。
- <<かを回して[はい]を選び、<を押します。
- ▶撮影する画像に、情報が記録されるようになります。



- 入力した内容は、手順 | の画面で [著作権情報の表示] を選び、<会>を 押すと確認できます。
- 付属のソフトウェア(瓜28)でも、カメラに登録する著作権情報を入力したり、変えたり、消すことができます。なお、付属のソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがありますが、画像には正しく記録されます。
- 画像に記録された著作権情報は、付属のソフトウェアを使ってパソコンに取り込んでから、確認したり、変えたり、消すことができます。

■ 登録した著作権情報をまとめて消す

登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。



- ▶□208の手順1の操作で、[著作権情報の消去]を選びます。
- ▶ < <>> か <>> を押すか <⑥> を回して
 [OK] を選び、
 ⑤
 ⑤
 と押します。



画像に記録されている著作権情報は消されません。

認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



■ [認証マーク表示] を選び、<(事)> を押します。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



1 言語画面を表示する

- [言語・同] を選び <(∰)> を押します。
- 2 設定する
 - <▲><▼><∮><∫>> を押すか<(○)>を回して言語を選び、<(⑤)> を押します。



再生モードにして、〈じ〉を押したまま、すぐに〈MENU〉ボタンを押す ことでも言語画面を表示できます。

「その他の基本機能を変える

次の機能も「**f**† タブで設定できます。

- [ビデオ出力方式] (□222)
- [HDMI 機器制御] (□220)
- [Eye-Fi 設定] (□245)

プカメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



- 1 [カメラ設定初期化] 画面を表示 する
- [カメラ設定初期化] を選び、<() > を 押します。

2 初期状態に戻す

- <<か> を押すか○> を回して[OK] を選び、(質)> を押します。
- ▶ カメラが初期状態に戻ります。



- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - [竹] タブの [日付/時刻] (瓜19)、[言語詞] (瓜21)、[エリア設定] (瓜200)、[起動画面] に登録した画像 (瓜202)、[ビデオ出力方式] (瓜222)
 - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ(Д 123)
 - ワンポイントカラー(🏻 98)、スイッチカラー(🕮 100)で指定した色
 - 撮影モード (□89)
 - 個人認証機能で登録した内容(□63)
 - 水準器の調整内容(Q)207)
 - 著作権情報 (208)

8

アクセサリー

付属のアクセサリーを上手に使ったり、別売アクセサ リーや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

🥇 付属アクセサリーの上手な使いかた

「バッテリーとバッテリーチャージャーの上手な使いかた

• 充電は使う前日か当日にする

充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって 少しずつ残量が減っていきます。

充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッ テリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電 状態を見分けることができます。



• 長期間保管する

バッテリーを使い切ってカメラから取り出し、カバーをつけて保管してください。 バッテリーを使い切らずに長期間(1年くらい)保管すると、バッテリー寿命を縮 めたり、性能が劣化することがあります。

バッテリーチャージャーを海外で使う

バッテリーチャージャーは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。 海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリーは、 諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によっ てはお取り扱いがないことがあります。

雷源



バッテリーパック NB-10L

充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LC

● バッテリーパック NB-10L 用のバッテ リーチャージャーです。



AC アダプターキット ACK-DC80

家庭用電源でカメラを使えます。カメラ を長時間連続して使うときや、プリンター やパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることを おすすめします(カメラ内のバッテリー は充電できません)。



- ●バッテリーチャージャーやACアダプターキットは、AC 100 -240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
 - プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプター を使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原 因になりますので絶対に使わないでください。

ストロボ



スピードライト 600EX-RT、 600EX, 580EXII, 430EXII, 320EX, 270EXII

クリップオンタイプの外付けストロボで、 多彩なストロボ撮影ができます。なお、 580FX, 430FX, 270FX, 220FX もお使いになれます。

別売アクセサリー





スピードライトブラケット SB-E2

縦位置撮影時、被写体の横に不自然な影が出ることを防ぎます。オフカメラシューコード OC-E3 も付属しています。

スピードライトトランスミッター ST-E2

スレーブ設定されたスピードライト (270EX、220EXを除く)をワイヤレ スで制御できます。





ソフトケース PSC-2260

インターフェースケーブル IFC-400PCU

パソコンやプリンターとカメラをつなぐ ケーブルです。



ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST

■撮影した画像をテレビに表示して楽しめます。



HDMI ケーブル HTC-100

● カメラと HD(ハイビジョン)対応テレビの HDMI 端子をつなぐケーブルです。



リモートスイッチ RS-60E3

カメラから離れてシャッターボタンの半押しと全押しができるリモートスイッチです。





レンズフード LH-DC60

画面外から不要な光がレンズに入らないようにして、画質劣化の原因となるフレアやゴーストを防ぎます。

フィルターアダプター FA-DC67A

● 67 mmのフィルターを取り付けるため のアダプターです。

キヤノン製レンズフィルター (ø 67 mm)

レンズを保護したり、さまざまな効果を つけて撮影できます。



レンズフードとフィルターアダプターをカメラへ一緒に取り付けることはできません。

プリンター





キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

キャノン製の PictBridge 対応プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログでご確認いただくか、お客様相談センターへお問いあわせください。

別売アクセサリーの使いかた

静止画

動画

テレビで見る

カメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。 なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについて は、テレビの使用説明書を参照してください。



テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります。 $(257)_{\circ}$

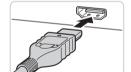
静止画

動画

■ HD(ハイビジョン)対応テレビで見る

HDMI ケーブル HTC-100 (別売) でカメラと HD 対応テレビをつないで カメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、 「MM」や「MM」で撮影した動画は HD(ハイビジョン)画質で見ることが できます。

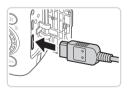




カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

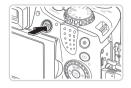
● ケーブルのプラグを、図のようにテレビ のHDMI入力端子へしっかりと差し込み ます。



ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラ の端子へしっかりと差し込みます。

- 3 テレビの雷源を入れて、外部入力 に切り換える
 - テレビの入力を、手順2の操作でつない だ外部入力に切り換えます。

別売アクセサリーの使いかた



4 カメラの電源を入れる

- < 下> ボタンを押して電源を入れます。
- ▶ 画像がテレビに表示されます(カメラの 画面には何も表示されません)。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を 切ってから、ケーブルを抜きます。



• HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

静止画動画

■ テレビのリモコンで操作する

HDMI 機器制御機能(HDMI CEC)対応のテレビとカメラをつなぐと、テレビのリモコンで画像の切り換えや、スライドショーなどの操作ができます。

テレビによっては、テレビ側の設定が必要です。詳しくは、テレビの使用 説明書を参照してください。



1 設定する

<MENU> ボタンを押して、[ff] タブの [HDMI 機器制御] を選び、[入] を選び ます(□42)。

2 テレビとカメラをつなぐ

■218の手順1~2の操作でテレビ とカメラをつなぎます。

3 画像を表示する

- テレビの電源を入れ、カメラの <▶> ボタンを押します。
- ▶ 画像がテレビに表示されます(カメラの画面には何も表示されません)。

4 テレビのリモコンで操作する

- リモコンの <√> か <>/>> で画像を選びます。
- 決定ボタンを押すとテレビに操作パネル が表示されます。<◀>か<▶>で項目 を選び、もう一度決定ボタンを押します。

■ テレビに表示される操作パネル一覧

₽	戻る	メニューが消えます。
<u></u>	グループ再生	[後] モード (口87)、[型] モード (口106) で撮影された画像を表示します (グループ化された画像を選んでいるときのみ表示)。
•	動画再生	動画を再生します(動画を選んでいるときのみ表示)。
•	スライドショー	画像を自動的に再生します。再生中にリモコンの<◀> か<▶>を押すと画像を切り換えられます。
	インデックス表示	画像を一覧で表示します。
DISP.	情報表示切り換え	画面の表示を切り換えます(Д43)。



- カメラの < MENU> ボタンを押すなど、カメラを操作して表示を変えたときは、テレビのリモコンでの操作ができなくなります。カメラで 1 枚表示に戻してからリモコンで操作してください。
- HDMI 機器制御機能(HDMI CEC)に対応したテレビであっても、正しく動作しないことがあります。

動画

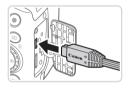
■ HD (ハイビジョン) 非対応テレビで見る

ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST (別売) でカメラとテレビをつないで、カメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。



1 カメラとテレビの電源を切る

- 2 カメラとテレビをつなぐ
 - ケーブルのプラグを、図のようにテレビ の外部入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラ の端子にしっかりと差し込みます。
- 3 画像を表示する
 - 218の手順3~4の操作で画像を表示します。
- 出力方式(NTSC/PAL)があわないと、画像が正しく表示されません。〈MENU〉ボタンを押して、[ff] タブの [ビデオ出力方式]で出力方式を変えて〈ださい(日本国内の出力方式は、「NTSC」です)。



カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、ピント位置拡大(□80)、MF拡大表示(□130)、スティッチアシスト(□107)はできません。

動画

静止画

「家庭用電源でカメラを使う

AC アダプターキット ACK-DC80 (別売) を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。



カメラの電源を切る

2 ふたを開ける

■16の手順2の操作でカード/バッテリー収納部のふたを開き、図のように通し部のふたを開きます。



3 プラグをカプラーにつなぐ

アダプターのプラグをカプラーの端子に しっかりと差し込みます。



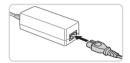
4 カプラーを入れる

カプラーを図の向きにして、「カチッ」と 音がしてロックされるまで差し込みます。

別売アクセサリーの使いかた



ふたを①の方向にたおし、カプラーのケー ブルが通し部の位置(②) にくるように して閉じます。



5 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プ ラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使え ます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切って からプラグをコンセントから抜いてくだ さい。



- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでく ださい 場別 た 高格子が こうこ ださい。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあり ます。
 - ●故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないで ください。

動画

静止画

「レンズフード(別売)を使う

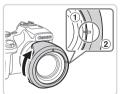
レンズフード LH-DC60 (別売) を使うと、ストロボを使わずに広角側で逆光時に撮影するとき、画角外の光がレンズに入ることを防ぐことができます。



取り付ける

- カメラの取り付け部①とフードの内側の 切り欠き②をあわせてから、ロックする まで矢印の方向に回します。
- 取り外すときは、反対方向に回します。





フードを使わないときは、図の向きにして、カメラの取り付け部®とフードの外側の切り欠き®をあわせてから、ロックするまで矢印の方向に回して取り付けます。



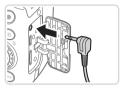
● フードを取り付けた状態で内蔵ストロボを使うと、ストロボ光が ケラレて、画像の一部が暗くなることがあります。



フードとフィルターアダプターをカメラへ一緒に取り付けることはできません。

プリモートスイッチ(別売)を使う

リモートスイッチ RS-60E3 (別売) を使うと、シャッターボタンを押すときに発生するカメラのブレを防ぐことができます。シャッタースピードが遅くなるときにお使いになると便利です。



1 リモートスイッチをつなぐ

- カメラの電源が切れていることを確認します。
- 端子カバーを開けて、リモートスイッチ のプラグを差し込みます。



2 撮影する

リモートスイッチのレリーズボタンを押して撮影します。



バルブ撮影はできません。

静止画動画

が付けストロボ(別売)を使う

スピードライト EX シリーズ (別売) を使うと、より高度なストロボ撮影ができます。また、スピードライト 320EX (別売) では、LED ライトを使った動画撮影ができます。



- お使いになるスピードライト EX シリーズの機能の一部は、この カメラでは使えないことがあります。
- スピードライト 600EX-RT の電波通信機能は使えません。
- スピードライト EX シリーズ以外のキヤノン製ストロボでは「発 光しない」、「フル発光する」など正しく発光しないことがあります。
- 他社製のストロボ(特に高圧タイプのストロボ)やストロボ用付属品を使うと、カメラが正常な機能を発揮しなかったり、故障の原因となることがあります。



• お使いになるスピードライト EX シリーズの使用説明書も、あわせてご覧ください。

静止画

動画

■ スピードライト EX シリーズ

大光量によるストロボ撮影や、撮影目的にあわせた多彩なストロボ撮影ができます。



- 1 アクセサリーシューにストロボを 取り付ける
- 2 ストロボ、カメラの順番で電源を 入れる
 - ▶ [4] (赤色) が表示されます。
 - ▶ ストロボの充電が完了すると、ストロボのパイロットランプが点灯します。

< オート

4 先幕

MENU 5



- 他の撮影モードでは自動調光で発光する ので、設定は変えられません。
- 4 ホワイトバランスを「≴」にする (22)



- **<MENU>** ボタンを押して「 **両]** タブの 「ストロボ制御」を選び、<(**)>を押し ます。
- ▶ ストロボ側で設定されている内容が表示 されます。
- <</p>
 > か <</p>
 > を押すか <</p>
 > を回し て項目を選び、<◆> か <▶> を押して 設定します。
- 設定できる項目は、撮影モードや取り付 けているストロボによって変わります $(229)_{\circ}$



外部ストロボ設定

調光補正

- スピードライト EX シリーズを取り付けているときは、内蔵ストロボの設定画面がまデキャケいをいるできます。 画面が表示されないため設定できません。
 - <4> ボタンを 1 秒以上押すことで設定画面を表示することもできます。
 - 撮影モードを「┛」にしているときは、<▶>モードと同じようにストロ ボの設定ができます。
 - ストロボでマルチ発光に設定しているとき(580FX Ⅱのみ)は、「ストロ ボ制御〕を選べません。
 - LFD ライト (320FX のみ) は、暗い場所で、動画撮影中または動画モー ドにしたときだけ自動点灯します。このとき、画面には [5元] が表示され ます。

動画

■ スピードライトブラケット SB-E2(別売)を使う



- 別売のスピードライトブラケット SB-E2 を使うと縦位置撮影時に被写体の 横に不自然な影が出るのを防ぐことがで きます。
- 液晶モニターを開くと、角度によっては スピードライトブラケットに当たること がありますので、液晶モニターを閉じた 状態でお使いください。

静止画

■ 外付けストロボ(別売)を使うときの設定について

<**P**>、<**Tv**>、<**Av**>、<**M**> モードでは、次の項目を設定できます。そのほかの撮影モードでは [赤目自動補正] と [赤目緩和ランプ] だけを設定できます(ストロボは自動調光で常に発光します)。ただし、内蔵ストロボが発光しないモード(◯260)では、外部ストロボは発光しません。

項目	選択項目		撮影モード			
坝 口			Tv	Av	M	
発光モード	オート* 1	0	0	0	_	
光ルモート	マニュアル*2	0	0	0	0	
調光補正*3	-3 - +3	0	0	0	-	
発光量* ⁴	1/128*5 - 1/1(1/3段ステップ)	0	0	0	0	
シンクロ設定	先幕 / 後幕 / ハイスピード	0	0	0	0	
スローシンクロ	入	0	0	0	0	
XU-9990	切	0	-	0	-	
ワイヤレス機能*6	入/切	0	0	0	0	
赤目自動補正	入/切	0	0	0	0	
赤目緩和ランプ	入/切	0	0	0	0	
セーフティ FE * ⁷	入	0	0	0	-	
E-JJAFE	切	0	0	0	0	
ストロボ設定初期化*8			0	0	0	

別売アクセサリーの使いかた

- *1ストロボは E-TTL モードになります。
- *2ストロボは M モードになります。 撮影モードが【M】のときは、ストロボを E-TTL モードにすることもできます。 このとき、カメラで設定した発光量に対して、ストロボで設定した調光補正量が反 映されて、発光します。
- *3 [発光モード] が [オート] で、ストロボ側の調光補正量が [+0] のときだけ設定できます。スピードライト 600EX-RT、600EX、580EX II、430EX II では、ストロボで調光補正量を変えると、カメラの表示に反映されます。
- *4[発光モード]が[マニュアル]のときに設定できます。ストロボでの設定と同期 します。
- *5スピードライト 430EX II、430EX、320EX、270EX II、270EX では 1/64です。
- *6入 / 切以外はストロボで設定してください。スピードライト 430EX II、320EX、270EX II、270EX では設定できません。また、[入] のとき [シンクロ設定] で [後幕] は選べません ([後幕] を選んでいたときは、[先幕] になります)。
- *7[発光モード]が[オート]のときだけ設定できます。
- *8すべての設定を初期状態に戻します。[スローシンクロ] [セーフティ FE] [赤目自動補正] [赤目緩和ランプ] は、カメラの [**ff**] メニューの [初期設定] でも初期 状態に戻ります (M211)。



- 撮影モードを[よ]にしているときは、<P>モードと同じようにストロボの設定ができます。
 - 撮影モードを < (●加) > にしているときは、カメラが判別したシーンを示す 「笑顔」「寝顔」「赤ちゃん - 笑顔」「赤ちゃん - 寝顔」「こども」のアイコン は表示されず、連続撮影されません(□52)。

印刷する

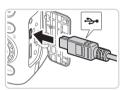
撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。 また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。

なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

静止画

『かんたん印刷

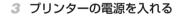
撮影した画像は、カメラと PictBridge(ピクトブリッジ)対応プリンター (別売)を USB ケーブルでつないで、かんたんに印刷できます。





1 カメラとプリンターの電源を切る

- 2 カメラとプリンターをつなぐ
- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラ グを図の向きにして、カメラの端子にしっ かりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。





- 4 カメラの電源を入れる
 - <▶> ボタンを押して電源を入れます。



▶「「「SETT] が表示されます。



5 画像を選ぶ

<√> か <√> を押すか <○> を回して 画像を選びます。

- ▶印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順5~6の操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの 電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター(別売)については、Д217を 参照してください。
- RAW 画像は印刷できません。

印刷設定をする



1 印刷画面を表示する

■ 231 ~ 232 の手順 1 ~ 5 の操作 で画像を選んだあと、● を押して左 の画面を表示します。

2 設定する

<▲>か<▼>を押すか<()>を回して項目を選び、<4>か<▶>を押して内容を選びます。

	標準設定	プリンターの設定にしたがいます。	
	日付	日付を入れて印刷します。	
9]	画像番号	画像番号を入れて印刷します。	
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。	
	切	-	
	標準設定	プリンターの設定にしたがいます。	
M	切	-	
لاک	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。	
	赤目 1	赤く写った目を補正します。	
ي ا	印刷枚数	印刷枚数を指定します。	
トリミング	_	印刷する範囲を指定します(Д234)。	
用紙設定	_	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (皿235)。	

■ 画像を切り抜いて印刷する(トリミング)

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。





1 [トリミング] を選ぶ

- 233 の手順 1 の操作で印刷画面を 表示したあと、[トリミング] を選び、 〈働〉を押します。
- ▶ 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。

2 切り抜く範囲を指定する

- ズームレバーを動かすか<()> を回して 枠の大きさを変えます。
- <DISP.> ボタンを押すと枠が回転します。
- ◇
 ※ > を押して設定します。

- 手順1の画面で、<▲>か<▼>を押すか<(◎)>を回して[印刷]を選び、(靈)>を押します。
- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。
 - カメラで [日付写し込み] の指定をして撮影した画像をトリミングすると、日付が正しく印刷されないことがあります。

■ 用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する



1 [用紙設定] を選ぶ

■ 233の手順1の操作で印刷画面を表示したあと、[用紙設定]を選び、● を押します。



2 用紙サイズを選ぶ

<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して内容を選び、<◎> を押します。



3 用紙タイプを選ぶ

○ <▲> か <▼> を押すか <⑥> を回して内容を選び、<ਿ⑤> を押します。



4 レイアウトを選ぶ

- [複数画像]を選んだときは、<◇▶>を押して印刷枚数を選びます。
- </>

 を押します。

■ レイアウトで設定できる項目

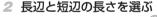
標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1 枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
IDフォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数が L で、縦横比が 4:3 の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L 判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

静止画

■証明写真を印刷する



■ 235 の手順 1 ~ 4 の操作で [ID フォト] を選び、● > を押します。



<▲>か<▼>を押すか<(○)>を回して項目を選んだあと、<√>か<▶>を押して長さを選び、<(⑥)>を押します。



3 印刷する範囲を選ぶ

■ 234の手順2の操作で印刷する範囲を選びます。



■動画を印刷する



1 印刷画面を表示する

- 231~232の手順1~5の操作で動画を選んだあと、<() を押します。
- <◇ か < ▶ > を押すか < > を回して[込] を選んだあと、< > を押して左の画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- <▲>か<▼>を押すか<()>を回して[門]を選び、<4>か<▶>を押して印刷方法を選びます。
- 3 印刷する

■動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。		
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション]を[入]にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。		



- 印刷中に <(雪)> を押すと、印刷を中止します。
 - CP720 / CP730 以前のキヤノン PictBridge 対応プリンターでは、[IDフォト] や [連続コマ] は指定できません。

印刷指定 (DPOF)

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (1242) や写真店への印刷注文をすることができます (最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。



RAW 画像は指定できません。

静止画

■ <凸> ボタンを押して印刷指定する

撮影直後や画像の再生中に < ボタンを押すだけで、印刷指定(DPOF)ができます。



<<か> を回して、画像を選びます。



- < < 応> ボタンを押す
- <▲>か<▼>を押して印刷枚数を指定し、<し、<を回して[指定する]を選び、<を押します。
- 印刷指定を解除するときは、もう一度手順1~2の操作を行い、<√>か<▶>を押すか<(**)>を回して[解除する]を選び、<(***)>を押します。





• プリンター接続時は印刷指定できません。

■ 印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、 印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



⋖MENU> ボタンを押して、[凸] タブの [印刷の設定] を選んだあと、項目を 選び、設定します(□42)。

	スタンダード	1枚の用紙に1枚の画像を印刷
印刷タイプ	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
□.	Ъ	撮影日を入れて印刷
日付	切	_
西海来中	入	画像番号を入れて印刷
画像番号	切	_
CD PII 外 化 中 A Pi P	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
印刷後指定解除	切	-

- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
 - ●他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[●]が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
 - ●[日付]を[入]に設定すると、お使いのプリンターによっては、 日付が重複して印刷されることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター(別売)では、インデックス 印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、[竹] タブの [日付/時刻] の設定内容で印刷されます (□ 19)。

■ 1 枚ずつ枚数を指定する



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

<MENU> ボタンを押して、[凸] タブの [印刷する画像を指定] を選び、<を押します。

2 画像を選ぶ

- <か> を押すか○を回して画像を選び、(個)> を押します。
- ▶枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✔] が表示され、もう一度 <(***) を押すと 解除されて [✔] が消えます。

3 枚数を設定する

- <▲> か <▼> を押すか <⑥> を回して枚数を指定します(最大99枚)。
- 手順2~3の操作を繰り返して、画像と 枚数を指定します。
- [インデックス]では枚数の指定ができません。手順2の操作で画像のみを選んでください。
- <MENU> ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。



節囲で指定する



1 [範囲で指定] を選ぶ

■ 240 の手順 1 の操作で [範囲で指定]を選び、< ランを押します。

2 画像を指定する

■ 176の手順2~3の操作で指定します。

3 印刷指定する

<▲> か <▼> を押して [画像指定] を 選び、<⑤> を押します。

静止画

■すべての画像を指定する



1 [すべての画像を指定] を選ぶ

■ 240 の手順 1 の操作で [すべての 画像を指定] を選び、< > を押します。

2 印刷指定する

<かを囲して(OK) を選び、<(会)を押します。

■ すべての指定を解除する



1 [すべての指定を解除] を選ぶ

- 240 の手順 1 の操作で [すべての 指定を解除] を選び、< > を押します。
- 2 指定を解除する
 - <<かを回して[OK] を選び、<を押します。

静止画

■ 印刷指定(DPOF)した画像を印刷する



- 印刷指定した画像(□238~241) があるときは、カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐと左の画面が表示されます。<▲>か<▼>を押して[すぐに印刷]を選び、<⑥>を押すと、印刷指定した画像をかんたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの 画像から印刷されます。

フォトブック指定

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定(最大998画像) し、付属のソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が 専用のフォルダにコピーされて、インターネットでのフォトブック注文や、 お使いのプリンターでの印刷をするときに便利です。

■指定方法を選ぶ



■ <MENU> ボタンを押して、「▶ 」タブ の「フォトブック指定」を選んだあと、 指定方法を選びます。

●他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、「●〕が (!)表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定 済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



・パソコンに取り込んだあとは「ソフトウェアの使用説明書」(Q28) やお使いのプリンターの使用記の書 お使いのプリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

静止画

1枚ずつ指定する



[画像指定] を選ぶ

▶記の操作で「画像指定」を選び、 <(歌)> を押します。



2 画像を選ぶ

- <<か> を押すか○> を回して画像を選び、(愛)> を押します。
- ▶ [✔] が表示されます。
- もう一度 <(雪)> を押すと解除され、[✔] が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作 を繰り返します。
- <MENU> ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

静止画

■ すべての画像を指定する



| 「すべての画像を指定〕を選ぶ

■ 243 の操作で [すべての画像を指定] を選び、〈(い)〉を押します。

2 印刷指定する

<<かを回して[OK] を選び、<(頭)>を押します。

静止画

■すべての指定を解除する



【 [すべての指定を解除] を選ぶ

■ 243 の操作で [すべての指定を解除]を選び、< (雪)> を押します。

2 指定を解除する

<<かを回して[OK] を選び、<(回)>を押します。

「Eye-Fi カードを使う

Eye-Fi カードを使うときは、その国や地域で使用が認められているか、必ず事前にご確認ください(〔2)。

セットアップした Eye-Fi カードをカメラに入れると、撮影した画像をワイヤレスでパソコンに自動転送したり、オンライン上のサービスにアップロードしたりできます。

画像の転送は Eye-Fi カードの機能です。カードのセットアップ方法、使用方法、転送時の不具合などについては、カードの使用説明書を参照するかカードメーカーにお問いあわせください。

- Eye-Fi カードの使用中は、次のことに注意してください。 - [Eye-Fi 通信] を [しない] に設定(□246)しても、電波が 発信されることがあります。病院や航空機内など電波の発信が禁 止されている場所では、事前に Eye-Fi カードを取り出しておい てください。
- 画像が転送できないときは、カードやパソコンの設定を確認してください。詳しくはカードの使用説明書を参照してください。
 - Eye-Fi 通信の接続状態によっては、画像の転送に時間がかかったり、転送が中断したりすることがあります。
 - Eye-Fi カードは、通信機能があるため、熱くなることがあります。
 - バッテリーの消耗が早くなります。
 - カメラの動作が遅くなります。[Eye-Fi 通信] を [しない] に設定すると解決することがあります。

Eye-Fi カードをカメラに入れると、撮影画面(情報表示時)や再生画面(簡易情報表示時)で通信状態を確認できます。

?	(灰色点灯)	未接続	78	中断
®	(白点滅)	接続中	**	通信停止
®	(白点灯)	転送待機	7	Eye-Fi カード 情報取得エラー* ²
ଚି	アニメーション	転送中*1	* U	

- *1画像の転送中は、節電機能が働きません(□38)。
- *2電源を入れなおしてください。繰り返し表示されるときは、カードの異常が考えられます。

転送された画像には、[●] が表示されます。

Eye-Fi カードを使う



【■】モードを選んでいるときは、Eye-Fi通信が中断されます。他の撮影モードに変えるか、再生モードにすると再開されますが、「▲■】モードで作成された動画は重複して転送されることがあります。

通信情報を確認する

接続先SSIDや通信状態を確認できます。



- <MENU> ボタンを押して、[f†] タブの
 [Eve-Fi 設定]を選び、<(響)> を押します。
- [通信情報一覧] を選び、<∰>を押します。
- ▶ 通信情報一覧が表示されます。

Eye-Fi 通信をしない

Eye-Fi 通信をしない設定にできます。



[Eye-Fi 通信] で [しない] を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、[f†] タブの
 [Eve-Fi 設定]を選び、<(罰)> を押します。
- [Eye-Fi 通信] を選び、[しない] を選びます。
- Eye-Fi カードを入れていないときや、ライトプロテクトスイッチがある Eye-Fi カードのスイッチを「LOCK」側にして入れているときは、[Eye-Fi 設定]が表示されません。そのため、ライトプロテクトスイッチがある Eye-Fi カードのスイッチを「LOCK」側にして入れているときは、設定を変えることができませんので注意してください。

9

付録

カメラを使うときに役立つ情報

√ 故障かな?と思ったら

「カメラが故障したのかな?」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

雷源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください(M15)。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください(□16)。
- カード/バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください(□17)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を 拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。端子カバーをつけて、ポケットなどでバッテリーを温めてからお使いください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たままで収納されない

電源を入れたまま、カード/バッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを 閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください(△17)。

バッテリーがふくらむ

バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

テレビ表示

テレビに表示できない/画面が乱れる(222)

撮影

撮影できない

再生モードのとき(□21) は、シャッターボタンを半押ししてください(□39)。

画面が表示されない(□ 49)

暗い場所での画面表示がおかしい(243)

撮影中の画面表示がおかしい

次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。

● 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画像に日付が写し込まれない

[日付/時刻]の設定(□19)だけでは写し込まれませんので、[日付写し込み]

248

を設定してください(皿61)。

 ● [日付写し込み] が設定(□61) できない撮影モード(□270~271) では、 写し込みはされません。

シャッターボタンを押したら、画面に [♣] が点滅表示されて撮影できない (◯ 49)

シャッターボタンを半押ししたときに、[4] が表示される

- [手ブレ補正]を[入]にしてください(□147)。
- ストロボを上げて、ストロボモードを [4] にしてください (□ 142)。
- ISO 感度を高くしてください(□117)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、 [手ブレ補正]を[切]にして撮影することをおすすめします(瓜147)。

画像がボケて撮影される

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください(□39)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください(□276)。
- 「AF補助光」を「入」にしてください(□82)。
- 意図しない機能(マクロ撮影など)が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AFロックで撮影してください(□134、140)。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを [4] にしてください (□ 142)。
- 露出補正で明るさを補正してください(口115)。
- i- コントラストで補正してください(□120、192)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください(□115、116)。

被写体が明るすぎる(白トビする)

- ストロボを下げて、ストロボモードを [❸] にしてください (Д)47)。
- 露出補正で明るさを補正してください(□115)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください(□115、116)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる(249)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください(M276)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください(□144、145)。
- ISO 感度を高くしてください(□117)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる(白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください(□276)。
- ストロボを下げて、ストロボモードを [3] にしてください (□47)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してしてください(□144、153)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

• 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください(□117)。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (□90)。

目が赤く写る (二75)

- [赤目緩和ランプ]を「入]に設定してください(△82)。ストロボ撮影のときは、ランプ(前面)(△4)が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください(Q193)。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

カードをこのカメラで物理フォーマットしてください(□204)。

撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない

設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC.メニュー 一覧」、「撮影タブメニュー一覧」(△260~266)で確認してください。

赤ちゃんやこどものシーンアイコンが表示されない

赤ちゃんやこどものアイコンは、個人認証機能(△63)で誕生日を登録しないと表示されません。誕生日を入力しても表示されないときは、顔情報を登録しなおす(△69)か、日付/時刻を正しく設定してください(△200)。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。 撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています(△203、275)。

バッファー警告(LQ 256)がいっぱいまで表示され、撮影が自動的に終わった

カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。

- カードをこのカメラで物理フォーマットする(Q)204)。
- 画質を変える (□ 77)。
- 書き込み速度の速いカードを使う(M275)。

ズームできない

[過] モード(口95)、[次] モード(口111) では、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える

撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

再生

再生できない

パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。ファイル名やフォルダ構造については、「ソフトウェアの使用説明書」(口28)を参照してください。

再生が中断する、または音声が途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください(Д204)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム(コマ) 落ちしたり、音声が途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- [消音] を[する] に設定(△198) しているときや、音声が小さいときは、音量 を調整してください(△26、161)。
- [▲] モード(□95)、[√] モード(□111) では音声が録音されていないため、音は出ません。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み 速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。

<\■> ボタンを押して再生モードにしたあと、<\MENU> ボタンを押したまま、<\▲> と <\B)> を同時に押します。表示された画面で <\>> か <\>> を押して [B] を選び、<\B)> を押します。

Eve-Fi カード

画像が転送できない(□245)

🦯 画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

カードがありません

● カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます(□17)。

カードがロックされています

カードのスイッチが「LOCK」側(書き込み禁止)になっています。スイッチを書き 込みできる方へ切り換えます(口16)。

記録できません

カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます(217)。

カードが異常です(皿204)

初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください(口17)。

カード残量が足りません

● カードの空き容量がないため、撮影(□45、85、113、149) や編集(□188~193) はできません。画像を消して(□179) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します(□16)。

バッテリーを充電してください(皿15)

画像がありません

カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています (皿 175)

認識できない画像です/互換性のない JPEG です/画像が大きすぎます/ 再生できません(AVI)/ RAW

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です/連想再生できない画像です/回転できない画像です/処理できない画像です/登録できない画像です/処理できません/指定できない画像です/認証情報がありません

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。 拡大 (□172) *、連想再生 (□174) *、分類 (□185)、回転 (□182)、編集 (□188~193) *、起動画面への登録 (□202) *、印刷指定 (□238) *、フォトブック指定 (□243) *、認証情報の編集 (□171~172) *
- グループ化された状態では処理できません(□88)。

指定範囲が正しくありません

画像を範囲指定(□176、181、187、241)するとき、始点に終点より遅い 番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとしました。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定(□238)の画像を998枚より多く指定しました。指定する画像を998枚以下にします。
- 印刷指定(□238)やフォトブック指定(□243)の画像を998枚より多く指定しました。指定する画像を998枚以下にします。
- 印刷指定(△238)やフォトブック指定(△243)を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護(□175)、消去(□179)、お気に入り(□184)、マイカテゴリー(□185)、印刷指定(□238)、フォトブック指定(□243)で、501枚以上の画像を指定しようとしました。

通信エラー

 カードに大量の画像(1000枚程度)があるため、パソコンに画像を取り込んだり 印刷したりできません。パソコンへ取り込むときは、カードリーダー(市販品)を使います。印刷するときは、プリンターのカードスロットにカードを差して印刷します。

ファイル名が作成できません

カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大(999)になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大(9999)になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[17]メニューで[画像番号]を[オートリセット]に変えるか(□205)、カードを初期化します(□203)。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました(エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号(Exx)を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷(△231)できないことがあります。

画面に表示されるメッセージ一覧

印刷エラー

用紙サイズの設定を確認してください(□235)。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

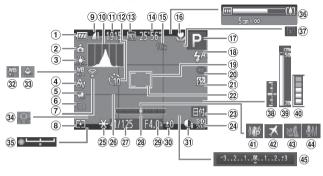
インク吸収体が満杯です

お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口にインク吸収体の交換を依頼してください。

🍶 画面の表示内容一覧

撮影時(情報表示あり)

ビューファインダーにも同じ情報が表示されます。



- ① バッテリー残量表示(256)
- ② カメラ位置*
- ③ ホワイトバランス (□ 122)
- ④ マイカラー (□ 125)
- ⑤ AEB 撮影 (□ 119) /フォーカスブ ラケット撮影(□ 141)
- ⑥ ドライブモード(□ 127)
- ⑦ Eye-Fi 通信状態 (△245)
- ⑧ 測光方式 (皿 116)
- 静止画の圧縮率 (口147)、記録画 素数(口74)
- ⑩ ヒストグラム(□ 162)

- ① 撮影可能枚数 (275)
- ⑫ セルフタイマー (□58)
- (3) 動画の画質((2)77)
- 4 撮影可能時間(□ 275)
- ⑤ デジタルズーム倍率 (瓜55)、デジタ ルテレコンバーター (瓜132)
- ® フォーカスゾーン (□129、130)、AFロック (□140)、手ブレ補正アイコン (□53)

- ・ 撮影モード(口260)、シーンアイコン(口51)
- ® ストロボモード(□142、143)、LEDライト(□228)
- ⊕ AFフレーム (□133)
- ② 赤目自動補正 (口75)
- ② ストロボ調光補正 (口144) /発光 量(口153)
- ② スポット測光枠 (Д 116)
- ② 日付写し込み (□61)
- 24 ISO 感度(LL117)

画面の表示内容一覧

- ② グリッドライン (□ 154)
- ② シャッタースピード (口 150、152)
- 28 水準器 (二79)
- ② 絞り数値
 (□ 151、152)
- 30 露出補正量 (Д 115)
- ③ i- コントラスト (□ 120)

- ② ホワイトバランス補 正(□124)
- 33 水銀灯補正 (二76)
- ④ 手ブレ警告 (□ 49)
- 35 露出シフトバー (□ 110)
- 36 ズームバー (□46)
- ☞ 目つむり検出 (□81)
- 38 露出レベル (口 152)

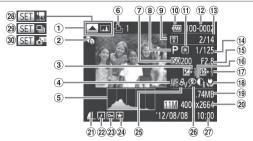
- 39 MF インジケーター (□ 130)
- バッファー警告(□250)
- 4) 手ブレ補正 (Д 147)
- ② エリア設定 (200)
- ❸ ウィンドカット (□78)
- ⊕ マイクレベル
 (□78)
- ④ 露出補正バー (□115)
- * 🏚: 通常、🏚 🏚: カメラを縦位置に構えたとき撮影時にカメラの向きを検知して 最適な撮影ができるよう制御され、再生時には、カメラが縦向きでも横向きでも、 画像が自動的に回転して正位置で見ることができます。 ただし、カメラを真上や真下に向けると正しく検出できないことがあります。

■バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
•7/4	十分です。
/ /	少し減っていますが、まだ使えます。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

再生時 (詳細情報表示)



- ① 表示切り換え (RGB ⑩ バッテリー残量表示 ヒストグラム) $(\square\!\!\!\square 163)$
- ② マイカテゴリー (2185)
- ③ 露出補下量 (□115)、露出シ フト量(2110)
- ④ ホワイトバランス (22)、ホワ イトバランス補正 (🕮 124)、水銀灯 補正 (□76)
- ⑤ ヒストグラム $(\square 162)$
- ⑥ 印刷指定 (□238)
- ⑦ ISO 感度 (□117)、 倍速 (皿96)、 再生速度(22111)
- (8) 撮影モード (260)
- 9 Eye-Fi 転送済み画像 (245)

- (256)
- ⑪ 測光方式 (皿 116)
- ② フォルダ番号ー画像 番号 (205)
- (13) 再牛画像番号/総画 像数
- ① シャッタース ピード (静止画) (Д150)、画質/ フレーム数(動画) (227)
- ® 絞り数値(□151)
- (6) i- コントラスト $(\square 120, 192)$
- ⑪ ストロボ調光補正量 (144)、発光量 $(\square 153)$
- 18 フォーカスゾーン (2129, 130)
- ① ファイルサイズ
- 20 静止画:記録画素数 (275)

動画: 再生時間

- ② 下縮率 (画質) (□147) /記録 画素数 (□ 74)、 RAW (M146), MOV (動画)
- ② グループ化 (M88, 106), 画像編集 (□ 188 $\sim 193)$
- ② 保護(175)
- ② お気に入り $(\square 184)$
- ② マイカラー (25, 191)
- 26 赤月補正 (M75、193)
- ② 撮影日時 (219)
- 28 動画 (二) 46、 160)
- 29 グループ再生 $(\Box 170)$
- 30 短編動画の再生 $(\square 164)$



テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (□218)。

□「見る」(○ 160)で表示される動画操作パネル一覧

一 見	る」(LLI 16U)で表示される動画操作ハネル一覧
5	終了
•	再生
 	スロー再生(<◀> か <▶> を押すか <⑩> を回して再生速度を変更)(音声は再生されません)
H	前スキップ*または前のチャプター(LQ86)(<) を押したままにする と連続戻し)
4	フレーム戻し(<() を押したままにすると早戻し)
 	フレーム送り(<⑤>を押したままにすると早送り)
M	次スキップ*または次のチャプター(瓜 86)(<) を押したままにする と連続送り)
%	編集 (瓜194)
([♣] モードで作成された動画を選んでいるとき(Д 196)に表示

*約4秒前または後のフレームを表示



Ъ

動画再生中に <◀> か <▶> を押すと、前スキップ/次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。

PictBridge 対応プリンターとつないだとき(M231) に表示

┛ 日ごろの取り扱いについて

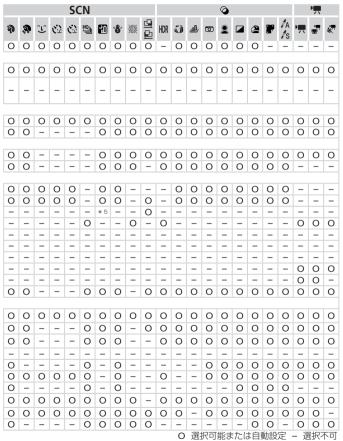
- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、 絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい 布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないで ください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけに してください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談 ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露(水滴) が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移す ときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉 じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。

√ 機能/メニュー 一覧

撮影機能一覧

撮影モード									
JAKJO C I		C1	М	Δν	Τv	P	AUTO		in
機能		٠.		^v				_	-1
露出補正(□115)	* 1	*]	-	0	0	0	_	0	0
ISO 感度 (CD 117)									
ISO AUTO	* 1	* 1	_	0	0	0	0	0	0
ISO ISO	* 1	*]	0	0	0	0	_	0	-
セルフタイマー(瓜58)									
COFF	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
G9G3C3	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	-
セルフタイマー設定(瓜59)									
時間*2	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	-
枚数*3	* 1	*]	0	0	0	0	0	-	_
ストロボ (Д 142、143) *4									
\$ ^A	* 1	*]	-	_	_	0	0	0	-
\$	* 1	*]	0	0	0	0	-	0	-
\$ <u>*</u>	* 1	*]	-	0	-	0	*5	0	-
③	-	-	-	-	-	-	-	-	0
絞り数値(皿 151)	* 1	* 1	0	0	_	-	_	-	_
シャッタースピード (Д 150)	* 1	* 1	0	_	0	-	_	-	_
プログラムシフト(Д 115)	0	0	-	0	0	0	_	0	_
AE ロック / FE ロック(皿 115、144)*6	0	0	-	0	0	0	-	0	_
AE ロック (動画) / 露出シフト (瓜 110)	_	_	-	_	_	-	_	-	_
AF ロック(写 ボタン登録時(🏔 155))	0	0	0	0	0	0	_	0	_
フォーカスゾーン(Д 129、130)									
▲ A	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
3	* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	-
Ⅲ (Д130) / AFロック (Д140)	*]	* 1	0	0	0	0	_	0	-
AF フレーム位置の変更 (A) 135)	* 1	*]	0	0	0	0	-	-	-
AF フレームサイズの変更 (M 135)	* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	-
顔セレクト (単139)	0	0	0	0	0	0	0	0	-
キャッチ AF (162、136)	0	0	0	0	0	0	0	-	0
☐ (Д56) /☐ (Д57)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動画撮影中の静止画撮影(□108)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
画面の表示(単43)	* 1	* 1	0	0	0	0	0	O	0
			-	-	-	-	-	-	-

^{* 1} 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う * 2 枚数設定不可のモードでは 0 秒設定不可 * 3 枚数設定不可のモードでは 1 枚固定

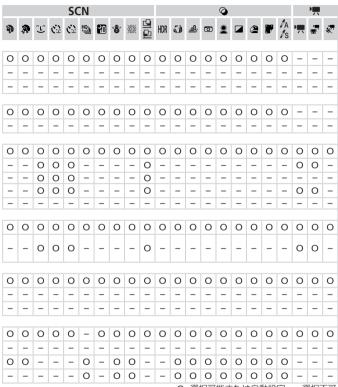


* 4 ストロボ収納時は [⑤] 固定、その他はストロボを上げたときに選択可 * 5 選択不可。ただし状況に応じて [��] * 6 FE ロックは [⑥] では不可

FUNC. メニュー 一覧

撮影モード		C1	М	Av	Tv	P	AUTO	o de la composição de l	×
機能									
D レンジ補正 (CL) 120)									
IOFF	* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	0
IAUTO	* 1	* 1	-	0	0	0	0	-	-
I200% I400%	*1	* 1	0	0	0	0	-	-	-
暗部補正 (□ 121)									
10FF	* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	0
1AUTO	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	-
ホワイトバランス(Д 122)									
AWB	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
☀▲ ☀ ※ ※	* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	-
\$	* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	-
■1 * 2 ■2 * 2	* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	-
ホワイトバランス補正(🕮 124)	* 1	* 1	0	0	0	0	-	-	-
マイカラー(Д 125)									
40FF	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
Av An Ase*3 Aw*3 Ap Al Ad Ab Ag Ar Ac*4	* 1	*]	0	0	0	0	_	0	-
ブラケット(Д 141)									
딴	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
2	* 1	* 1	-	0	0	0	-	-	-
4 5	*1	* 1	0	0	0	0	-	-	-
ドライブモード (瓜127)									
	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	0	-	-
	*1	* 1	0	0	0	0	-	-	-
AF ₁ * 5	* 1	* 1	0	0	0	0	-	-	0

- * 1 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う
- * 2 [4] [5] は取り込み不可。
- * 3 ホワイトバランスは選択不可
- * 4 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を 5 段設定
- *5 [MF] 時、AFロック時、[爨] 時は [型]



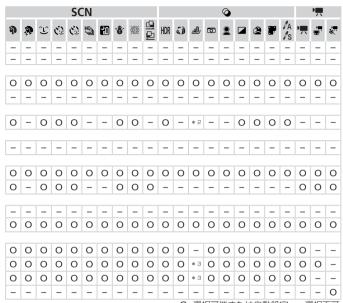
O 選択可能または自動設定 - 選択不可

機能/メニュー 一覧

	撮影モード					_	_	ATTER		مث
機能		CZ	CI	IVI	AV	IV	Р	AUTO	o.	8
ストロボ調光補正 (🎑 144)		* 1	* 1	-	0	0	0	-	0	-
ストロボ発光量(🕮 153)		* 1	* 1	0	0	0	-	-	-	-
測光方式(🛄 116)										
③		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
\Box		* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	-
静止画アスペクト比(〇173)										
16:9 3:2 4:3 1:1 4:5		* 1	* 1	0	0	0	0	0	-	0
画像タイプ (🎑 146)										
JPEG 💹 🚟 🕏		* 1	* 1	0	0	0	0	-	-	-
記録画素数 (二74)										
L		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
M1M2 S		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
圧縮率 (二 147)										
S		* 1	* 1	0	0	0	0	-	-	-
4		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
動画の画質 (◯ 77)										
1920		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
1280		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
640		* 1	*]	0	0	0	0	0	0	Ω
(24) (T2)		-	_	-	-	-	_	_	-	-

- * 1 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う
- * 2 [4:3] [16:9] のみ選択可
- *3 縦横比の設定に連動して自動設定(196)

機能/メニュー 一覧

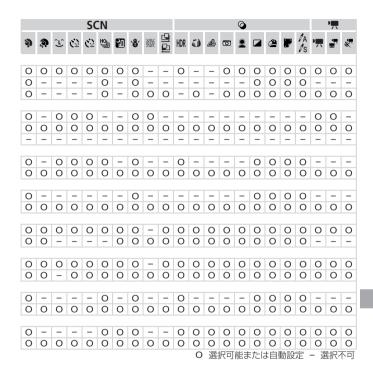


O 選択可能または自動設定 - 選択不可

🗖 撮影タブメニュー 一覧

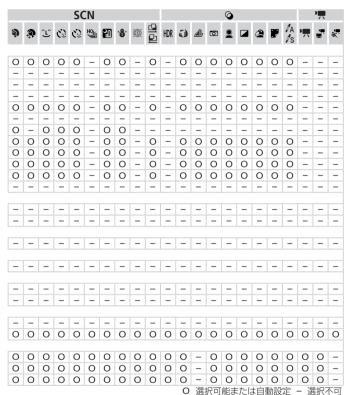
撮影モード									
THE TOTAL PROPERTY.		C1	M	Αv	Τv	P	AUTO	ď	N.
機能									Ť
AFフレーム (皿133)									
顔優先* 1	* 2	* 2	0	0	0	0	0	0	-
キャッチ AF	* 2	* 2	0	0	0	0	*3	-	0
アクティブ / 中央* 4	* 2	* 2	0	0	0	0	_	0	0
デジタルズーム(皿55)									
入	* 2	* 2	0	0	0	0	0	_	0
切	* 2	* 2	0	0	0	0	0	0	0
テレコン 1.5x / テレコン 2.0x	* 2	* 2	0	0	0	0		-	_
ピント位置拡大(1280)									
<u>\lambda</u>	*2	* 2	0	0	0	0	0	-	
切	* 2	* 2	0	0	0	0	0	0	0
サーボ AF (Q 137)				_	_				
入 切* 5	* 2	* 2	0	0	0	0	-	-	0
1 7 3	* 2	* 2	0	0	0	0	0	0	_
コンティニュアス AF (Д 138)	*2	* 2	_	_	_	0	0	_	
切切	*2	*2	0	0	0	0	U	0	0
AF 補助光 (□ 82)	* 2	* 2	U	U	U	U	_	_	_
入	*2	* 2	0	0	0	0	0	0	
切	*2	*2	0	0	0	0	0	0	0
MF 拡大表示(CD 130)								U	U
入	*2	*2	0	0	0	O	_	_	_
切	*2	* 2	0	ō	0	O	0	0	0
セーフティ MF (Q 130)			-	_		-		-	-
入	* 2	* 2	0	0	0	0	_	0	-
切	* 2	* 2	0	0	0	0	0	0	0

- * 1 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる
- * 2 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う
- *3 選択不可。ただし < 📤 > で可能 (LLL) 62)
- * 4 P、Tv、Av、M モードでは [アクティブ]、その他のモードでは [中央]。
- * 5 <**(MTO**)> モードでは動きを検出したときは[入]



		4月以下 1									
		撮影モード		C1	М	Δν	Τv	P	AUTO	.58	沒
機	能			٠.		~		•		_	-1
ス	トロボ制御(皿 75、	82、144、145、1	53)								
	発光モード	オート	* 1	* 1	-	0	0	0	0	0	_
		マニュアル	* 1	* 1	0	0	0	_	_	_	_
	調光補正		* 1	* 1	-	0	0	0	-	0	-
	発光量	I	* 1	* 1	0	0	0	-	-	-	_
	シンクロ設定	先幕 "***	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	_
		後幕	* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	-
	赤目自動補正	入	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	-
		切	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	_
	赤目緩和ランプ	切	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	_
		入	* 1	* 1	_	0	0	0	0	0	
	セーフティ FE	切	* 1	* 1	Ω	0	0	0	_	0	_
IS	0 オート設定(皿11	7.5									
	上限 ISO 感度		* 1	* 1	-	0	0	0	-	0	-
	感度の上がり方		* 1	* 1	-	0	-	0	-	0	-
高	感度時 NR (Д 118)										
	標準/強/弱		* 1	* 1	0	0	0	0	-	-	-
水	銀灯自動補正(🕮 76)									
	入/切		_	_	_	_	_	_	0	_	_
ス	ポット測光枠 (皿 11	6)									
	中央固定		* 1	* 1	0	0	0	0	-	0	-
	AF 枠連動		* 1	* 1	0	0	0	0	_	-	-
t	ーフティシフト (皿 1	51)				_					
	入 切		* 1	* 1	0	0	0	- 0	0	- 0	0
動	9) 画音声 (皿 78)		*	* 1	U	U	U	U	U	U	U
到	マイク		ak 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	録音レベル		* 1	*]	0	0	0	0	0	0	0
	ウィンドカット		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
_	- - /3 /										

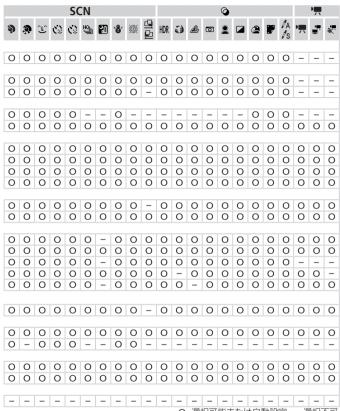
* 1 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う



23(1)30(10 23)3(2 23(1)

										_	
		撮影モード	C2	C1	М	۸,,	Tv	D	AUTO	.38	ůQ.
機	能		CZ	CI	IVI	Av	ıv	•		G -	4
	影の確認 (二83)										
]HX	切 / クイック /2 ~ 1	○ 秒 / ホールド	* 1	* 1	Ω	Ο	0	Ω	0	0	0
D	ビュー情報 (四84)	0107711 701								U	0
	非表示		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	詳細表示/ピント確認	8	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
目	つむり検出 (皿81)	<u>. </u>			-	_		-	_	-	
Γ	入		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	-
	切		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
情	報表示設定(🕮 154)	1									
	撮影情報		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	グリッドライン		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	水準器		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	ヒストグラム		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
鏡	像表示 (Д 18)										
	入		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	切		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
手	ブレ補正設定 🕮 14	7)									
		切	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	手ブレ補正	入	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
		撮影時	* 1	* 1	0	0	0	0	_	_	0
	ダイナミック IS	1	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	7 17 2 7 7 10	2	* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
Ţ	(表示範囲(🛄 57)										
	大/中/小		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
日	付写し込み(🖺61)										
	切		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	日付のみ/日付+時刻	lj	*]	* 1	0	0	0	0	0	0	0
個	人認証設定(🖺 63)										
	入/切		* 1	* 1	0	0	0	0	0	0	0
	ョートカット登録(Д		* 1	*1	0	0	0	0	0	0	0
カ	スタム登録(皿 156)										
	登録先	C1 / C2	0	0	0	0	0	0	_	-	-

- * 1 設定できる内容は登録されている撮影モードに従う
- 個人認証機能 (△63) で撮影すると、[♣] [♣] では、名前は画面に表示されないが、静止画には記録される
- 設定はできるが、個人認証機能(M63)で撮影すると『貝』[4] [4] では、名前は画面に表示されず、動画にも記録されない



) 選択可能または自動設定 – 選択不可

『1 設定タブメニュー 一覧

項目	参照ページ	項目	参照ページ
消音	□198	レンズ収納時間	Д206
音量	Д198	節電	ДЗ8, 206
音の選択	199	単位	Д207
機能ガイド	199	水準器	Д79
日付/時刻	Д19	ビデオ出力方式	<u>M</u> 222
エリア設定	M200	HDMI 機器制御	M 220
液晶の明るさ	Д201	Eye-Fi 設定	M 245
起動画面	Д202	著作権情報	Щ208
カードの初期化	M203、 204	認証マーク表示	Д210
画像番号	Д205	言語。同	Щ21
フォルダ作成	Д205	カメラ設定初期化	Д211

★ マイメニュータブメニュー 一覧

項目	参照ページ
マイメニューの設定	Д157

▶ 再生タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
ムービー ダイジェスト再生	Д169
連想再生	174
スライドショー	Д 173
消去	179
保護	Д175
回転	Д182
お気に入り	□184
マイカテゴリー	185
フォトブック指定	M 243
i- コントラスト	Д 192

項目	参照ページ
赤目補正	Д 193
トリミング	Д 190
リサイズ	Д188
レタッチマイカラー	Д191
認証情報	Д 163
スクロール再生	Д161
グループ表示	Д 170
縦横自動回転	Д 183
再生開始位置	Д161
再生効果	Д161

🕒 印刷タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
印刷	-
印刷する画像を指定	M240
範囲で指定	Q241

項目	参照ページ
すべての画像を指定	241
すべての指定を解除	M 242
印刷の設定	Д239

主な仕様

カメラ部有効画素数 (最大)	約 1210 万画素
レンズ焦点距離	50 倍ズーム:4.3 (W) - 215.0 (T) mm (35mm フィルム換算:24 (W) - 1200 (T) mm)
ファインダー	液晶ビューファインダー 有効画素数:約20.2万ドット(6.7万 x 3) 視度調整範囲:-5.0 - +4.0 m ⁻¹ (dpt)
液晶モニター	2.8型 TFT カラー液晶 有効画素数:約 46.1 万ドット
ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応 (Version 1.1)
データタイプ	静止画: Exif 2.3 (JPEG)、RAW (CR2 (キヤノン独自)) 動画: MOV (画像: H.264、音声: リニア PCM (ステレオ))
インターフェース	Hi-Speed USB HDMI 出力 アナログ音声出力(モノラル) アナログ映像出力(NTSC/PAL)
電源	バッテリーパック NB-10L AC アダプターキット ACK-DC80
大きさ(CIPA 準拠)	122.5 x 87.3 x 105.5 mm
質量(CIPA 準拠)	約 595 g (電池・メモリーカード含む) 約 551 g (本体のみ)

■撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮	影枚数	画面表示	約315枚
		ビューファインダー表示	約 335 枚
動画揖	影時間* 1	画面表示	約 1 時間 15 分
		ビューファインダー表示	約 1 時間 20 分
	連続時*2	画面表示	約 2 時間 25 分
		ビューファインダー表示	約 2 時間 30 分
	再	生時間	約7時間

- *1カメラの初期状態で、撮影/一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作をしたときの時間です。
- *2「一度に撮影できる時間まで撮影」、「自動停止」を繰り返したときの時間です。
- 撮影枚数は、CIPA(カメラ映像機器工業会)の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

■ 1 枚のカードに撮影できる枚数(縦横比 4:3 のとき)

記録画素数	圧縮率	1枚のカードに撮影	できる枚数(約・枚)
(ピクセル)	江 柏华	8 GB	32 GB
L (ラージ)	€	1379	5568
12M/4000x3000		2192	8850
M1 (ミドル 1)	S	2431	9814
6M/2816x2112	4	3721	15020
M2 (ミドル2)	S	7442	30040
2M/1600x1200	4	12927	52176
S (スモール)	S	27291	110150
0.3M/640x480	4	40937	165225
RAW 画像 12M/4000x3000	_	446	1804

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- ■表内の数値は画像の縦横比が 4:3 のときの値です。縦横比を変えると(□73)、4:3 のときよりも 1 画像の容量が小さくなるため、撮影できる枚数は多くなります。ただし、【**M2**】では 16:9 にすると 1 画像の記録画素数が 1920 x 1080 になるため、4:3 より容量が大きくなります。

■ 1 枚のカードに撮影できる時間

画質	1 枚のカードに撮影できる時間	
四 貝	8 GB	32 GB
1920	29分39秒	1 時間 59 分 43 秒
1280	42分11秒*1	2時間50分19秒*2
640	1 時間 28 分 59 秒	5 時間 59 分 10 秒

- * 1 iFrame 動画 (Д 110) では、27分39秒
- *2 iFrame 動画 (Q110) では、1 時間 51 分 37 秒
- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が4 GBになるか、撮影時間が[M][M][M]では約29分59秒、 [M]では約1時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。 SDスピードクラス6以上のカードを使用することをおすすめします。

■ストロボ調光範囲

もっとも広角側(🞹)にしたとき	50 cm - 5.5 m
もっとも望遠側(〔♠〕)にしたとき	1.4 m - 3.0 m

■撮影距離

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側 (MM) にしたとき	もっとも望遠側 (🗐) にしたとき
AUTO	-	0 cm - ∞	1.3 m - ∞
×	_	1 m - ∞	13 m - ∞
	∆ A	5 cm - ∞	1.3 m - ∞
上記以外	₩*	0 cm - 50 cm	-
	MF*	0 cm - ∞	1.3 m - ∞

^{*}撮影モードによっては、選択できません。

■連続撮影の速さ

撮影モード	連続撮影モード	速さ
	믜	約2.2枚/秒
P	E	約0.8枚/秒
	īĀ.	約0.9枚/秒
벨	밀	約13枚/秒

■ シャッタースピード

<auto>モードで自動設定される範囲</auto>	1 - 1/2000 秒
< Tv > モードで設定できる値(秒)	15, 13, 10, 8, 6, 5, 4, 3.2, 2.5, 2, 1.6, 1.3, 1, 0.8, 0.6, 0.5, 0.4, 0.3, 1/4, 1/5, 1/6, 1/8, 1/10, 1/13, 1/15, 1/20, 1/25, 1/30, 1/40, 1/50, 1/60, 1/80, 1/100, 1/125, 1/160, 1/200, 1/250, 1/320, 1/400, 1/500, 1/640, 1/800, 1/1000, 1/1250, 1/1600, 1/200

■絞り

F値	F3.4-F8.0 (W)、F6.5-F8.0 (T)	
< Av > モードで設定できる値*	F3.4、F4.0、F4.5、F5.0、F5.6、F6.3、 F6.5、F7.1、F8.0	

* ズーム位置によっては、選べない絞り数値があります。

■ バッテリーパック NB-10L

形式: リチウムイオン充雷池

公称電圧: DC 7.4 V 公称容量: 920 mAh 充放電回数:約300回 使用温度: 0-40℃

大きさ: 32.5 x 45.4 x 15.1 mm

質量: 約41 g

■ バッテリーチャージャー CB-2LC

定格入力: AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)

16 VA (100 V) - 22 VA (240 V), 0.18 A (100 V) - 0.12 A

(240 V)

定格出力: DC 8.4 V、0.7 A

充電時間: 約1時間50分(NB-10L充電時)

充電表示: 充電中:オレンジ色点灯、充電完了:緑色点灯

使用温度: 5-40℃

大きさ: 92.8 x 63.0 x 27.0 mm

質量: 約80 g

■ レンズフード LH-DC60 (別売)

カメラ取り付け:バヨネット方式 最大径 x 長さ: φ 69.6 x 27.0 mm

質量: 約10 g

• 記載データはすべて当社試験基準によります。

製品の仕様および、外観の一部を予告なく変更することがあります。

索引

【英数字】	印刷231
AC アダプターキット223	ウインクセルフタイマー
AEB 撮影 119	(撮影モード)103
AE ロック 115	打上げ花火 (撮影モード)90
AF フレーム133, 135	エラー表示252
AF ロック140	オートシャッター (撮影モード) 102
AUTO モード	オールドポスター (撮影モード)92
(撮影モード)22,40,46	お気に入り設定184
AV ケーブル218	音198
Av (撮影モード)151	[か]
C1/C2 (撮影モード)156	
DIGITAL CAMERA Solution Disk 2	カード
DP0F238	撮影できる時間275 海外で使う200, 214
Eye-Fi カード2, 245	回転
FE ロック144	顔セルフタイマー (撮影モード) 104
FUNC. メニュー	顔セレクト139
一覧262	顔優先 (AF フレームモード) 133
基本操作41	拡大表示
iFrame 動画 (動画モード) 110	加入衣// 1/2 画質 → 圧縮率 (画質)
ISO 感度117	画像
i-コントラスト120, 192	画家 消す17S
M (撮影モード)152	// 再生 → 見る
PictBridge (ピクトブリッジ)217, 231	表示時間83
P (撮影モード) 114	保護
RAW146	画像番号205
SD/SDHC/SDXC カード → カード	家庭用電源223
Tv (撮影モード)150	カメラ
17 (掫泉七一下)150	設定初期化211 画面
(あ)	表示一覧
赤目補正	表示言語
アクセサリー	メニュー → FUNC.メニュー、メ
アクティブ	==-
(AF フレームモード) 134	キャッチ AF
圧縮率 (画質) 147	魚眼風 (撮影モード)
暗部補正121	記録画素数 (画像の大きさ)74
色あい (ホワイトバランス) 122	

2 秒セルフタイマー5S ウインクセルフタイマー
(撮影モード)103
顔セルフタイマー (撮影モード)104
(撮影モート)
変える59
測光方式116
ソフトウェア
DIGITAL CAMERA Solution
Disk2
インストール3C パソコンへの取り込み32
ソフトフォーカス(撮影モード) 97
フラドフォーガス (j取成) E ド/ 57
[た]
ダイナミックレンジ補正120
縦横比を変える73
端子218, 222, 223, 231
デジタルズーム55
デジタルテレコンバーター132
手ブレ147
手持ち夜景 (撮影モード)8S
テレビで見る218
電源 → AC アダプターキット
→ コンパクトパワーアダプター
→ バッテリー
電池 → 日付/時刻(日付/時刻用電池)
節電38
トイカメラ風(撮影モード)96
動画
画質
(記録画素数 / フレーム数) 77 撮影時間275
編集194
時計機能44
ドライブモード127
トリミング(画像の切り抜き) 190

[な]	付属品2
日時 → 日付/時刻	プリント → 印刷
ネックストラップ → ストラップ	フレーミングアシスト56
	プログラム AE114
【は】	編集
ハイスピード動画(動画モード) 111	i- コントラスト 192
ハイスピード連写 HQ	赤目補正 193 トリミング
(撮影モード)106	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ハイダイナミックレンジ	リサイズ
(撮影モード)93	(画像を小さくする)188
バッテリー	レタッチマイカラー191
残量表示 256 充電 15	ポートレート (撮影モード)89
が電	保護175
バッテリーチャージャー	ホワイトバランス(色あい)122
(充電器)2	(ま)
花火 → 打上げ花火(撮影モード)	• - •
ピクトブリッジ	マイカテゴリー185
(PictBridge)217, 231	マイカラー125
日付/時刻	マクロ(フォーカスモード)129
画像への写し込み61	マニュアルフォーカス (フォーカスモード)130
世界時計 200 設定 19	
日付/時刻用電池20	マニュアルホワイトバランス 123
変更20	マルチエリアホワイトバランス
表示言語21	見る
ピント合わせ	1 枚表示25 インデックス表示
AF フレーム133	拡大表示172
AF ロック140	画像の検索166
顔セレクト139 サーボ AF137	スライドショー173
ピント位置拡大80	テレビで見る218 連想再生174
フォーカスゾーン	」 ムービーダイジェスト
マクロ129	(撮影モード)86
マニュアルフォーカス130	目つむり検出81
フォーカスチェッカー165	メニュー
フォーカスブラケット撮影141	一覧260
フォーカスロック134	基本操作42
フォトブック指定243	メモリーカード → カード
	モノクロ (撮影モード)98

[5]

ランプ	44, 82
リサイズ (画像を小さくする)	188
レタッチマイカラー	191
連想再生	174
連続撮影	
ハイスピード連写 HQ (撮影モード) 連続撮影 (連写) 露出 AE ロック FE ロック	127 115
補正	
[わ]	
ワイド (記録画素数)	74
ワンポイントカラー (撮影モード)	98

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリー は、各自治体のルールにしたがって処分してください。



- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをで参照ください。
 - 詳細は、一般社団法人 JBNU のボームページをと参照へた ホームページ:http://www.ibrc.com
- **Li-ion** ・プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。 ・ 被覆をはがさないでください。
 - 分解しないでください。

■アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後5年間です。 なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の 仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の 機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないこと や、対応 OS が変更になることがあります。

■妨害電波自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド(本書)にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

適正な動作のために、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いいただくことを推奨いたします。

■商標、ライセンスについて

- DCF は、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における 登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC, の商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、 HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。
- iFrame ロゴおよび iFrame シンボルは Apple Inc. の商標です。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard. * 規定により英語で表記しています。

このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター

050-555-90005

受付時間:平日9:00~20:00

十・日・祝日 10:00 ~ 17:00

(1月1日~1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
- ※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめで了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載され ていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

> キヤノンデジタルカメラ製品情報 http://canon.ip/cdc

キヤノンサポートページ http://canon.ip/support

CANON IMAGE GATEWAY http://www.imagegatewav.net

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい

国内·国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模 倣品 |が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。 http://cweb.canon.ip/e-support/info/battery-anno.html



リチウムイオン雷池のリサイクルにご協力ください。

CDP-J492-010

©CANON INC. 2012